

食品安全モニター課題報告

「食品の安全性に関する意識・食品安全委員会からの情報発信等について」

(平成 24 年 3 月実施) の結果

1. 調査目的

食品安全委員会では、定点調査として、毎年、食品安全モニターの方を対象に、食品の安全性に関する意識・食品安全委員会からの情報発信等について調査を実施しており、今年度においても、平成 23 年 7 月に第 1 回調査を行った。東日本大震災後初めての調査であったため、放射性物質を含む食品について食品の安全性の観点から感じる不安の程度や、飲食物品の購入等に係る意思決定の変化等の調査を行った。

第 2 回調査では、第 1 回調査で行った放射性物質を含む食品関連の調査結果の比較、平成 23 年 10 より新たに規格基準と表示基準が定められた生食用食肉(牛肉)のリスク管理措置及び食品安全委員会ホームページについて、平成 24 年 2 月 27 日から 3 月 13 日までを調査実施期間として、食品安全モニター 470 名を対象に調査を実施（有効回答数 346 名（73.6%））した。

【食品安全モニターを対象とした調査】

【比較を行った食品安全モニターを対象とした調査】

- ・平成 16 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識調査」
(以下「平成 16 年度調査」という。)
- ・平成 17 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 17 年度調査」という。)
- ・平成 18 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 18 年度調査」という。)
- ・平成 19 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 19 年度調査」という。)
- ・平成 20 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 20 年度調査」という。)
- ・平成 21 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 21 年度調査」という。)
- ・平成 22 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 22 年度調査」という。)
- ・平成 23 年度第 1 回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」
(以下「平成 23 年度調査（第 1 回）」という。)

2. 調査項目

調査項目は、次の 5 項目である。

- 1) 食品の安全性に係る危害要因等について
(食品の安全性に係る不安感の程度、不安を感じる理由等)
- 2) 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について
(放射性物質を含む食品の健康に与える影響に関する情報源等)
- 3) 肉の生食に関するリスク管理措置について
(食中毒の危険性の認知度等)
- 4) 食品安全委員会からの情報発信について
(食品安全委員会ホームページについて)

3. 実施期間

平成 24 年 2 月 27 日～3 月 13 日

4. 対象

食品安全モニター 470 名

有効回答数 346 名 (有効回答率 : 73.6%)

1) 食品安全モニターの回答者数の内訳

① 男女別 :

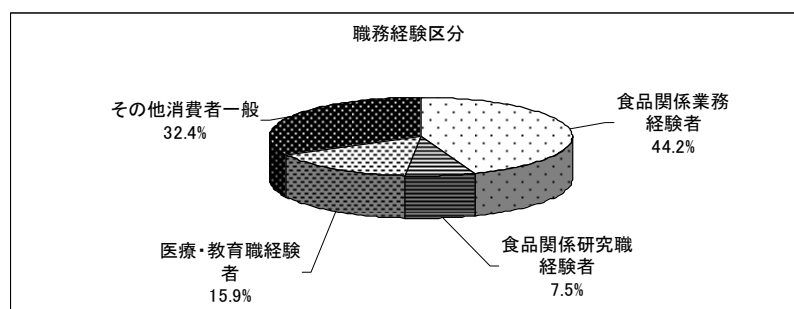
	回答者数	割合
全体	346 人	100.0%
男性	135 人	39.0%
女性	211 人	61.0%

② 年齢別 :

	回答者数	割合
全体	346 人	100.0%
20～29 歳	16 人	4.6%
30～39 歳	68 人	19.7%
40～49 歳	91 人	26.3%
50～59 歳	79 人	22.8%
60～69 歳	78 人	22.5%
70 歳以上	14 人	4.0%

③ 職務経験区分別 :

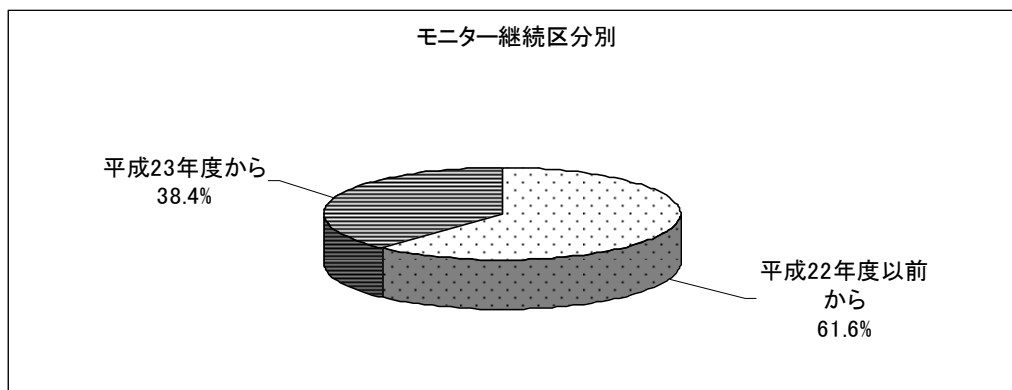
食品関係業務経験者	・現在もしくは過去において、食品の生産、加工、流通、販売等に関する職業(飲食物調理従事者、会社・団体等役員などを含む)に就いた経験を5年以上有している方 ・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を5年以上有している方	153 人
食品関係研究職経験者	・現在もしくは過去において、試験研究機関(民間の試験研究機関を含む)、大学等で食品の研究に関する専門的な職業に就いた経験を5年以上有している方	26 人
医療・教育職経験者	・現在もしくは過去において、医療・教育に関する職業(医師、獣医師、薬剤師、看護師、小中高校教師等)に就いた経験を5年以上有している方	55 人
その他消費者一般	・上記の項目に該当しない方	112 人



	男女別		年代区分別			全体
	男性	女性	20～39 歳	40～59 歳	60 歳以上	
食品関係業務経験者	92 人	61 人	36 人	66 人	51 人	153 人
	60.1%	39.9%	23.5%	43.2%	33.4%	100.0%
食品関係研究職経験者	18 人	8 人	4 人	12 人	10 人	26 人
	69.2%	30.8%	15.4%	46.2%	38.5%	100.0%
医療・教育職経験者	12 人	43 人	9 人	32 人	14 人	55 人
	21.8%	78.2%	16.3%	58.2%	25.4%	100.0%
その他消費者一般	13 人	99 人	35 人	60 人	17 人	112 人
	11.6%	88.4%	31.2%	53.6%	15.2%	100.0%

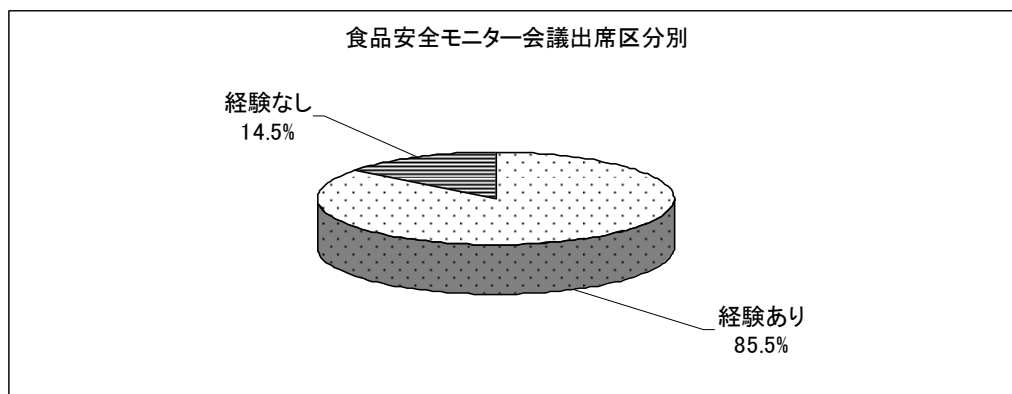
④ モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方
(以下、「経験モニター」という) 213 人
- 平成 23 年度から、食品安全モニターに依頼された方
(以下、「新規モニター」という) 133 人



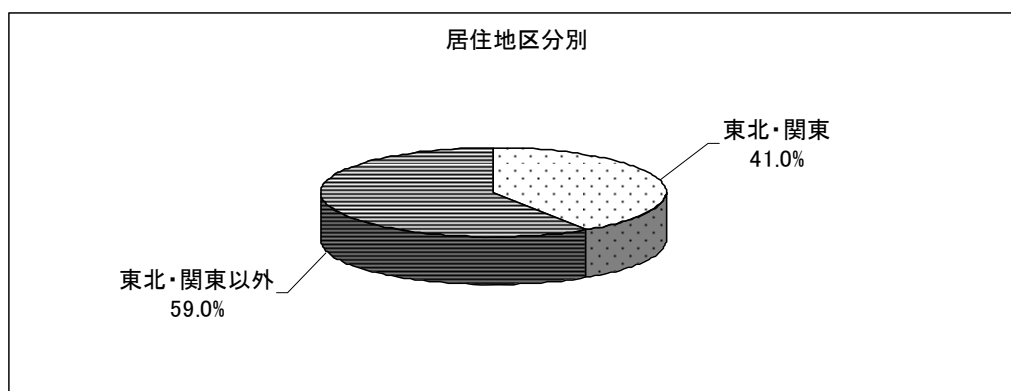
⑤ 食品安全モニター会議出席区分別：

- これまでに食品安全モニター会議に出席したことがある方 296 人
- これまでに食品安全モニター会議に出席したことがない方 50 人



⑥ 居住地区分：

- 東北・関東 142 人
- 東北・関東以外 204 人



※東北：北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟

関東：東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨

5. 調査結果

1) 食品の安全性に係る危害要因等について

①日常生活を取り巻く分野別不安の程度（問1）

問1 1～7に掲げる事項についてリスクの観点からあなたはどのように思いますか。それぞれの事項について、選択肢①～⑥の中から1つずつ選んでください。

【事項】

- 1 環境問題
- 2 自然災害
- 3 食品安全
- 4 重症感染症（新型インフルエンザなど）
- 5 犯罪
- 6 戦争・テロ
- 7 交通事故

【選択肢】

- ① とても不安を感じる
- ② ある程度不安を感じる
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり不安を感じない
- ⑤ 全く不安を感じない
- ⑥ よくわからない

- ◆ 平成23年度調査（第2回）（以下「今回調査」という。）では、食品安全について「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計は67.6%であり、自然災害（86.5%）や環境問題（86.4%）、重症感染症（新型インフルエンザなど）（70.8%）に比べると低いものの、交通事故（61.2%）、犯罪（56.9%）、戦争・テロ（44.8%）よりは高くなっている。
- ◆ 今回調査では、食品安全について「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計（67.6%）は、平成23年度調査（第1回）に比べて7.7%減少し、平成22年度調査のレベル（68.1%）に戻っている。
- ◆ 今回調査では、食品安全について「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計は、平成23年度調査（第1回）に比べて、食品関係研究職経験者を除くすべての属性で減少している。
- ◆ 放射性物質を含む食品の与える影響について「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計は、性別では女性、年代別では20～29歳、職務経験別ではその他消費者一般と医療・教育職経験者が高くなっている。

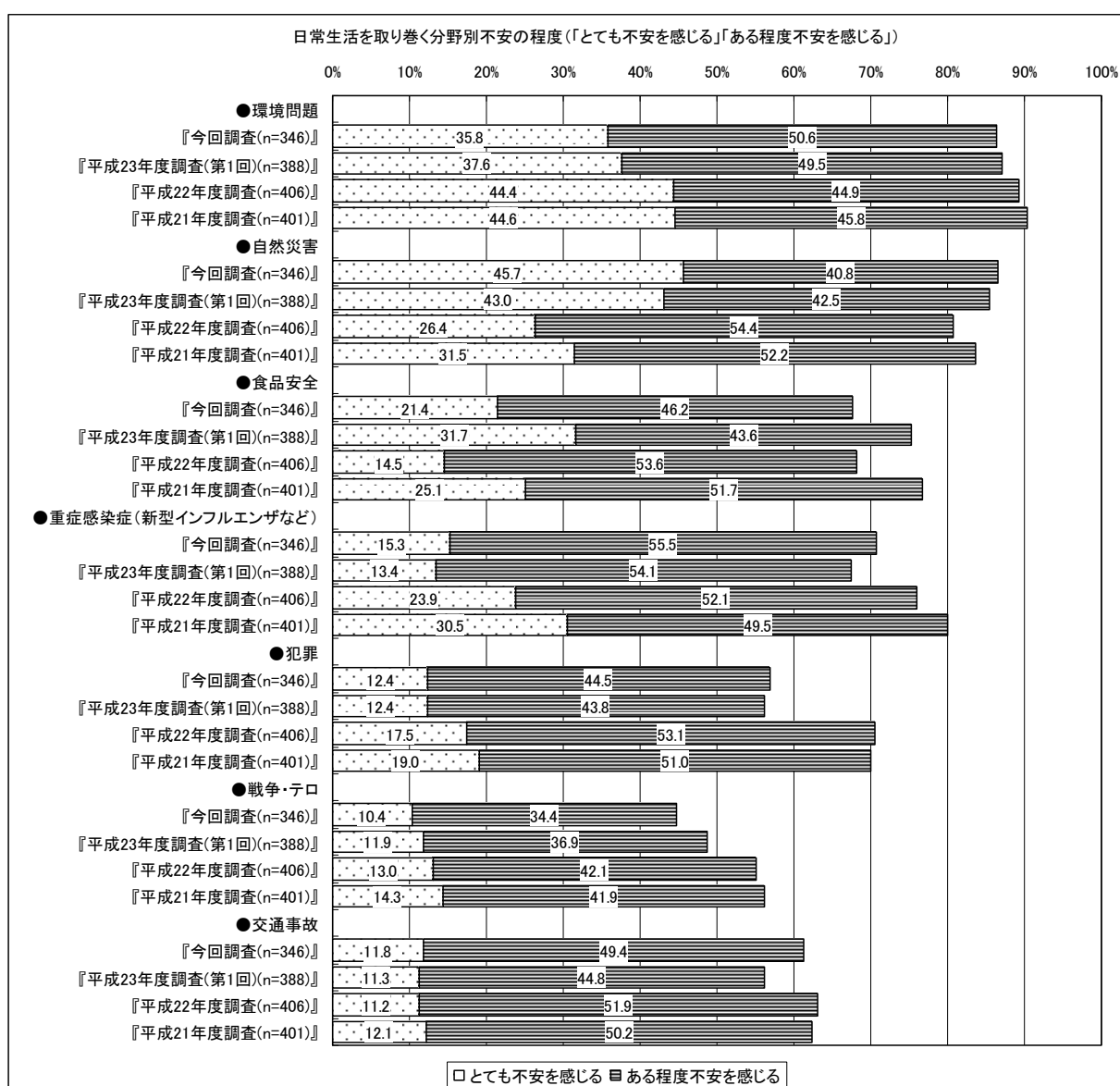
今回調査では、日常を取り巻く分野のうち、「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計が最も高い分野は、自然災害で86.5%、その次が環境問題で86.4%、重症感染症（新型インフルエンザなど）が70.8%、食品安全が67.6%、交通事故が61.2%、犯罪が56.9%、戦争・テロが44.8%と続いている。各分野の回答割合の合計の内訳を見ると、自然災害では「とても不安を感じる」とする回答割合が高いのに対し、その他の分野では「ある程度不安を感じる」とする回答割合が高い。

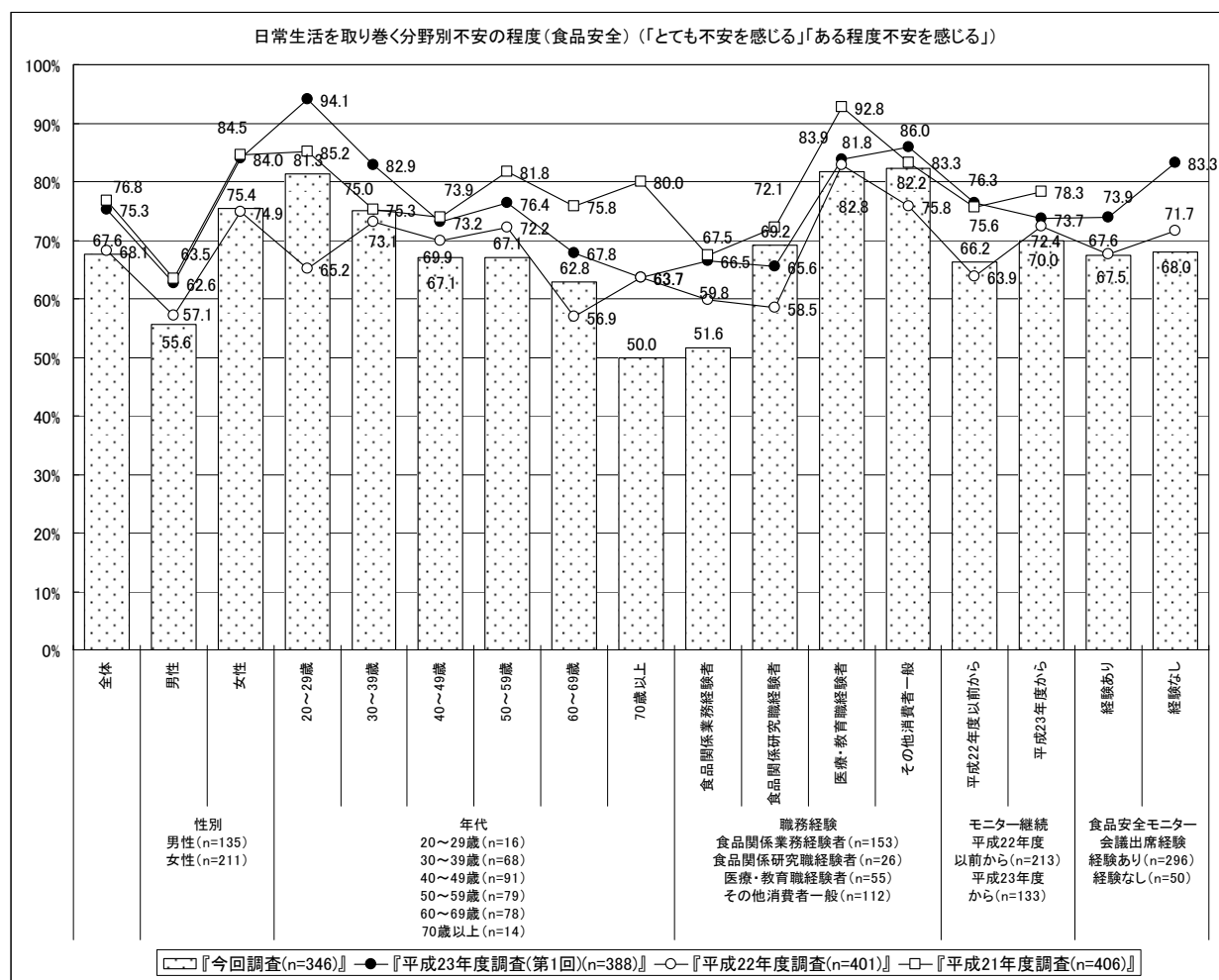
食品安全について「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計は、今回調査では67.6%、平成23年度調査（第1回）では75.3%、平成22年度調査では68.1%、平成21年度調査では76.8%であった。今回調査は、平成23年度調査（第1回）に比べて7.7%減少し、平成22年度調査のレベルに戻っている。

今回調査の食品安全の不安の程度を属性別に比較すると、性別、職務経験区別に大きな差があった。「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計は、女

性では 75.4%で、男性の 55.6%より高く、職務経験区分別では、その他消費者一般が 82.2%と最も高く、続いて、医療・教育職経験者 81.8%、食品関係研究職経験者 69.2%、食品関係業務経験者 51.6%となっている。

今回調査と平成 23 年度調査（第 1 回）で不安の程度を比較すると、「とても不安を感じる」とする回答割合が全体で 10.3%減少（31.7%→21.4%）した。食品関係研究職経験者を除く全ての属性で「とても不安を感じる」、「ある程度不安を感じる」とする回答割合の合計が減少し、特に食品安全モニター会議出席したことがない方（15.3%減少、83.3%→68.0%）、食品関係業務経験者（14.9%減少、66.5%→51.6%）、70 歳以上（13.7%減少、63.7%→50.0%）、20～29 歳（12.8%減少、94.1%→81.3%）、経験モニター（10.1%減少、76.3%→66.2%）では、減少が大きい。





②食品の安全性の観点から感じている不安の程度（問2）

問2 1～12に掲げる危害要因について、食品の安全性の観点からあなたはどのように思いますか。それぞれの危害要因について、選択肢①～⑤の中から1つずつ選んでください。また、1～12の危害要因以外に食品の安全性の観点で気になるものがあれば、「13 その他」に具体的な例を記入し、それについても選択肢①～⑤の中から1つ選んでください。

【危害要因】

- 1 食品添加物
- 2 農薬
- 3 動物用医薬品（家畜用抗生物質）
- 4 器具・容器包装からの溶出化学物質
- 5 汚染物質（カドミウム、メチル水銀等）
- 6 食中毒等の原因となる有害微生物（細菌・ウイルス）
- 7 BSE（牛海綿状脳症）
- 8 遺伝子組換え食品
- 9 体細胞クローン家畜由来食品
- 10 いわゆる健康食品※
- 11 肥料・飼料等
- 12 放射性物質を含む食品
- 13 その他（具体的に記入してください）

【選択肢】

- ① 非常に不安である
- ② ある程度不安である
- ③ あまり不安を感じない
- ④ 全く不安を感じない
- ⑤ よく知らない

※ 「いわゆる健康食品」とは、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づく特定保健用食品及び栄養機能食品以外のもので、健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるものを広く指しています。

- ◆ 今回調査で、「非常に不安である」、「ある程度不安である」という回答割合の合計の上位3要因は、放射性物質を含む食品（80.3%）、食中毒等の原因となる有害微生物（細菌・ウイルス）（75.8%）、汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）（64.4%）であり、平成23年度調査（第1回）の上位3事項から農薬が外れて汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）が加わった。
- ◆ 今回調査では平成23年度調査（第1回）に比べて、「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計が特に減少したものは、肥料・飼料等（17.0%減少、55.4%→38.4%）、放射性物質を含む食品（5.2%減少、85.5%→80.3%）となっている。
- ◆ 今回調査では平成23年度調査（第1回）に比べて、「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合が増加したのは、食品添加物、農薬、動物用医薬品（家畜用抗生物質）、器具・容器包装からの溶出化学物質、汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）、BSE（牛海綿状脳症）、体細胞クローン家畜由来食品及びいわゆる健康食品であり、特に増加したものは、食品添加物（6.6%増加、49.8%→56.4%）、汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）（5.9%増加、58.5%→64.4%）となっている。
- ◆ 放射性物質を含む食品について「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計は80.3%であり、性別では女性、年代別では20～29歳、職務経験区分別では「その他消費者一般」が高い。

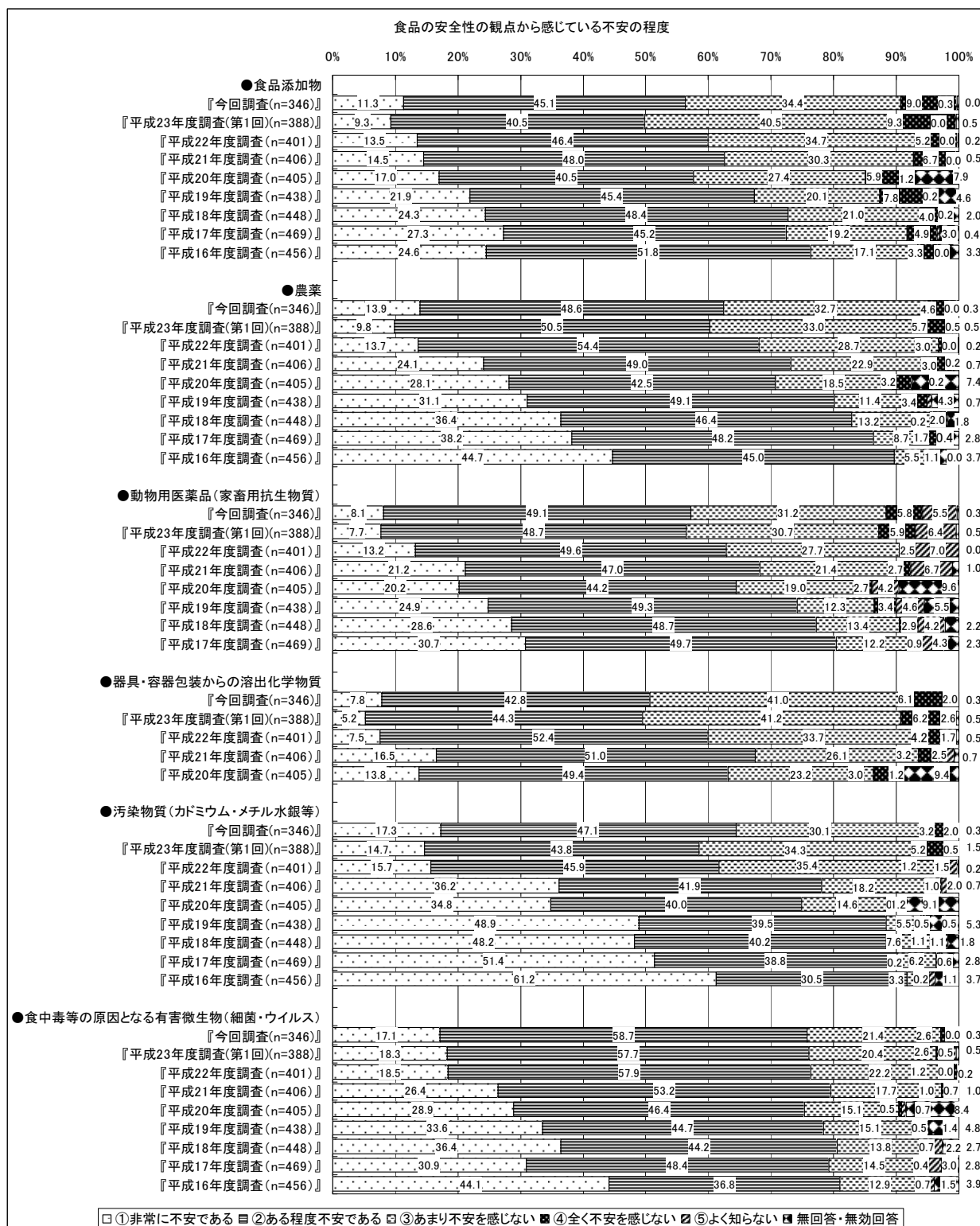
◆ 今回調査と平成 23 年度調査（第 1 回）で、放射性物質を含む食品について「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計を属性別に比較すると、70 歳以上と「その他消費者一般」を除く全ての属性で減少しており、特に男性（9.0%減少、77.9%→68.9%）、60～69 歳（8.2%減少、83.9%→75.7%）、食品関係業務経験者（9.4%減少、82.6%→73.2%）で大きく減少している。

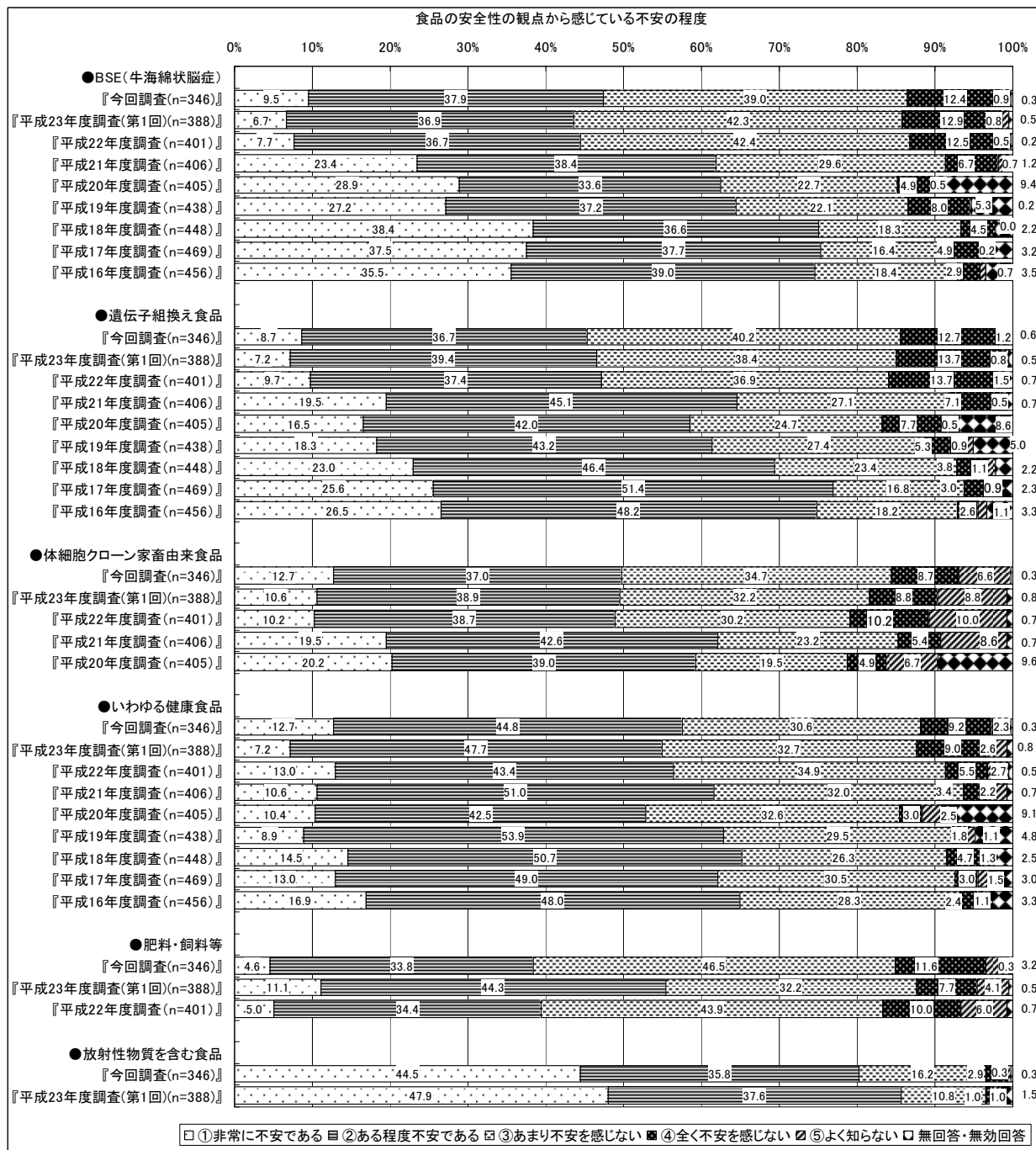
今回調査では「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計の上位 3 要因の順位は、放射性物質を含む食品（80.3%）、食中毒等の原因となる有害微生物（細菌・ウイルス）（75.8%）、汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）（64.4%）であるが、平成 23 年度調査（第 1 回）の順位は、放射性物質を含む食品（85.5%）、食中毒等の原因となる有害微生物（細菌・ウイルス）（76.0%）、農薬（60.3%）であり、上位 3 事項から農薬が外れて汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）が入った。

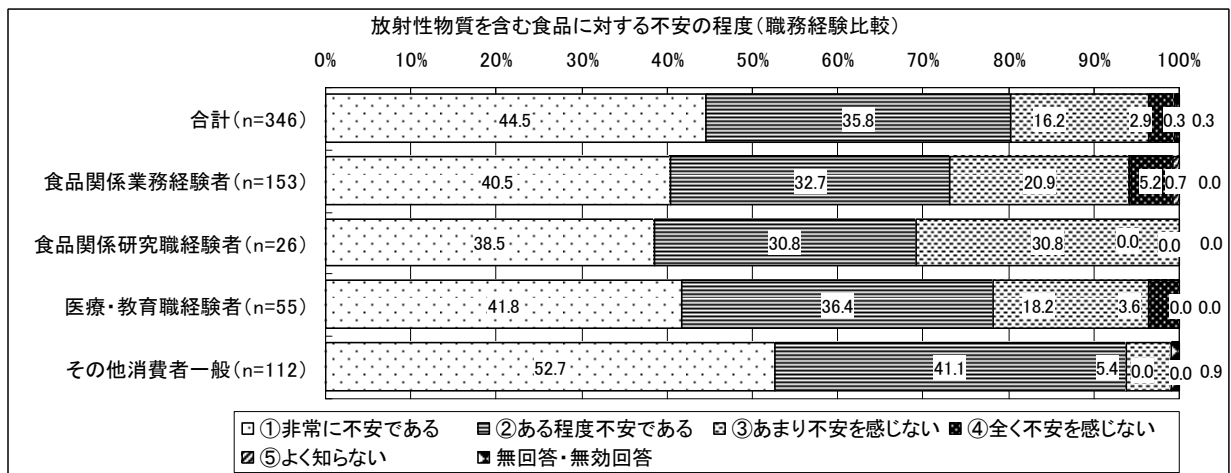
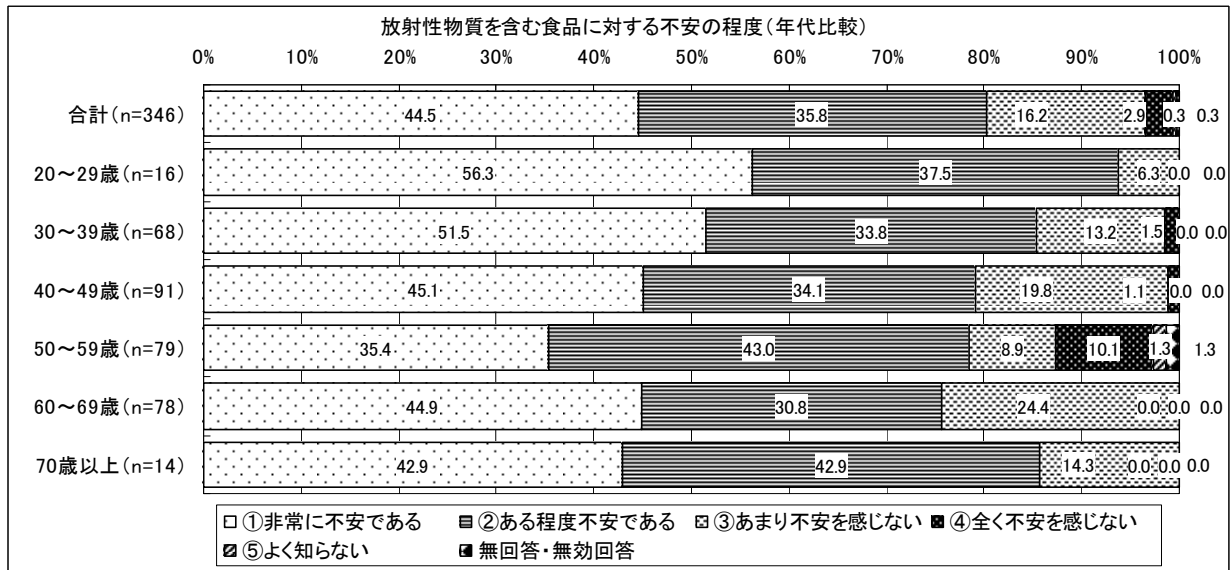
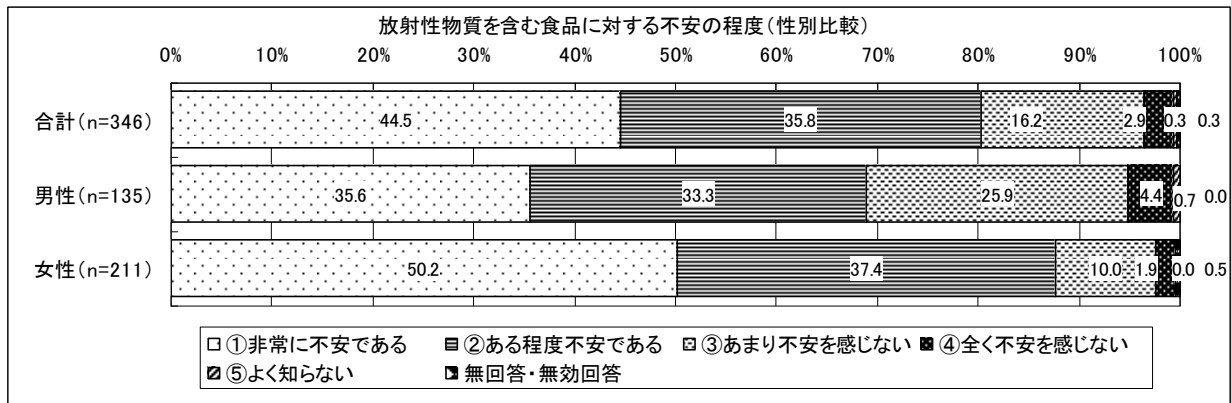
食品の安全性の観点から感じている不安の程度について、今回調査と平成 23 年度調査（第 1 回）を比較すると、食中毒等の原因となる有害微生物（細菌・ウイルス）、遺伝子組換え食品、肥料・飼料等、放射性物質を含む食品で「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計が減少した。特に回答割合の合計が減少したのは、肥料・飼料等（17.0%減少、55.4%→38.4%）、放射性物質を含む食品（5.2%減少、85.5%→80.3%）となっている。一方、食品添加物（6.6%増加、49.8%→56.4%）、汚染物質（カドミウム・メチル水銀等）（5.9%増加、58.5%→64.4%）は、「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計が特に増加した。

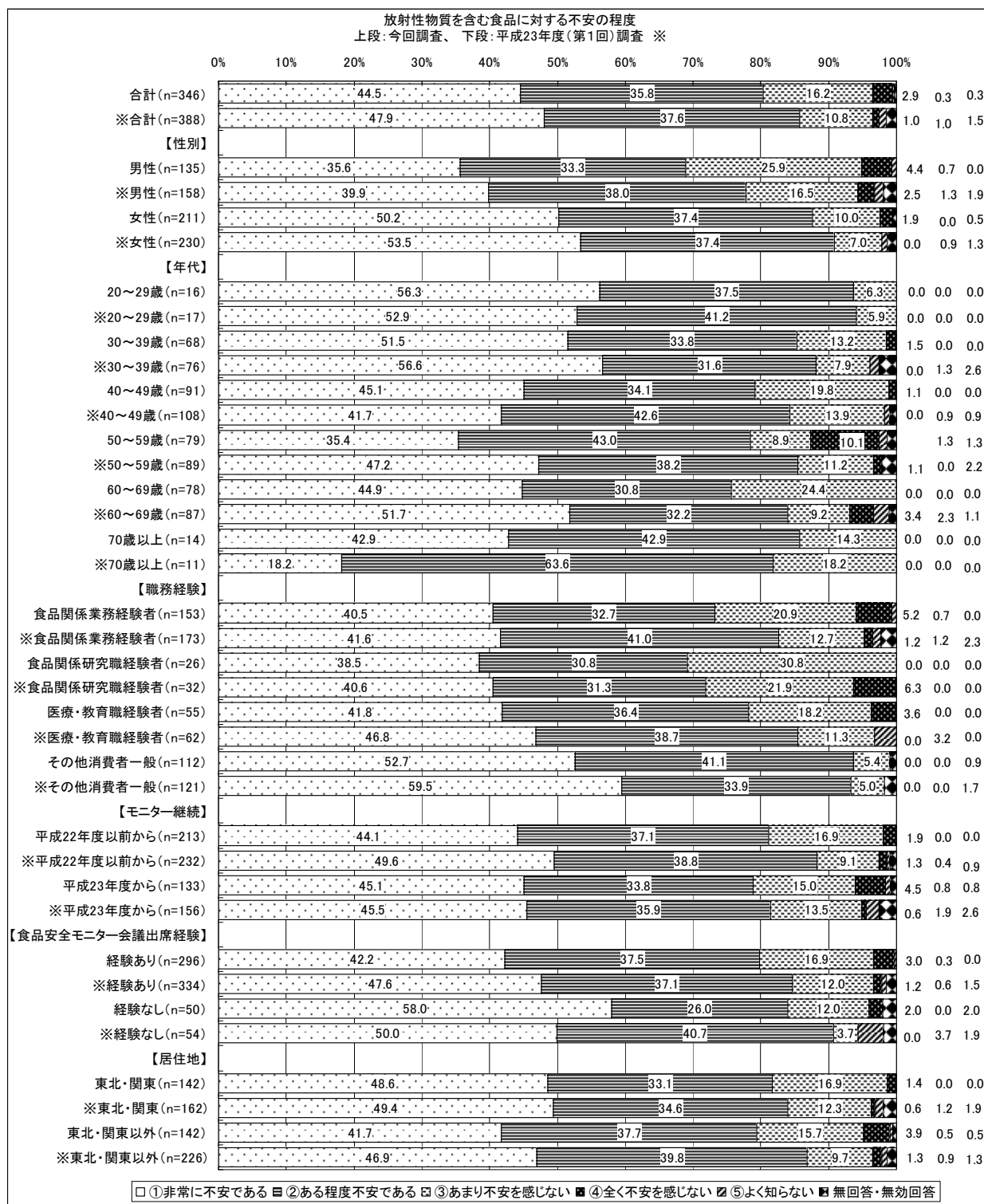
放射性物質を含む食品に対する不安の程度を属性別に比較すると、性別と年代、職務経験区分別に大きな差があった。性別で比較すると、「非常に不安である」とする回答割合が女性では 50.2%で、男性の 35.6%より高かった。年代別で「非常に不安である」とする回答割合が最も高かったのは、20～29 歳の 56.3%であり、続いて 30～39 歳の 51.5%、40～49 歳の 45.1%、60～69 歳の 44.9%、70 歳以上の 42.9%、50～59 歳の 35.4%の順であった。職務経験区分別で「非常に不安である」とする回答割合が最も高かったのは、その他消費者一般の 52.7%であり、続いて医療・教育職経験者の 41.8%、食品関係業務経験者の 40.5%、食品関係研究職経験者の 38.5%の順であった。

今回調査と平成 23 年度調査（第 1 回）で放射性物質を含む食品について「非常に不安である」、「ある程度不安である」とする回答割合の合計を属性別に比較すると、性別では男性（9.0%減少、77.9%→68.9%）、年代別では 60～69 歳（8.2%減少、83.9%→75.7%）、職務経験別では食品関係業務経験者（9.4%減少、82.6%→73.2%）、モニター継続区分別では経験モニター（7.2%減少、88.4%→81.2%）、食品安全モニター会議出席区分別では出席したことがない方（6.7%減少、90.7%→84.0%）、居住地別では東北・関東以外（7.3%減少、86.7%→79.4%）で大きく減少している。









問2：13 その他（具体的に記入してください）（回答者数 38 名）

12 個の危害要因以外に食品の安全性の観点から不安を感じているものとして、輸入食品（特に中国のもの）、トランス脂肪酸、賞味期限・消費期限などがあつた。

③放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由（問3）

問3 問2の危害要因 12（放射性物質を含む食品の健康に与える影響）において、「①非常に不安である」又は「②ある程度不安である」を選んだ方にお聞きます。不安を感じる理由を選択肢①～⑨の中から、最も当てはまる順に3つ選んでください。

【選択肢】

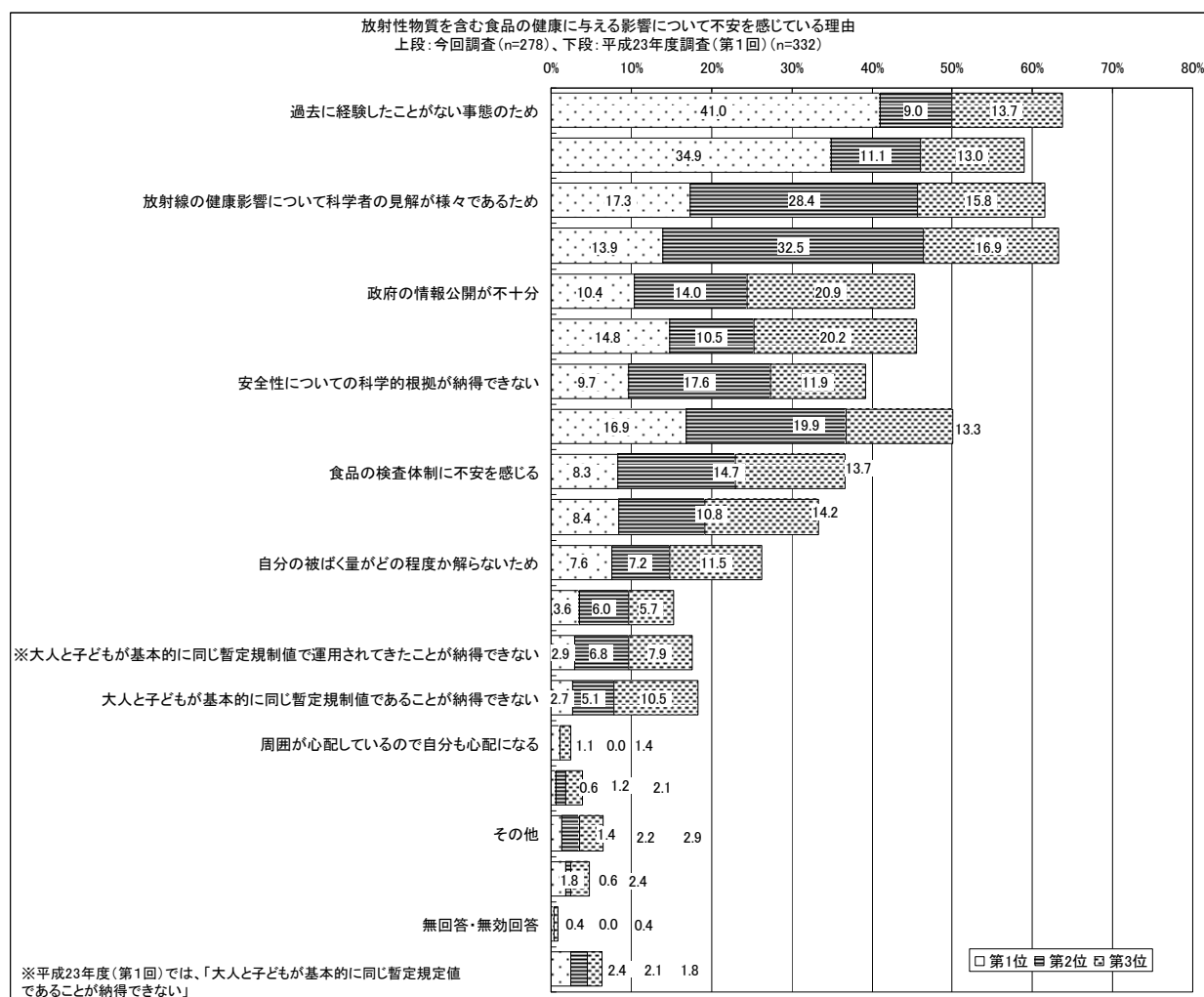
- ① 過去に経験したことがない事態のため
- ② 放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため
- ③ 自分の被ばく量がどの程度か解らないため
- ④ 安全性についての科学的根拠が納得できない
- ⑤ 大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない
- ⑥ 食品の検査体制に不安を感じる
- ⑦ 政府の情報公開が不十分
- ⑧ 周囲が心配しているので自分も心配になる
- ⑨ その他（具体的に記入してください）

- ◆ 問2（p.8）において放射性物質を含む食品の健康に与える影響について「非常に不安である」、「ある程度不安である」と回答した人の不安感の理由の第1位、第2位及び第3位とされたものの合計上位3位をみると、「過去に経験したことがない事態のため」（63.7%）、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」（61.5%）、「政府の情報公開が不十分」（45.3%）となっている。
- ◆ 選択順位第1位から第3位まででそれぞれの順位ごと（以下「それぞれの順位ごと」という。）の回答割合を見ると、第1位では「過去に経験したことがない事態のため」（41.0%）、第2位では「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」（28.4%）、第3位では「政府の情報公開が不十分」（20.9%）が最も高くなっている。
- ◆ 今回調査と平成23年度調査（第1回）を比べると、第1位の回答割合は「過去に経験したことがない事態のため」、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」、「自分の被ばく量がどの程度か解らないため」、「大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない」で増加している一方、「政府の情報公開が不十分」、「安全性についての科学的根拠が納得できない」、「食品の検査体制に不安を感じる」では減少している。
- ◆ 第1位の回答割合をみると、特に増加したのは「過去に経験したことがない事態のため」（6.1%増加、34.9%→41.0%）、特に減少したのは「安全性についての科学的根拠が納得できない」（7.2%減少、16.9%→9.7%）となっている。

放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由の第1位から第3位の回答割合の合計は、「過去に経験したことがない事態のため」（63.7%）、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」（61.5%）、「政府の情報公開が不十分」（45.3%）、「安全性についての科学的根拠が納得できない」（39.2%）、「食品の検査体制に不安を感じる」（36.7%）、「自分の被ばく量がどの程度か解らないため」（26.3%）、「大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない」（17.6%）、「周囲が心配しているので自分も心配になる」（2.5%）と続く。

放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由それぞれの順位ごとの回答割合を見ると、第1位では「過去に経験したことがない事態のため」が41.0%と最も高く、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」17.3%、「政府の情報公開が不十分」10.4%と続く。第2位では、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」が28.4%と最も高く、「安全性についての科学的根拠が納得できない」17.6%、「食品の検査体制に不安を感じる」14.7%と続く。第3位では、「政府の情報公開が不十分」が20.9%と最も高く、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」15.8%、「過去に経験したことがない事態のため」と「食品の検査体制に不安を感じる」がそれぞれ13.7%と続く。

今回調査と平成23年度調査（第1回）を比べると、第1位の回答割合は「過去に経験したことがない事態のため」（6.1%増加、34.9%→41.0%）、「自分の被ばく量がどの程度か解らないため」（4.0%増加、3.6%→7.6%）、「放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため」（3.4%増加、10.4%→13.9%）、「大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない」（0.2%増加、2.7%→2.9%）で増加している。一方、「安全性についての科学的根拠が納得できない」（7.2%減少、16.9%→9.7%）、「政府の情報公開が不十分」（4.4%減少、14.8%→10.4%）、「食品の検査体制に不安を感じる」（0.1%減少、8.4%→8.3%）では減少している。



問3：その他（具体的に記入してください）

（回答者数 14 名）

将来的に影響があるから、放射能についての知識がないから、発表される情報に誤りがあったりするからなどの理由があった。

④放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由（問4）

問4 問2の事項 12（放射性物質を含む食品の健康に与える影響）において、「③あまり不安を感じない」又は「④全く不安を感じない」を選んだ方にお聞きします。不安を感じない理由を選択肢①～⑨の中から、最も当てはまる順に3つ選んでください。

【選択肢】

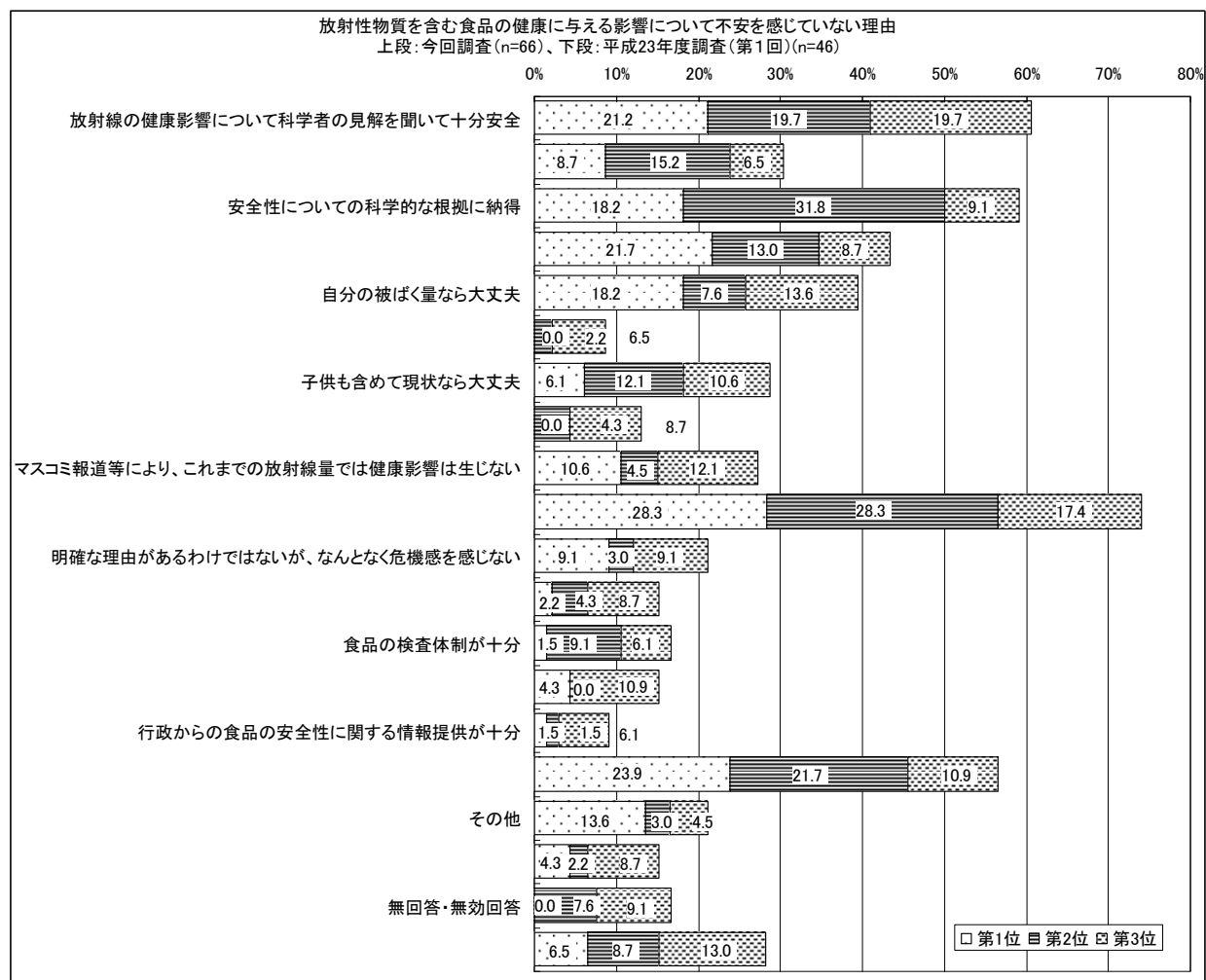
- ① マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない
- ② 放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全
- ③ 自分の被ばく量なら大丈夫
- ④ 安全性についての科学的な根拠に納得
- ⑤ 子供も含めて現状なら大丈夫
- ⑥ 食品の検査体制が十分
- ⑦ 行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分
- ⑧ 明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない
- ⑨ その他（具体的に記入してください）

- ◆ 問2（p.8）において放射性物質を含む食品の健康に与える影響について「あまり不安を感じない」、「全く不安を感じない」と回答した人の不安感のない理由の第1位、第2位及び第3位とされたものの合計上位3位をみると、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」（60.6%）、「安全性についての科学的な根拠に納得」（59.1%）、「自分の被ばく量なら大丈夫」（39.4%）となっている。
- ◆ それぞれの順位ごとの回答割合を見ると、第1位では「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」（21.2%）、第2位では「安全性についての科学的な根拠に納得」（31.8%）、第3位では「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」（19.7%）が最も高くなっている。
- ◆ 今回調査と平成23年度調査（第1回）を比べると、第1位の回答割合は「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」、「自分の被ばく量なら大丈夫」、「子供も含めて現状なら大丈夫」、「明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない」で増加している一方、「安全性についての科学的な根拠に納得」、「マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない」、「食品の検査体制が十分」、「行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分」では減少している。
- ◆ 第1位の回答割合をみると、特に増加したのは「自分の被ばく量なら大丈夫」（18.2%増加、0.0%→18.2%）、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安心」（12.5%増加、8.7%→21.2%）となっており、特に減少したのは「行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分」（22.4%減少、23.9%→1.5%）、「マスコミ報道等によりこれまでの放射線量では健康影響は生じない」（17.7%減少、28.3%→10.6%）となっている。

放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由の第 1 位から第 3 位の回答割合の合計は、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」(60.6%)、「安全性についての科学的な根拠に納得」(59.1%)、「自分の被ばく量なら大丈夫」(39.4%)、「子供も含めて現状なら大丈夫」(28.8%)、「マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない」(27.2%)、「明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない」(21.2%)、「食品の検査体制が十分」(16.7%)、「行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分」(9.1%) と続く。

放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由それぞれの順位ごとの回答割合を見ると、第 1 位では「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」が 21.2%と最も高く、「安全性についての科学的な根拠に納得」18.2%、「自分の被ばく量なら大丈夫」18.2%と続く。第 2 位では、「安全性についての科学的な根拠に納得」が 31.8%と最も高く、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」19.7%、「子供も含めて現状なら大丈夫」12.1%と続く。第 3 位では、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」が 19.7%と最も高く、「自分の被ばく量なら大丈夫」13.6%、「マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない」12.1%と続く。

今回調査と平成 23 年度調査(第 1 回)を比べると、第 1 位の回答割合は「自分の被ばく量なら大丈夫」(18.2%増加、0.0%→18.2%)、「放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全」(12.5%増加、8.7%→21.2%)、「明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない」(6.9%増加、2.2%→9.1%)、「子供も含めて現状なら大丈夫」(6.1%増加、0.0%→6.1%) で増加している。一方、「行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分」(22.4%減少、23.9%→1.5%)、「マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない」(17.7%減少、28.3%→10.6%)、「安全性についての科学的な根拠に納得」(3.5%減少、21.7%→18.2%)、「食品の検査体制が十分」(2.8%減少、4.3%→1.5%) では減少している。



問4：その他（具体的に記入してください）

（回答者数 12 名）

今現在、データが蓄積されつつあり強い不安を持つ状態にはない、原爆投下後の日本の 60 年を考えるとどれほどの健康に影響があるのか、自分で測定し、色々な情報と比較していることなどの理由があった。

2) 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について

①東日本大震災前後の飲食料品に係る意思決定の変化（問5）

問5 東日本大震災の前後で、食品（産地）の選択、水の購入等の飲食料品に係る意思決定に変化はありましたか。選択肢①～④の中から1つ選んでください。

【選択肢】

- ① 東日本大震災の前後で変化はない
- ② 東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った
- ③ 東日本大震災以降で変化し、現在も続いている
- ④ その他（具体的に記入してください。）

- ◆ 東日本大震災前後の飲食料品の購入等に係る意思決定の変化の全体の回答割合は、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」(38.7%)、「東日本大震災の前後で変化はない」(34.4%)、「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」(22.5%)の順となっている。
- ◆ 意思決定の変化を属性別に比較すると、性別と職務経験区分別で特に差が見られた。
- ◆ 性別で見ると、男性については「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合が40.7%、女性については「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」が44.1%で最も高くなっている。
- ◆ 職務経験区分別で見ると、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は食品関係研究職経験者(46.2%)で最も高く、続いて医療・研究職経験者(41.8%)と続く。「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合はその他消費者一般(47.3%)で最も高く、続いて医療・教育職関係者(43.6%)となっている。
- ◆ 今回調査では、平成23年度調査（第1回）と比べて、「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」とする回答割合が5.2%増加(17.3%→22.5%)している一方、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は6.1%減少(40.5%→34.4%)、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合2.5%(41.2%→38.7%)減少している。
- ◆ 東日本大震災前後の飲食料品の購入等に係る意思決定の変化について「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合が今回調査と平成23年度調査（第1回）を比べて変化が少ない（東日本大震災後に飲食料品の購入等に係る意思決定が変化したが、今回調査の平成24年3月時点においても意思決定の変化が少ない）のは、性別では女性(0.7%減少、44.8%→44.1%。男性は5.7%減少、36.1%→30.4%)、職務経験別では「その他消費者一般」(1.5%減少、48.8%→47.3%)及び食品関係業務経験者(1.8%減少、35.8%→34.0%。食品関係研究職経験者は5.8%減少、25.0%→19.2%。医療・教育職経験者は6.4%減少、50.0%→43.6%)、居住地別では「東北・関東以外」(1.1%減少、39.8%→38.7%。東北・関東は4.5%減少、43.2%→38.7%)である。
- ◆ 問2の放射性物質を含む食品の健康影響に対する不安感と意思決定の変化との関係では、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は、問2で「あまり不安を感じない」、「ある程度不安である」とした人で、それぞれ10.7%(71.4%→60.7%)、14.0%(52.7%→38.7%)減少した。
- ◆ 東日本大震災前後の飲食料品の購入等に係る意思決定の変化の全体の回答割合は、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」(38.7%)、「東日本大震災の前後で変化はない」(34.4%)、「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」(22.5%)の順となっている。

意思決定の変化を属性別に比較すると、性別と職務経験区分別で特に差が見られた。

性別で比較すると、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は、男性で 40.7% で女性の 30.3% に比べて高くなっている。「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」とする回答割合は、男性では 25.9% で女性の 20.4% に比べて高くなっている。

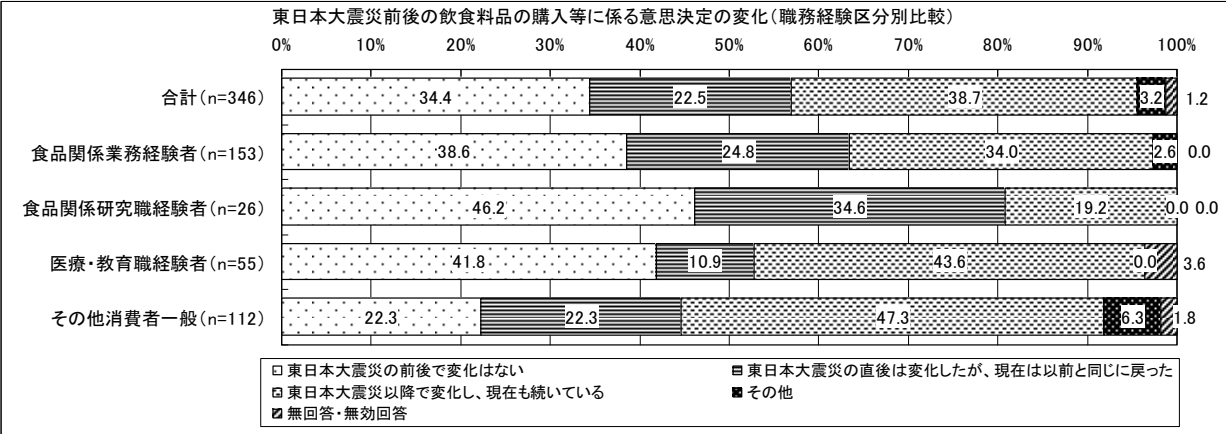
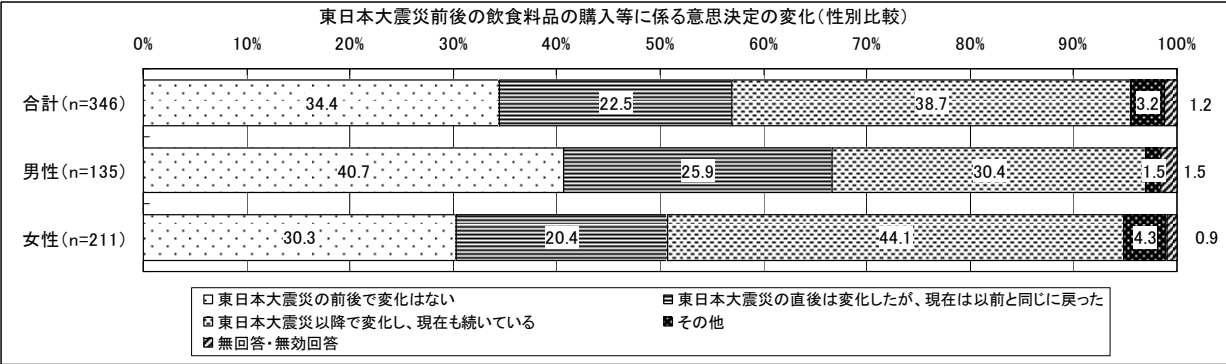
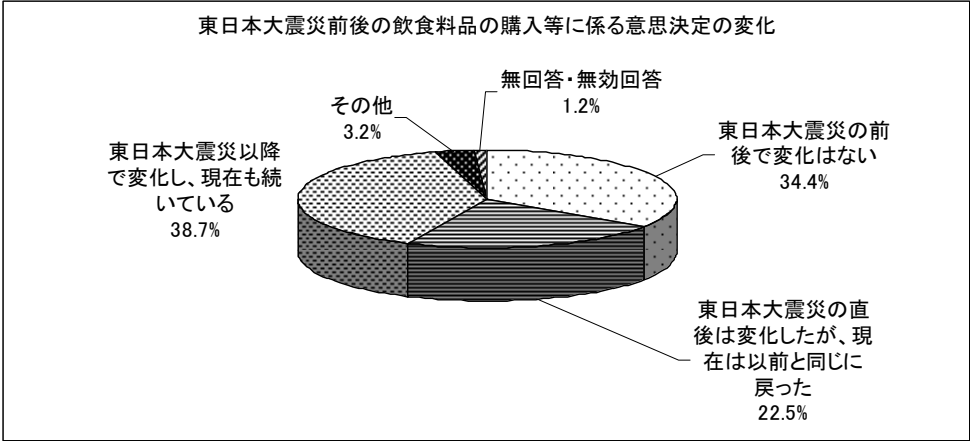
「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合は、女性で 44.1% に対し男性は 30.4% で、女性の方が高くなっている。

職務経験区分別で比較すると、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は、食品関係研究職経験者で 46.2% と最も高く、医療・教育職関係者 41.8%、食品関係業務経験者 38.6%、その他消費者一般 22.3% と続く。「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」とする回答割合は、食品関係研究職経験者で 34.6% と最も高く、食品関係業務経験者 24.8%、その他消費者一般 22.3%、医療・教育職関係者 10.9% と続く。「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合は、その他消費者一般で 47.3% と最も高く、医療・教育職関係者 43.6%、食品関係業務経験者 34.0%、食品関係研究職経験者 19.2% と続く。

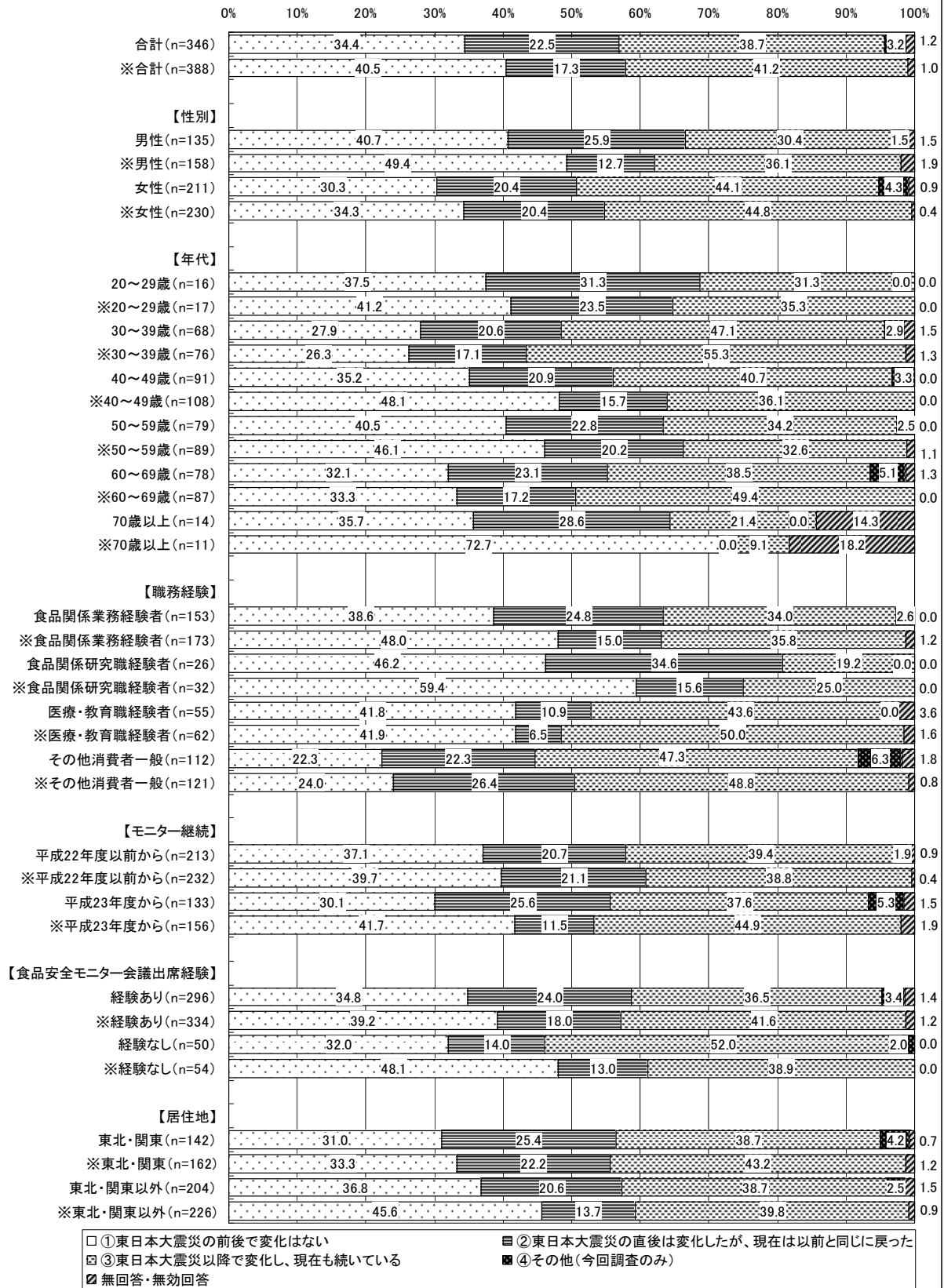
今回の調査と平成 23 年度調査（第 1 回）を比べると、「東日本大震災の直後は変化したが、現在は以前と同じに戻った」とする回答割合が増加（5.2% 増加、17.3%→22.5%）している一方、「東日本大震災の前後で変化はない」（6.1% 減少、40.5%→34.4%）、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」（2.5% 減少、41.2%→38.7%）とする回答割合は減少している。

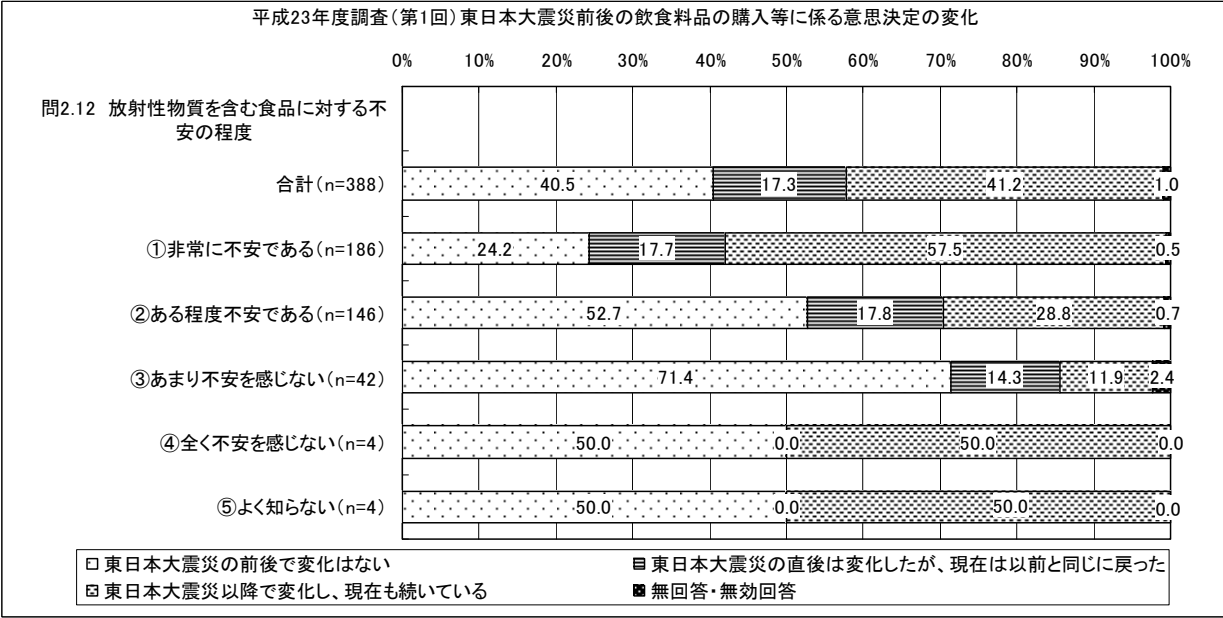
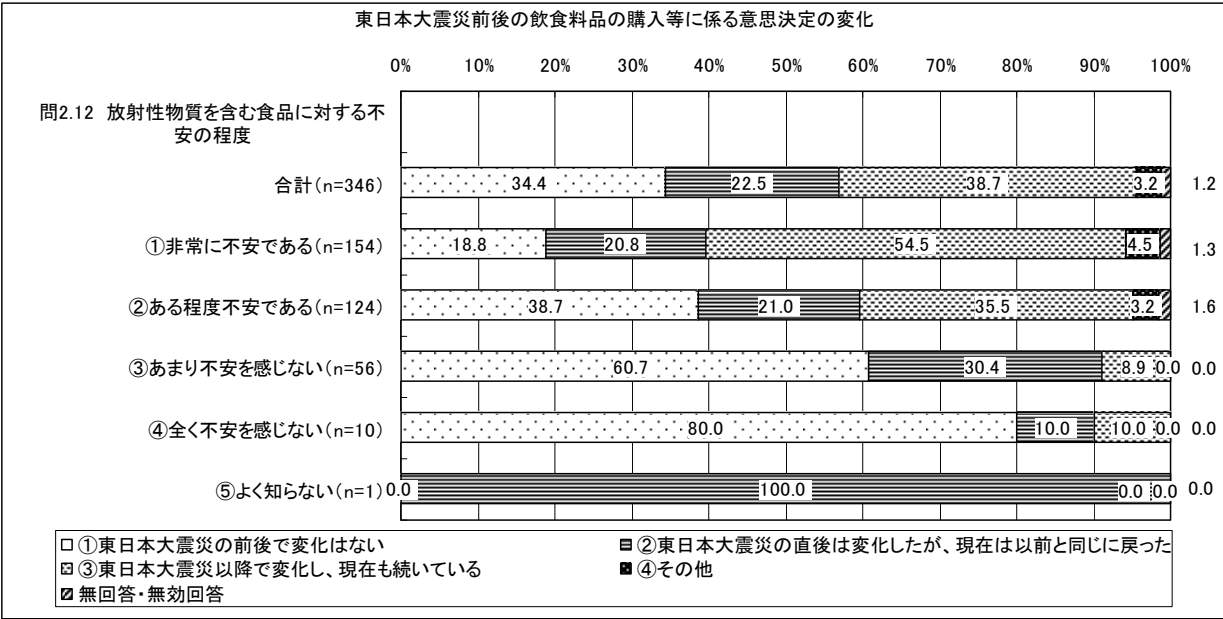
また、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合に変化が少ない（平成 23 年度調査（第 1 回）の平成 23 年 7 月から今回調査の平成 24 年 3 月の 6 ヶ月の間に意思決定の変化が少ない）のは、性別では男性（5.7% 減少、36.1%→30.4%）より女性（0.7% 減少、44.8%→44.1%）で、職務経験別では食品関係研究職経験者（5.8% 減少、25.0%→19.2%）、医療・研究職経験者（6.4% 減少、50.0%→43.6%）よりその他消費者一般（1.5% 減少、48.8%→47.3%）及び食品関係業務経験者（1.8% 減少、35.8%→34.0%）、居住地別では東北・関東（4.5% 減少、43.2%→37.7%）より東北・関東以外（1.1% 減少、39.8%→38.7%）となっている。

問 2 の放射性物質を含む食品の健康影響に対する不安感と意思決定の変化との関係では、問 2 で「非常に不安である」と回答した人では、「東日本大震災以降で変化し、現在も続いている」とする回答割合が 54.5% と最も高く、健康影響に対する不安感の強さと消費行動の変化との間に平成 23 年度調査（第 1 回）と同様に強い相関がみられる。一方、問 2 で「あまり不安を感じない」と回答した人では、「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合が 60.7% と問 2 の他の回答区分に比べて高く、平成 23 年度調査（第 1 回）と同様の傾向であった。また「東日本大震災の前後で変化はない」とする回答割合は、全体では 6.1%（40.5%→34.4%）減少しており、問 2 で「あまり不安を感じない」、「ある程度不安である」とした人でも、それぞれ 10.7%（71.4%→60.7%）、14.7%（52.7%→38.7%）減少している。



東日本大震災前後の飲食料品に係る意思決定の変化
上段:今回調査、下段:平成23年度(第1回)調査 ※





問5：その他（具体的に記入してください）

（回答者数 10 名）

震災後は極力地産のものを購入している、水道水については情報の公開が明確のため現在は以前と同じにしているが、食品については暫定基準、新基準ともに納得がいかず、自分なりに情報収集して購入の判断材料にしているなどの意見があった。

②食品に対する影響の情報収集の姿勢（問 6）

問 6 東日本大震災に伴う福島第一原発事故発生後、食品に対する影響について情報収集を行っていますか。あてはまるものを選択肢①～⑤の中から 1 つ選んでください。

【選択肢】

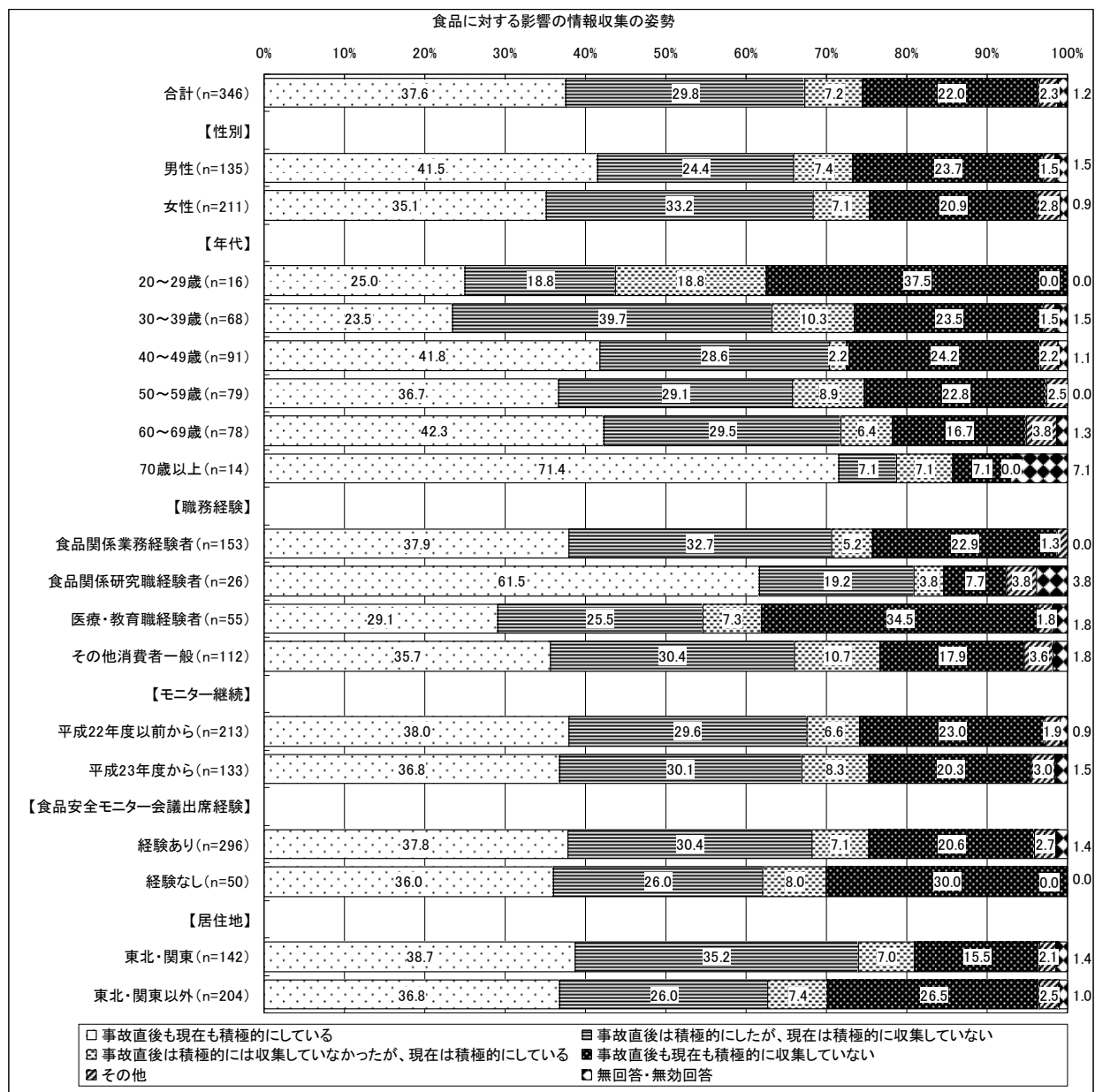
- ① 事故直後も現在も積極的にしている
- ② 事故直後は積極的にしたが、現在は積極的に収集していない
- ③ 事故直後は積極的に収集していなかったが、現在は積極的にしている
- ④ 事故直後も現在も積極的に収集していない
- ⑤ その他（具体的に記入してください。）

- ◆ 食品に対する影響の情報収集の姿勢の全体の回答割合は、「事故直後も現在も積極的にしている」(37.6%)、「事故直後は積極的にしたが、現在は積極的に収集していない」(29.8%)、「事故直後も現在も積極的に収集していない」(22.0%)、「事故直後は積極的に収集していなかったが、現在は積極的にしている」(7.2%)の順となっている。
- ◆ 食品に対する影響の情報収集を属性別に比較すると、居住地別では「事故直後も現在も積極的にしている」は、「東北・関東」、「東北・関東以外」共に最も回答割合が高い選択肢でそれぞれ 38.7%、36.8%で、回答割合の差が少ない。
- ◆ 食品に対する影響の情報収集を属性別に比較すると、職務経験区分別で特に差が見られた。食品関係研究職経験者では、「事故直後も現在も積極的にしている」とする回答割合が 61.5%と他の区分に比べて高くなっている。

食品に対する影響の情報収集の姿勢の全体の回答割合は、「事故直後も現在も積極的にしている」(37.6%) が最も高く、「事故直後は積極的にしたが、現在は積極的に収集していない」(29.8%)、「事故直後も現在も積極的に収集していない」(22.0%)、「事故直後は積極的に収集していなかったが、現在は積極的にしている」(7.2%)と続く。

食品に対する影響の情報収集の姿勢の居住地別比較では「事故直後も現在も積極的にしている」とする回答割合は、東北・関東、東北・関東以外共に最も高いが、差は少なく、それぞれ 38.7%、36.8%であった。

食品に対する影響の情報収集の姿勢は、職務経験区分別で特に差が見られた。「事故直後も現在も積極的にしている」とする回答割合は、食品関係研究職経験者で 61.5%と最も高く、続いて食品関係業務研究者の 37.9%、その他一般消費者の 35.7%、医療・教育職研究者の 29.1%に比べて 20%以上高くなっている。「事故直後は積極的にしたが、現在は積極的に収集していない」とする回答割合は、食品関係業務経験者で 32.7%と最も高くなっている。「事故直後は積極的に収集していなかったが、現在は積極的にしている」とする回答割合は、その他消費者一般で 10.7%と最も高い。「事故直後も現在も積極的に収集していない」とする回答割合は、医療・教育職経験者で 34.5%と最も高い一方、食品関係研究職経験者では 7.7%と低い回答割合となっている。



問6：その他（具体的に記入してください）

（回答者数 8 名）

積極的に情報収集はしていないが、自然と目や耳に入ってくる、業務を通して情報収集している、個人の生活上ではなく職務上の必要で情報収集しているなどの意見があった。

③東日本大震災前後の飲食料品に係る意思決定の変化（問 7）

問 7 食品に含まれる放射性物質の健康影響について、安心感・不安感につながった情報にはどのような情報がありますか。安心感・不安感につながった情報についてそれぞれお答えください。報告書の記入欄は、安心感・不安感につながった情報について各3つずつ用意していますが、それ以上ある場合は、記入欄と同様の内容を余白にお書きください。

(1)入手媒体・情報発信元（例：新聞、ホームページ）を【媒体・発信元の選択肢】の①～⑮の中から1つ選んでください。

【媒体・発信元の選択肢】

- ① テレビ
- ② 新聞（インターネットのニュースサイトを含む）
- ③ 一般の雑誌・書籍
- ④ 専門書・学術書等
- ⑤ インターネット上のコミュニティサイト等（SNS（注）・ブログなど）
- ⑥ 国からの情報
- ⑦ 保健所などの地方自治体
- ⑧ 生産者、食品メーカーなどの食品の生産者
- ⑨ スーパーなどの販売事業者
- ⑩ 大学・研究機関・研究所
- ⑪ 医療機関
- ⑫ 消費者団体
- ⑬ NPO
- ⑭ 家族・知人
- ⑮ 地域・学校
- ⑯ その他（具体的に記入してください）

（注）SNSとは、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの事をいいます。

(2)また、その情報の内容について【情報の内容の選択肢】の①～③の中から1つ選び、その内容を記入例のように具体的に記入してください。

【情報の内容の選択肢】

- ① 客観的データ
- ② 健康影響の見解
- ③ その他（具体的に記入してください）

(2)の記入例

②「情報の内容の選択肢」	①	合は①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮の欄に具体的に記入してください	①	情報の具体的内容	チェルノブイリの被災者健康データ
	②		②		甲状腺機能異常についての放射線検査の見解
	③		③		
	④		④		

- ◆ 食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報の媒体・発信元の回答割合は「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」（52.9%）、「テレビ」（44.8%）、「国からの情報」（25.4%）の順となっている。
- ◆ 食品に含まれる放射性物質の健康影響について不安感につながった情報の媒体・発信元の回答割合は、「テレビ」（63.9%）、「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」（37.9%）、「国からの情報」（22.8%）の順となっている。
- ◆ 安心感につながった情報の媒体・発信元と不安感につながった情報の媒体・発信元を比べ、安心感につながったとする回答割合の方が高く、その差が大きい順は、「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」（差は 15.0%）、「大学・研究機関・研究所」（同 9.2%）、「保健所などの地方自治体」（同 8.7%）、「専門書・学術書等」（同 7.5%）、「生産者、食品メーカーなどの食品の生産者」（同 6.9%）である。
- ◆ 不安感につながった情報の媒体・発信元と不安感につながった情報の媒体・発信元を比べ、不安感につながったとする回答割合の方が高く、その差が大きい順は、「テレビ」（差は 19.1%）、「一般の雑誌・書籍」（同 12.1%）、「インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど）」（同 11.9%）である。
- ◆ 食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報の内容として、「客観的データ」なのか、又は「健康影響の見解」なのかについて聞いたところ、媒体・発信元ごとの回答割合を見ると、「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」、「テレビ」、「国からの情報」については、「客観的データ」と「健康影響の見解」の割合は同程度であった。同様に、不安感につながった情報の内容について、媒体・発信元ごとの回答割合を見ると、「国からの情報」を除く全ての媒体・発信元で、「健康影響の見解」の占める割合の方が高くなっている。

食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報の媒体・発信元の回答割合は、新聞（インターネットのニュースサイトを含む）が 52.9%と最も高く、テレビ 44.8%、国からの情報 25.4%、大学・研究機関・研究所 13.0%、保健所などの地方自治体 11.3%、専門書・学術書等 10.1%、生産者、食品メーカーなどの食品の生産者 10.1%、インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど） 9.2%、スーパーなどの販売事業者 6.9%、一般の雑誌・書籍 6.4%、消費者団体 4.6%、家族・知人 4.0%、医療機関 2.3%、NPO 1.4%、地域・学校 0.9%と続く。

一方、食品に含まれる放射性物質の健康影響について不安感につながった情報の媒体・発信元の回答割合は、テレビが 63.9%と最も高く、新聞（インターネットのニュースサイトを含む） 37.9%、国からの情報 22.8%、インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど） 21.1%、一般の雑誌・書籍 18.5%、消費者団体 8.1%、家族・知人 6.6%、スーパーなどの販売事業者 5.5%、大学・研究機関・研究所 3.8%、生産者、食品メーカーなどの食品の生産者 3.2%、地域・学校 2.9%、専門書・学術書等 2.6%、NPO 2.0%、医療機関 0.3%と続く。

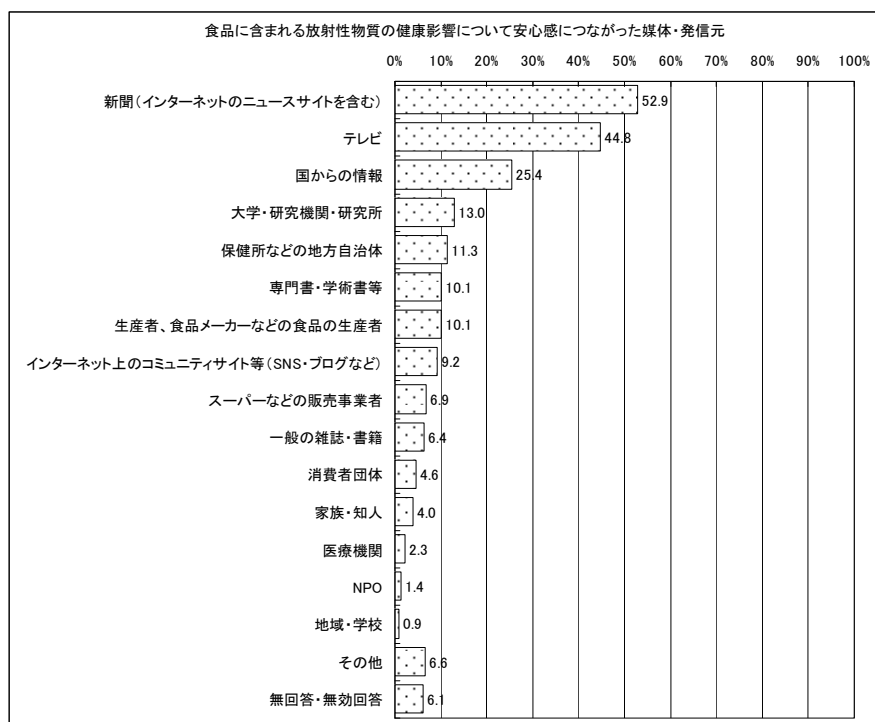
食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報情報の媒体・発信元と不安感につながった情報情報の媒体・発信元を比較すると、安心感につながったとする回答割合の方が高いのは「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」、「国からの情報」、

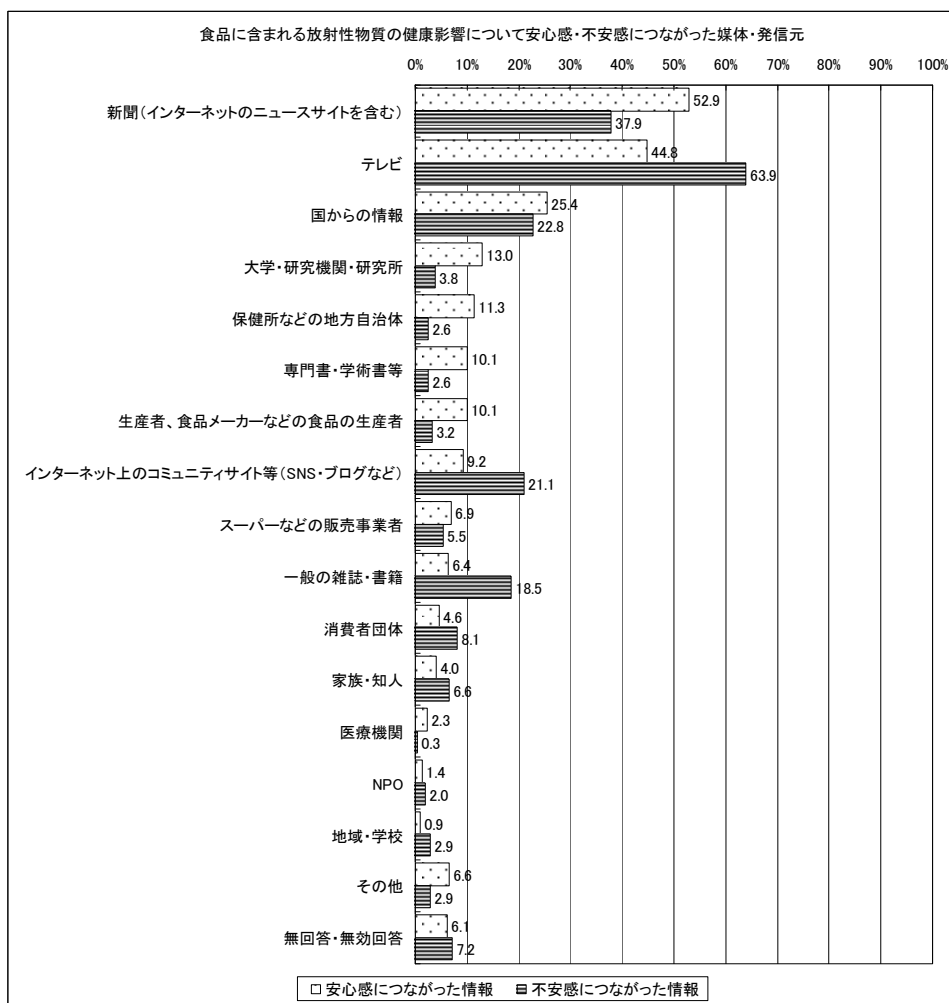
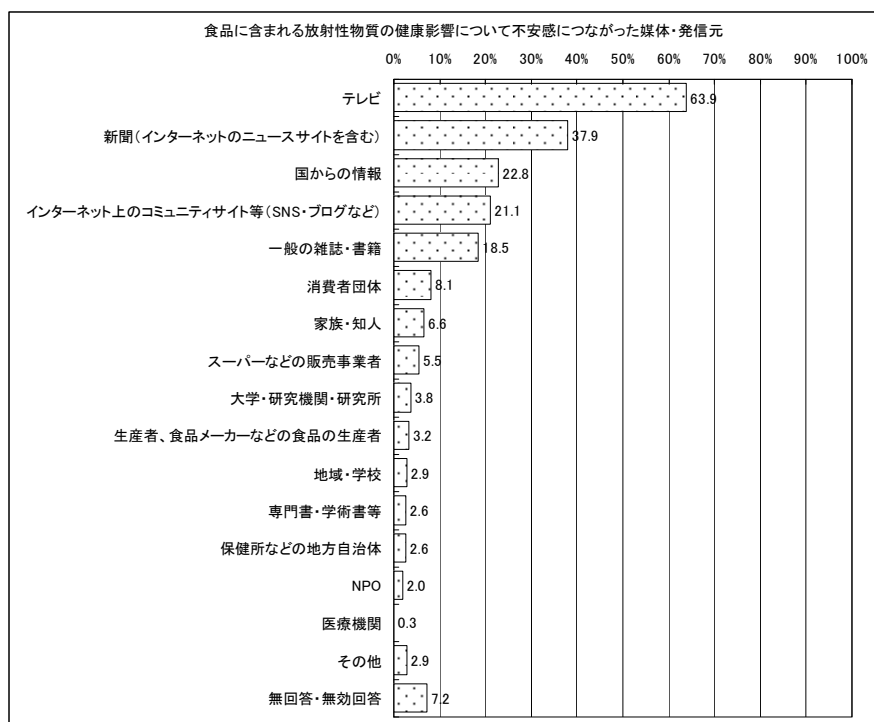
「大学・研究機関・研究所」、「保健所などの地方自治体」、「専門書・学術書等」、「生産者、食品メーカーなどの食品の生産者」「スーパーなどの販売事業者」「医療機関」となっている。一方、不安感につながったとする回答割合の方が高いのは「テレビ」、「インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど）」、「一般の雑誌・書籍」、「消費者団体」、「家族・知人」、「NPO」、「地域・学校」となっている。

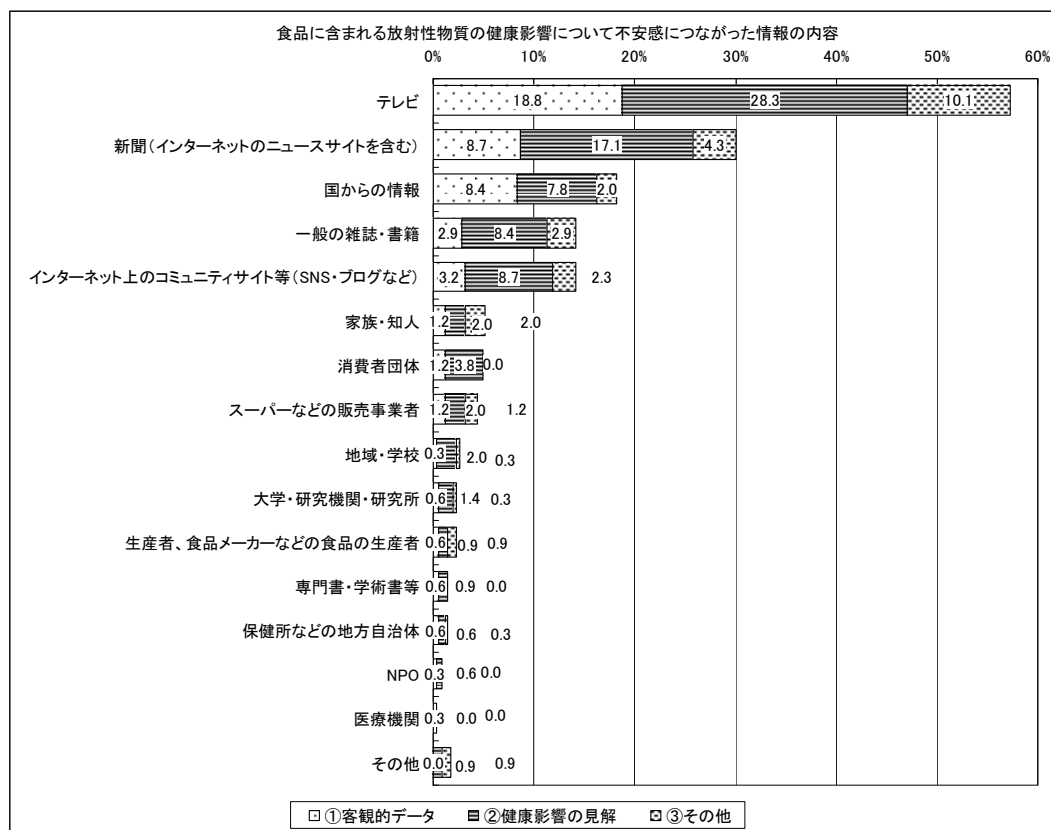
安心感につながったとする回答割合の方が特に高い情報の媒体・発信元は「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」で、安心感につながったとする回答割合 52.9%に対し、不安感につながったとする回答割合は 37.9%と 15.0%の開きがある。一方、不安感につながったとする回答割合の方が高い情報の媒体・発信元は「テレビ」で、安心感につながったとする回答割合 44.8%に対し、不安感につながったとする回答割合は 63.9%と 19.1%の開きがある。その他、「一般の雑誌・書籍」では、安心感につながったとする回答割合 6.4%に対し、不安感につながったとする回答割合は 18.5%で、その差は 12.1%）であり、「インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど）」では、安心感につながったとする回答割合 9.2%に対し、不安感につながったとする回答割合は 21.1%でその差は 11.9%であった。

食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報の媒体・発信元ごとに、情報の内容についての回答割合を見ると、「新聞（インターネットのニュースサイトを含む）」、「テレビ」、「国からの情報」では、「客観的データ」と「健康影響の見解」の割合が同程度であった。「客観的データ」の回答割合の方が回答割合が高いのは、「大学・研究機関・研究所」、「生産、食品メーカーなどの食品の生産者」、「スーパーなどの販売事業者」、「消費者団体であり、「健康影響の見解」の方が高いのは、「一般の雑誌・書籍」、「家族・知人」であった。

一方、不安感につながった情報の内容について、媒体・発信元ごとの回答割合を見ると、「国からの情報」を除く全ての媒体・発信元で、「健康影響の見解」が占める割合の方が高い。







問 7：その他（具体的に記入してください）

（１）安心感につながった情報

【媒体・発信元】（回答者数 23 名）

安心感につながった情報の媒体・発信元として、食品安全委員会、講演会とする意見が多くあった。

【情報の内容】（回答者数 13 名）

安心感につながった情報の内容として、記者の客観的な意見、リスクコミュニケーション、店頭での取組についてなどの意見があった。

【情報の具体的内容】（回答者数 217 名）

①テレビ

放射線量の測定データ（通常時との比較など）、放射線が人体に与える影響、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量の基準値、チェルノブイリや広島などの過去の事例、専門家の見解などの意見が多くあった。

②新聞（インターネットのニュースサイトを含む）

放射線量の測定データ（通常時との比較など）、放射線が人体に与える影響、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量の基準値、専門家や報道機関による異なる見解の集約・比較、チェルノブイリや広島などの過去の事例、専門家の見解、放射能に関する用語解説などの意見が多くあった。

③国からの情報

放射線量の測定データ（通常時との比較など）、放射線が人体に与える影響、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量の基準値、食品安全委員会から提供された「食品中に含まれる放射性物質の食品影響評価」、食品安全モニター会議で得た情報、専門家の見解などの意見が多くあった。

④大学・研究機関・研究所

放射線量の測定データ（通常時との比較など）、放射線が人体に与える影響、チェルノブイリや広島などの過去の事例、専門家の見解（大学教授や放射線医など）、放射能に関する用語解説などの意見が多くあった。

⑤生産者、食品メーカーなどの食品の生産者

農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量の基準値、農産物の産地表示などの意見が多くあった。

（２）不安感につながった情報

【媒体・発信元】（回答者数 8 名）

不安感につながった情報の媒体・発信元として、東京電力、専門家、マスコミなどの意見があった。

【情報の内容】（回答者数 10 名）

不安感につながった情報内容としては、報道（不安をあおるもの、興味本意なものなど）との意見が多くあった。その他、諸外国の退避勧告、水・食品の検査結果などの意見も見られた。

【情報の具体的内容】（回答者数 228 名）

①テレビ

不安をあおるような報道、科学的根拠のない不確実な情報、専門家・コメンテーターによる見解の相違、放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、風評被害の報道、放射線が人体に与える影響（長期的な影響の評価、子供の甲状腺異常）、チェルノブイリや広島などの過去の事例、不適切な表現などの意見が多くあった。

②新聞（インターネットのニュースサイトを含む）

不安をあおるような報道、科学的根拠のない不確実な情報、専門家による見解の相違、放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、風評被害の報道、放射線が人体に与える影響（長期的な影響の評価、子供の甲状腺異常）、チェルノブイリや広島などの過去の事例などの意見が多くあった。

③国からの情報

放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射線量測定データ、農産物・水産物・食品の放射

線量の基準値、放射線が人体に与える影響、二転三転する情報・見解、「ただちに影響を与えるレベルではない」との発言、安全性の根拠が説明されない情報などの意見が多くあった。

④一般の雑誌・書籍

不安をあおるような内容、放射線が人体に与える影響（子供の甲状腺異常）、除染方法、諸外国の対応などの意見が多くあった。

⑤インターネット上のコミュニティサイト等（SNS・ブログなど）

個人的な見解を含んだ正確性に欠ける情報、独自の放射線量測定データ、科学的根拠のない不確実な情報、個人の体調不良の報告、各人で異なる見解などの意見が多くあった。

3) 肉の生食に関するリスク管理措置について

①肉の生食に関するリスク管理措置（問 8）

問 8 生食用食肉（牛肉）については、昨年 8 月にリスク評価が行われ、昨年 10 月より新たに規格基準と表示基準が定められました。次の 2 つの表示基準それぞれについて、選択肢①～④の中から当てはまるものを 1 つずつ選んでください。

【表示基準 1】

店頭、メニューなどの店舗の見やすい場所に、以下の 2 点を表示する必要がある

- ・一般的に食肉の生食は食中毒のリスクがあること
- ・子ども、高齢者、食中毒に対する抵抗力の弱い人は食肉の生食を控える事

【選択肢】

- ① 自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている
- ② 順守されていない飲食店や店舗を見た
- ③ 該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない
- ④ その他（具体的に記入してください）

【表示基準 2】

容器包装に入れて販売する場合は、以下の 3 点を記載する必要がある

- ・生食用であること
- ・とさつ、または解体が行われたと畜場の所在地の都道府県名（輸入品の場合は原産国名）、と畜場の名称（及びと畜場である旨）・・・ A（記載例については下を参照）
- ・生食用食肉の加工基準の適合する方法で加工が行われた施設の所在地の都道府県名（輸入品の場合は原産国名）、加工施設の名称（及び加工施設である旨）・・・ B

【選択肢】

- ① 自分で店舗を見る限り、遵守されている
- ② 順守されていない店舗を見た
- ③ 生食用食肉を販売している店舗を見ていないので、わからない
- ④ その他（具体的に記入してください）

<表示例 A>

〇〇県 △△株式会社食肉センター（と畜場）

<表示例 B>

〇〇県 ××株式会社食肉加工センター（加工施設）

- ◆ 肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 1）に係る回答割合は、「該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない」（63.0%）、「自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている」（16.2%）、「順守されていない飲食店や店舗を見た」（15.6%）の順となっている。
- ◆ 肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 2）に係る回答割合は、「該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない」（63.0%）、「自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている」（23.7%）、「順守されていない飲食店や店舗を見た」（8.7%）の順となっている。
- ◆ 肉の生食に関するリスク管理措置を属性別に比較すると、性別で特に差が見られた。表示基準 1（店舗での表示）と表示基準 2（容器包装上の表示）のいずれについても、男性は女性に比べ

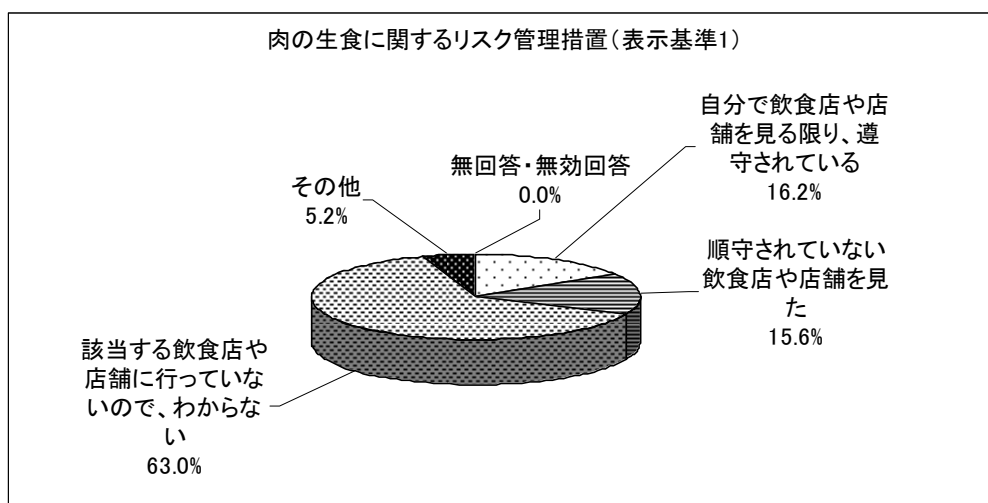
て「順守されていない飲食店や店舗を見た」とする回答割合が高く（表示基準 1:男性 27.4%、女性 8.1%。表示基準 2:男性 12.6%、女性 6.2%）、女性では、男性に比べて「自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている」とする回答割合が高くなっている（表示基準 1:女性 19.4%、男性 11.1%。表示基準 2:女性 24.6%、男性 22.2%）。

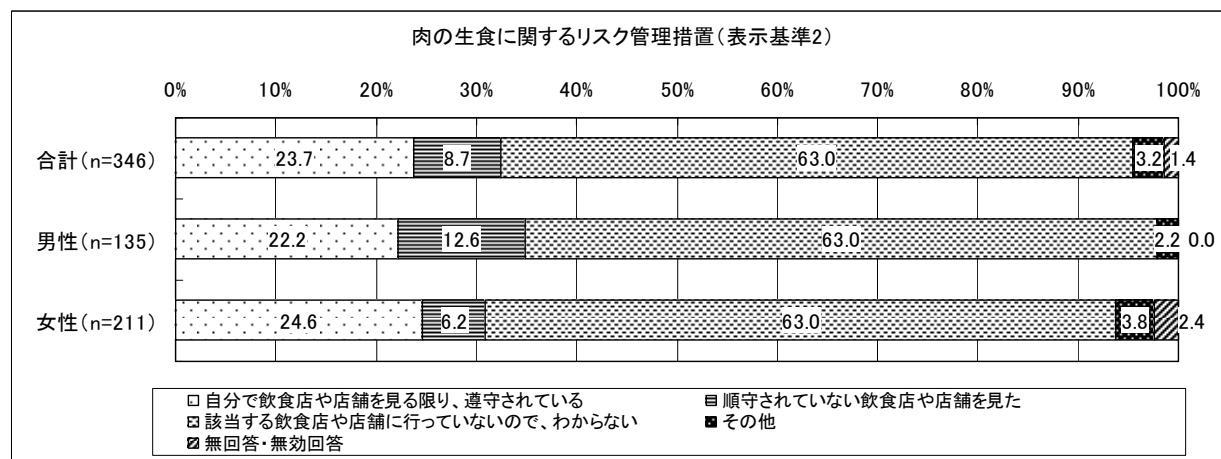
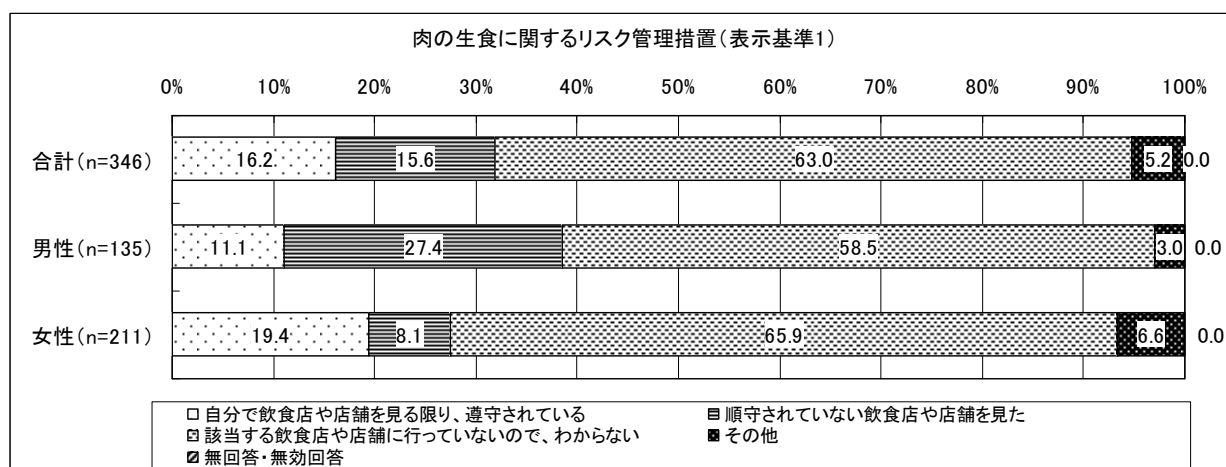
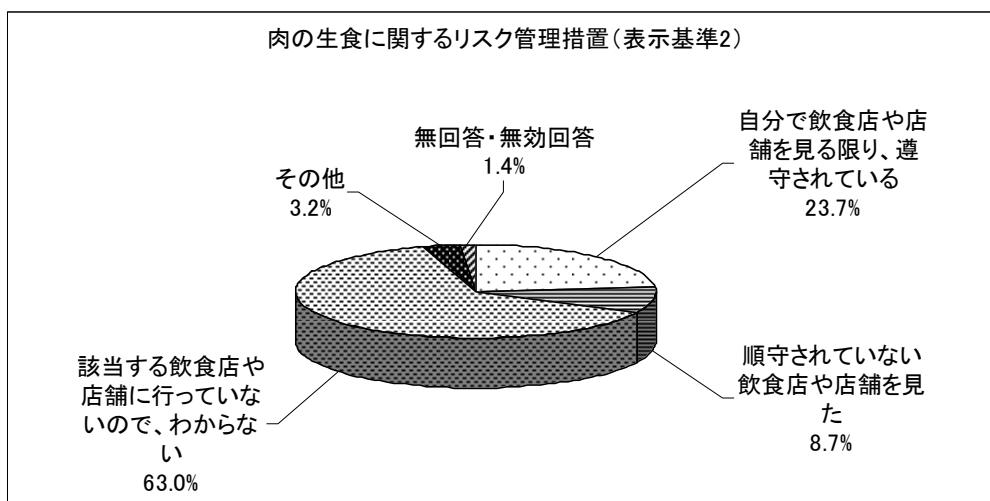
肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 1・店舗での表示）についての回答割合は、「該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない」63.0%、「自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている」16.2%、「順守されていない飲食店や店舗を見た」15.6%の順となっている。

肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 2・容器包装上の表示）についての回答割合は、「該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない」63.0%、「自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている」23.7%、「順守されていない飲食店や店舗を見た」8.7%の順となっている。

肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 1・店舗での表示）について性別で比較すると、「順守されていない飲食店や店舗を見た」とする回答割合は、男性で 27.4%と女性の 8.1%より高くなっており、「自分で飲食店や店舗を見る限り、順守されている」では女性の 19.4%に対し男性は 11.1%で女性の方が回答割合が高い。また、「該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない」とする回答割合は女性で 65.9%と男性の 58.5%より高くなっている。

肉の生食に関するリスク管理措置（表示基準 2・）について性別で比較すると、「順守されていない飲食店や店舗を見た」とする回答割合は、男性で 12.6%と女性の 6.2%より高くなっている。





問8：その他（具体的に記入してください）

（1）表示基準1

（回答者数 18 名）

表示に気付かなかった、生食用食肉を提供している店舗が減少したなどの意見があった。

（2）表示基準2

（回答者数 11 名）

表示基準に気付かなかった、生食用食肉を販売している店舗が減少したなどの意見があった。

4) 食品安全委員会からの情報発信について

①食品安全委員会ホームページの閲覧状況（問 9）

問 9 食品安全委員会ホームページの閲覧状況 A～D それぞれについて、別添の図表の番号 1～27の中から当てはまるものを選んでください。

【閲覧状況】

- A 閲覧頻度が高い順に 5 つ選んでください
- B 重要度が高いと思う情報をすべて選んでください
- C 重要度が低いと思う情報をすべて選んでください
- D 一度も閲覧したことのない情報をすべて選んでください

- ◆ 食品安全委員会ホームページにおいて、各食品安全モニター（以下「モニター」という。）が「閲覧頻度が高い」と選択した第 1 位から第 5 位までの閲覧項目の回答割合の合計上位 3 位は、「1 重要なお知らせ」（73.4%）、「2 お知らせ」（57.8%）、「20 新着情報」（50.0%）となっている。
- ◆ 食品安全委員会ホームページにおいて、モニターが「重要度が高い」と思う閲覧項目の回答割合の合計上位 3 位は、「1 重要なお知らせ」（71.1%）、「2 お知らせ」（51.4%）、「20 新着情報」（39.6%）の順となっている。
- ◆ 食品安全委員会ホームページにおいて、モニターが「重要度が低い」と思う閲覧項目の回答割合の合計上位 3 位は、「6 動画配信などビジュアル資料」（10.7%）、「5 キッズボックス」（10.4%）、「15 メールマガジン配信登録」（9.0%）の順となっている。
- ◆ 食品安全委員会ホームページにおいて、「一度も閲覧したことのない情報」とした閲覧項目の回答割合の合計上位 3 位は、「4 お母さんになるあなたへ」（25.4%）、「5 キッズボックス」（24.6%）、「14 パブリック・コメント募集」（22.0%）の順となっている。

食品安全委員会ホームページの閲覧頻度の第 1 位から第 5 位の回答割合の合計は、「1 重要なお知らせ」73.4%、「2 お知らせ」57.8%、「20 新着情報」50.0%、「3 消費者の方向け情報」32.8%、「16 よくある質問とその答え」24.3%、「26 専門調査会別情報」21.5%、「19 食品安全モニターからの報告」18.2%、「21 FSC Views」16.2%、「5 キッズボックス」14.5%、「4 お母さんになるあなたへ」10.8%、「22 食品健康影響評価（リスク評価）」9.9%、「8 食品健康影響評価（リスク評価）」7.0%、「25 食品安全総合情報システム」6.9%、「6 動画配信などビジュアル資料」6.7%、「17 食品の安全性に関する用語集」6.7%、「9 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」5.2%、「23 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」5.2%、「24 調査・研究活動」4.0%、「14 パブリック・コメント募集」3.9%、「13 食の安全ダイアル」3.5%、「10 会議開催予定と委員会の実績」2.4%、「15 メールマガジン配信登録」2.1%、「12 リンク集」1.8%、「11 食品安全委員会とは」1.5%、「7 FSC Views」1.2%、「18 食品安全委員会とは」0.6%と続く。

食品安全委員会ホームページの閲覧頻度それぞれの順位ごとの回答割合を見ると、第 1 位では「1 重要なお知らせ」が 61.8%と最も高く、「20 新着情報」6.9%、「2 お知らせ」2.3%、「3 消費者の方向け情報」2.3%と続く。第 2 位では、「2 お知らせ」が 39.9%と最も高く、「20 新着情報」11.6%、「3 消費者の方向け情報」6.6%と続く。第 3 位では、「20 新着情報」が 17.1%と最も高く、「3 消費者の方向け情報」10.7%、「2 お知らせ」8.4%と続く。第 4 位では、「20 新着情報」と「16 よくある質問とその答え」が 9.5%と最も高く、「3 消

費者の方向け情報」6.6%、「21 FSC Views」6.4%と続く。第5位では、「26 専門調査会別情報」が8.4%と最も高く、「3 消費者の方向け情報」6.6%、「16 よくある質問とその答え」6.4%、「19 食品安全モニターからの報告」6.4%と続く。

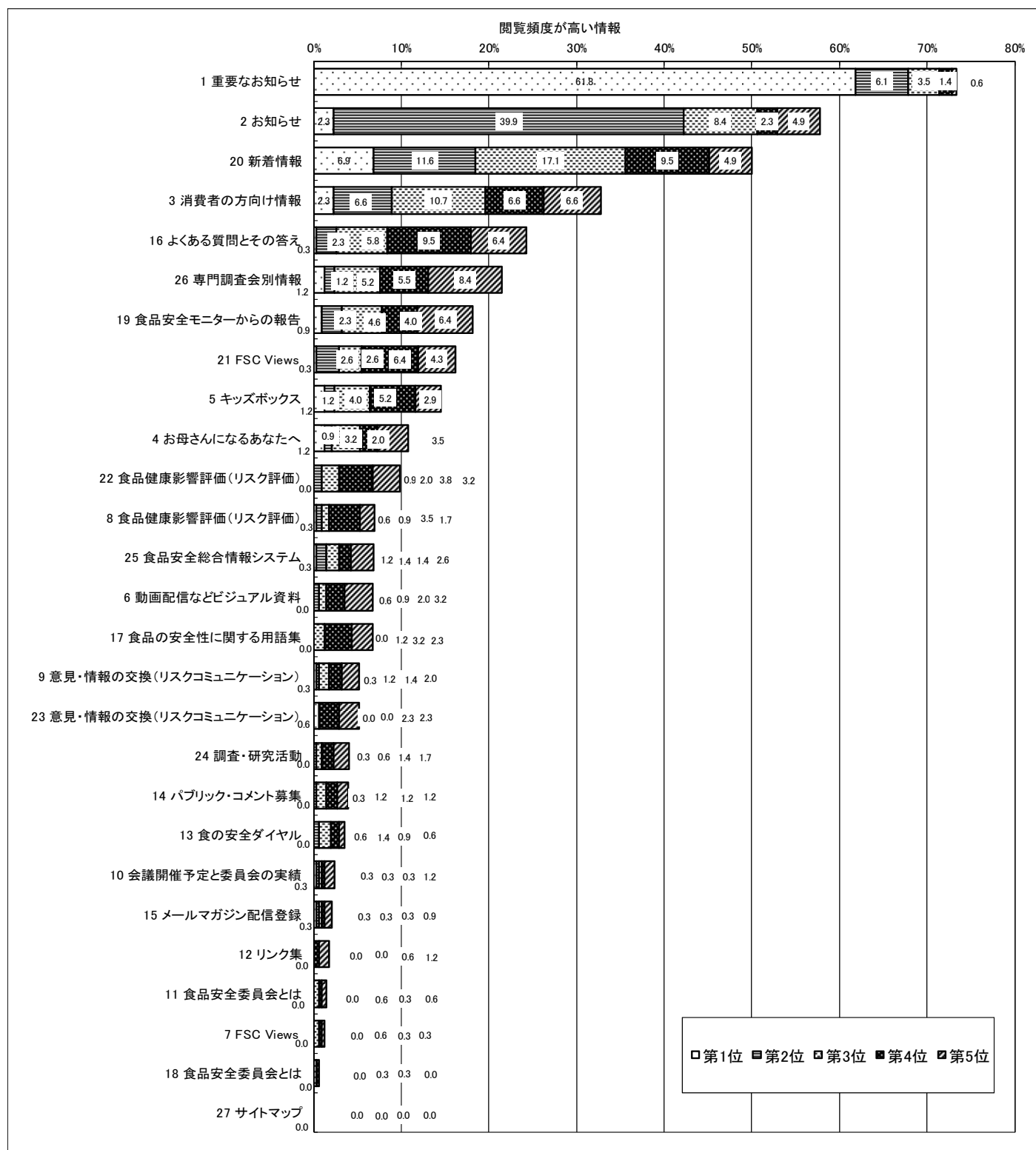
食品安全委員会ホームページの重要度が高いと思う情報の全体の回答割合は、「1 重要なお知らせ」71.1%、「2 お知らせ」51.4%、「20 新着情報」39.6%、「3 消費者の方向け情報」30.3%、「26 専門調査会別情報」24.3%、「16 よくある質問とその答え」22.0%、「22 食品健康影響評価（リスク評価）」21.4%、「13 食の安全ダイアル」20.2%、「4 お母さんになるあなたへ」19.9%、「21 FSC Views」19.4%、「5 キッズボックス」16.8%、「8 食品健康影響評価（リスク評価）」14.5%、「25 食品安全総合情報システム」14.5%、「17 食品の安全性に関する用語集」13.9%、「19 食品安全モニターからの報告」13.6%、「23 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」13.0%、「14 パブリック・コメント募集」12.7%、「6 動画配信などビジュアル資料」11.8%、「24 調査・研究活動」11.6%、「9 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」11.0%、「15 メールマガジン配信登録」7.2%、「18 食品安全委員会とは」6.6%、「10 会議開催予定と委員会の実績」6.1%、「7 FSC Views」5.8%、「12 リンク集」5.2%、「11 食品安全委員会とは」4.0%、「27 サイトマップ」2.6%と続く。

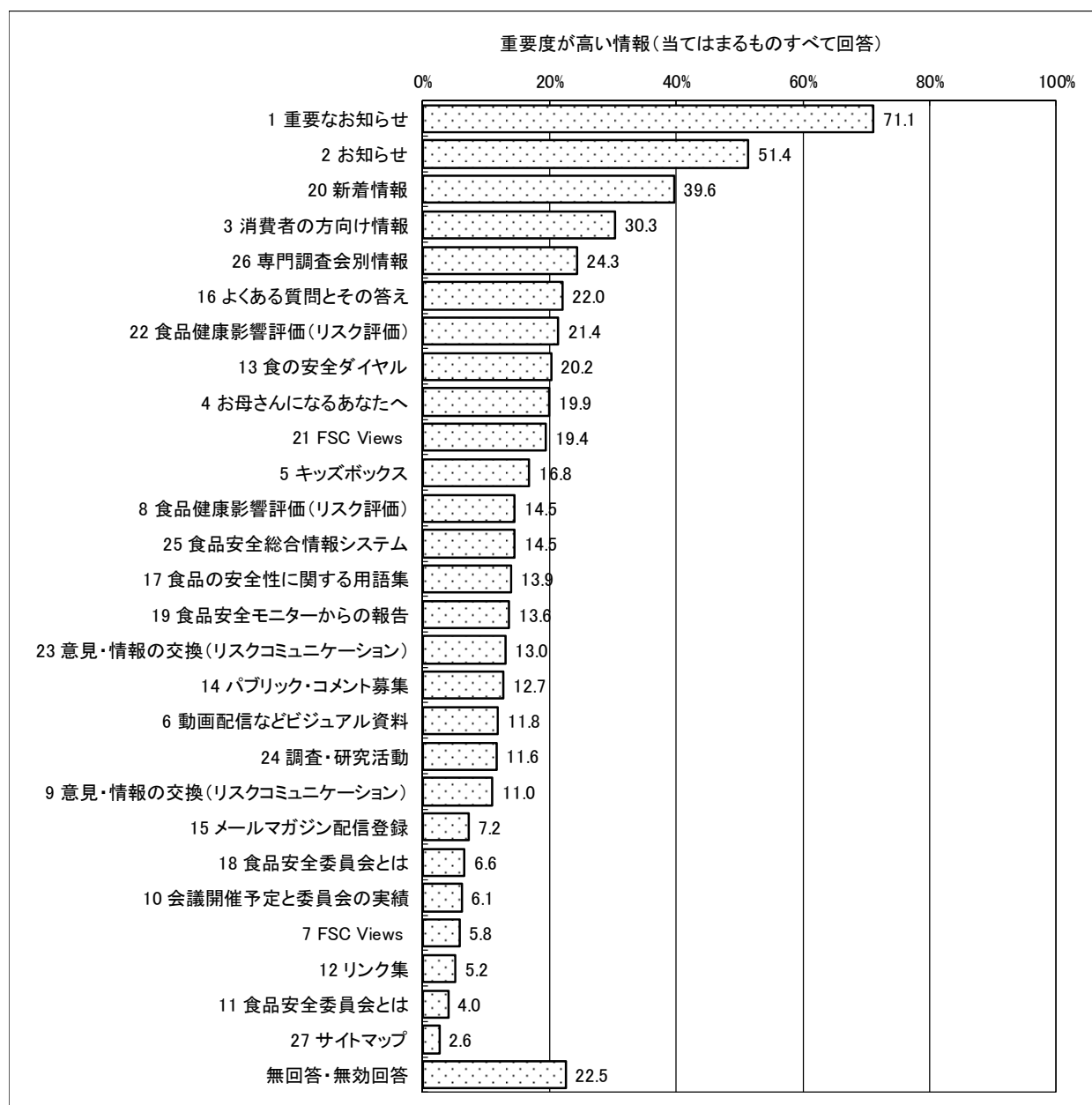
食品安全委員会ホームページの重要度が低いと思う情報の全体の回答割合は、「6 動画配信などビジュアル資料」10.7%、「5 キッズボックス」10.4%、「15 メールマガジン配信登録」9.0%、「12 リンク集」8.1%、「10 会議開催予定と委員会の実績」7.2%、「24 調査・研究活動」6.1%、「25 食品安全総合情報システム」6.1%、「26 専門調査会別情報」6.1%、「4 お母さんになるあなたへ」5.5%、「27 サイトマップ」5.5%、「11 食品安全委員会とは」5.2%、「14 パブリック・コメント募集」4.6%、「3 消費者の方向け情報」4.0%、「23 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」4.0%、「21 FSC Views」3.8%、「7 FSC Views」3.2%、「13 食の安全ダイアル」3.2%、「17 食品の安全性に関する用語集」2.9%、「22 食品健康影響評価（リスク評価）」2.9%、「9 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」2.6%、「20 新着情報」2.0%、「19 食品安全モニターからの報告」1.7%、「2 お知らせ」1.4%、「8 食品健康影響評価（リスク評価）」1.2%、「1 重要なお知らせ」0.6%と続く。

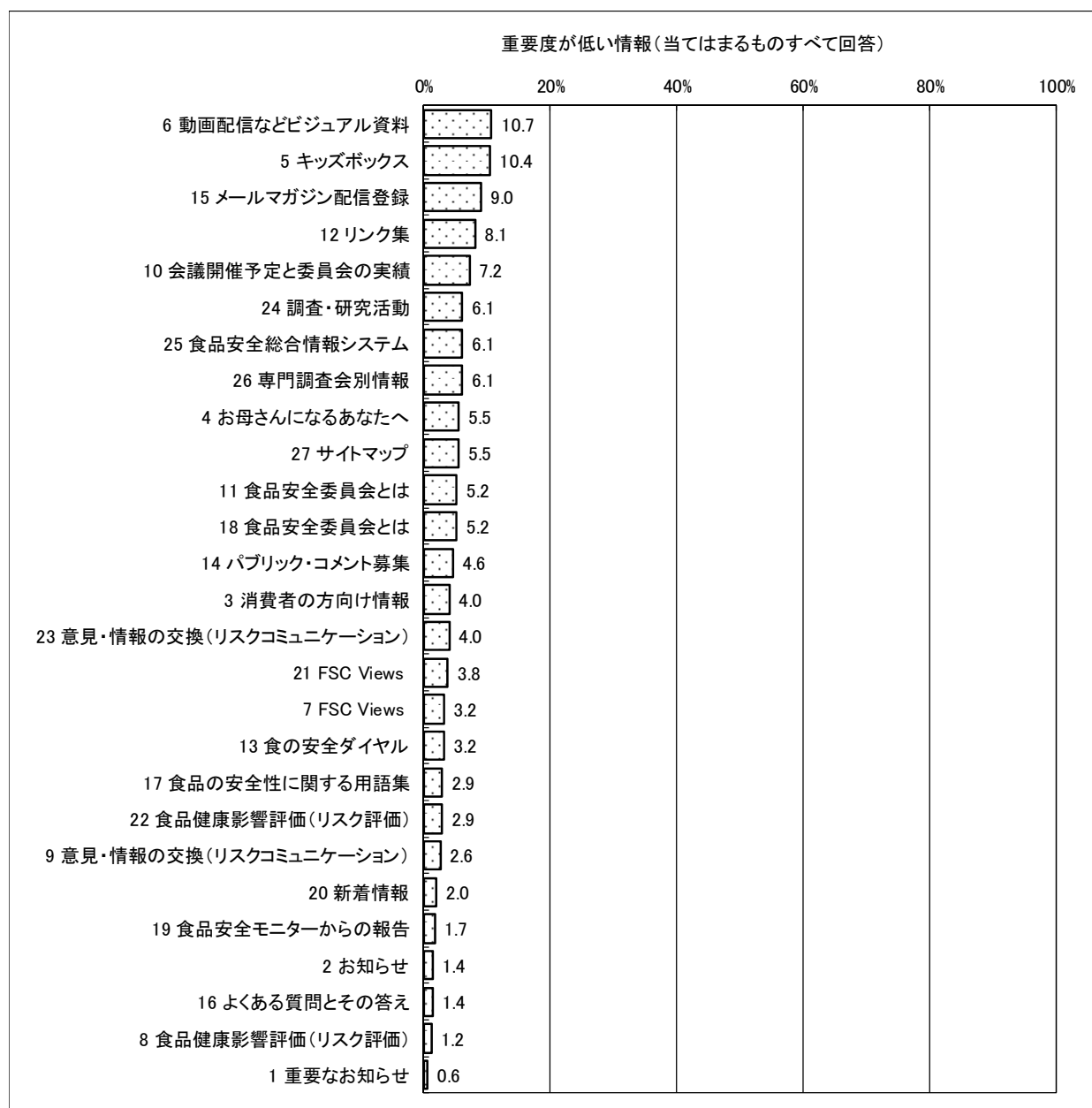
食品安全委員会ホームページの重要度が低いと思う情報について性別で比較すると、「25 食品安全総合情報システム」、「26 専門調査会別情報」、「23 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」、「22 食品健康影響評価（リスク評価）」、「9 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」を除くすべての事項で、男性の方が、重要度が低いとする回答割合が高くなっている。特に男性の方で回答割合が高い事項は、「6 動画配信などビジュアル資料」、「5 キッズボックス」、「15 メールマガジン配信登録」、「12 リンク集」、「4 お母さんになるあなたへ」、「11 食品安全委員会とは」、「18 食品安全委員会とは」、「3 消費者の方向け情報」となっている。

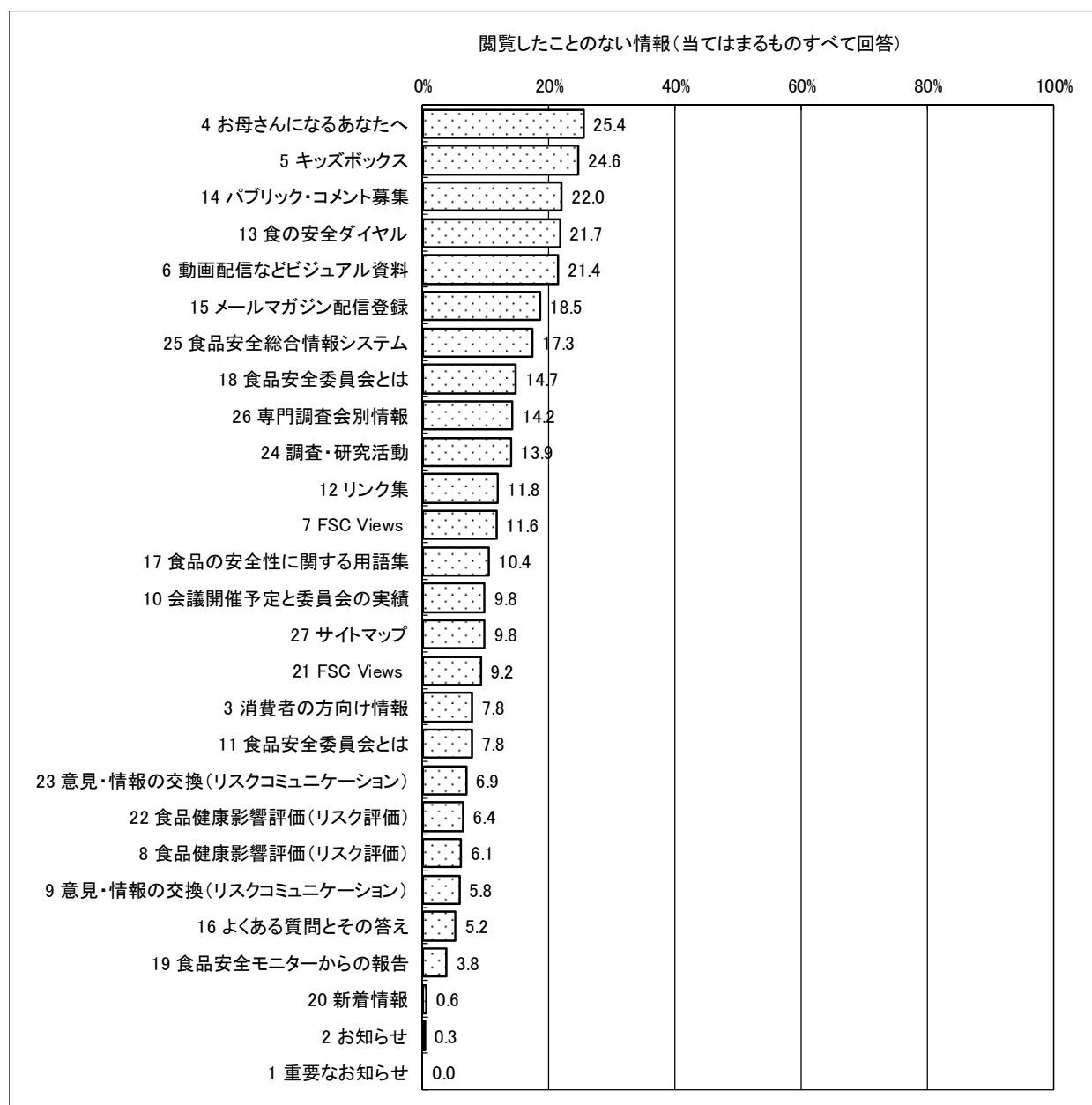
食品安全委員会ホームページの一度も閲覧したことのない情報の全体の回答割合は、「4 お母さんになるあなたへ」25.4%、「5 キッズボックス」24.6%、「14 パブリック・コメント募集」22.0%、「13 食の安全ダイアル」21.7%、「6 動画配信などビジュアル資料」21.4%、「15 メールマガジン配信登録」18.5%、「25 食品安全総合情報システム」17.3%、「18 食品安全委員会とは」14.7%、「26 専門調査会別情報」14.2%、「24 調査・研究活動」13.9%、「12 リ

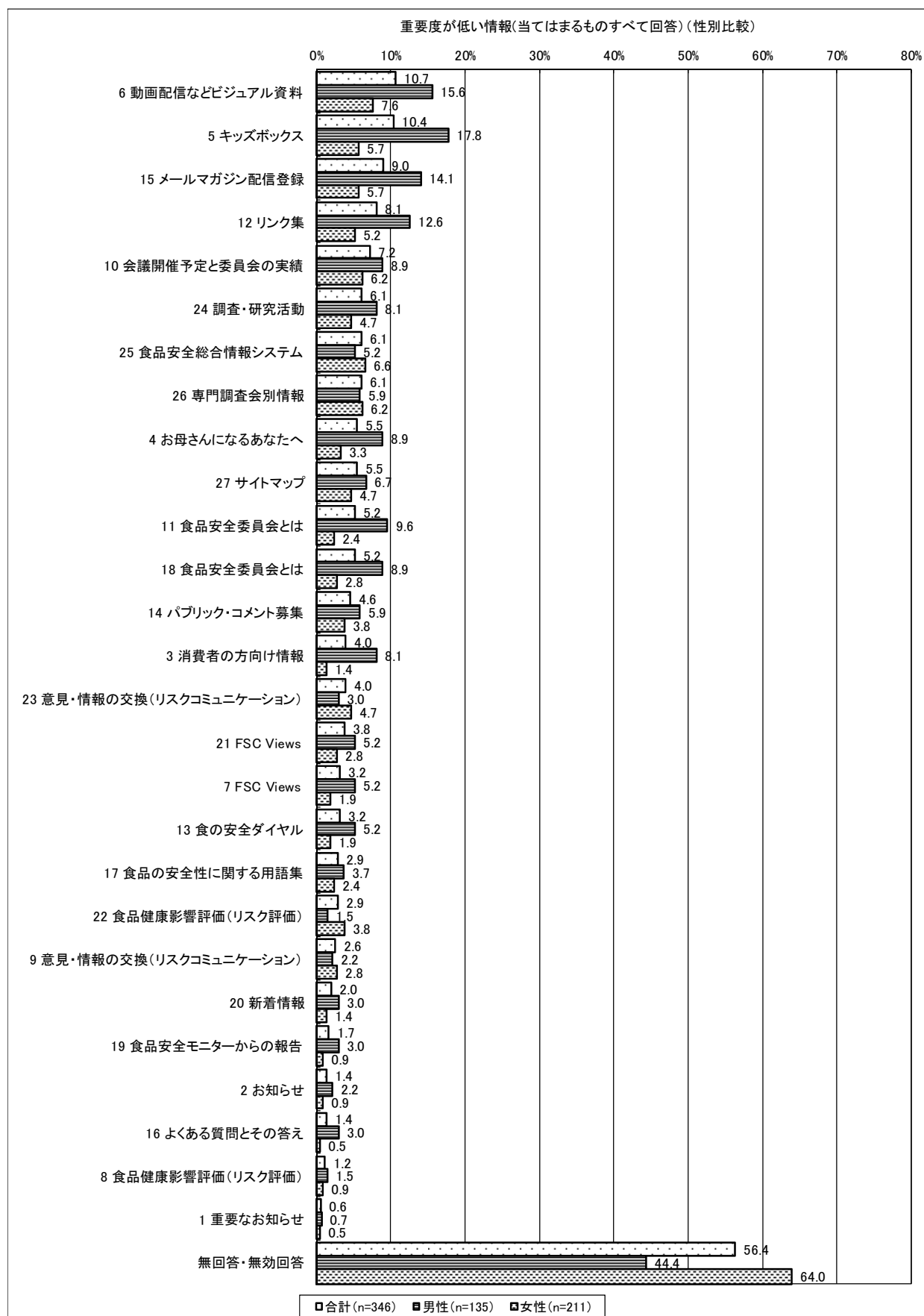
ンク集」11.8%、「7 FSC Views」11.6%、「17 食品の安全性に関する用語集」10.4%、「10 会議開催予定と委員会の実績」9.8%、「27 サイトマップ」9.8%、「21 FSC Views」9.2%、「3 消費者の方向け情報」7.8%、「11 食品安全委員会とは」7.8%、「23 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」6.9%、「22 食品健康影響評価（リスク評価）」6.4%、「8 食品健康影響評価（リスク評価）」6.1%、「9 意見・情報の交換（リスクコミュニケーション）」5.8%、「16 よくある質問とその答え」5.2%、「19 食品安全モニターからの報告」3.8%、「20 新着情報」0.6%、「2 お知らせ」0.3%と続く。











分類整理表

1) 食品の安全性に係る危害要因等について

①食品の安全性の観点から感じている不安の程度（問2）

問2 以下の 11 個の食品や物質等それぞれについて、食品の安全性の観点からあなたはどのように思いますか。それぞれの事項について、選択肢の中から 1 つずつ選んでください。また、以下の 11 個の食品や物質等以外にも気になっているものがあれば、併せて「13 その他」に食品や物質名を記入し、選択肢の中からも1つ選んでください。

（回答者数=38 人）

職務経験	性別	年代	選択肢	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	②ある程度不安を感じる	TPP にまつわる食品衛生について
			①非常に不安である	土壤汚染に伴うダイオキシンを含む野菜
			③あまり不安を感じない	産地偽装
		40～49 歳	①非常に不安である	中国製品
			①非常に不安である	中国製食品
		50～59 歳	②ある程度不安を感じる	食料の不足
			②ある程度不安を感じる	中国の環境汚染の食品への移行
			②ある程度不安を感じる	食品への異物混入
			①非常に不安である	取り扱う人間の意識
			②ある程度不安を感じる	ナノ物質
		60～69 歳	①非常に不安である	湧水
			②ある程度不安を感じる	賞味、消費期限、不当表示
			①非常に不安である	生牛肉のトリミング
			②ある程度不安を感じる	詐欺やウソ(誤りを含む)
			①非常に不安である	輸入食品の添加物
			①非常に不安である	営業側の立場としての食中毒となる寄生虫
			②ある程度不安を感じる	輸入食品
			①非常に不安である	動物食の生食
		70 歳以上	②ある程度不安を感じる	印刷塗料
			②ある程度不安を感じる	輸入食品
			②ある程度不安を感じる	特保食品
		60～69 歳	①非常に不安である	情報を十分に公開しないこと
			①非常に不安である	外食で使用する調味料の種類量。
食品関係研究職経験者	男性	30～39 歳	②ある程度不安を感じる	フードテロ
		60～69 歳	②ある程度不安を感じる	風評について
		70 歳以上	②ある程度不安を感じる	トランス脂肪酸

職務経験	性別	年代	選択肢	回答
医療・教育職 経験者	男性	40～49 歳	②ある程度不安を感じる	トランス酸
		50～59 歳	①非常に不安である	規制遵守
			②ある程度不安を感じる	貝類
	女性	50～59 歳	②ある程度不安を感じる	放射性物質以外の影響
		60～69 歳	②ある程度不安を感じる	甘味料
その他消費 者一般	女性	20～29 歳	①非常に不安である	TTP
		30～39 歳	②ある程度不安を感じる	トランス脂肪酸
			①非常に不安である	外国産の食品
			①非常に不安である	加工品
		40～49 歳	①非常に不安である	衛生管理
			②ある程度不安を感じる	賞味・賞費期限
			①非常に不安である	アレルギー物質食品
			②ある程度不安を感じる	食器洗機の衛生面
		60～69 歳	①非常に不安である	海洋汚染

②放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由（問3）

問3 問2の事項 12(放射性物質を含む食品の健康影響)において、「①非常に不安である」又は「②ある程度不安である」を選んだ方にお聞きます。不安を感じる理由を選択肢①～⑨の中から、最も当てはまる順に3つ選んでください。

(回答者数=14人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	農家で米を作るが、汚染されていないか、新潟でとなりの県だけで風評被害を受け、売れなく(出荷・作付)ができるのか
	女性	30～39 歳	発表される情報に誤りがあったりするため不安を感じる
食品関係研究職経験者	女性	30～39 歳	日本にいる限り、影響があると思うから
医療・教育職経験者	女性	50～59 歳	暫定規準値が都合で変えられているように見えること
			・影響が出るのが数10年後であり、さらに長期間被害が続くこと・胎児や幼児への影響が多めで日本の将来を担う次の世代が本人たちの力では防ぎようのない危険にさらされてしまうこと ・数十年、数世代に渡って影響が出て例えば「因果関係がわからない」などといって、ほったらかされてしまうかもしれないこと
その他消費者一般	男性	70 歳以上	原子爆弾被災国にとってあまりにも不勉強
	女性	20～29 歳	放射能についての知識がないため
			今すぐにはなく将来体への影響が表に現れるため
		30～39 歳	事故前の基準もそれなりの根拠をもって決められていたはずが、事故後にそれを適応しないこと
		40～49 歳	2 位:いつまでか現段階で無期限だから。
			3 位:症状がいつ発症するか分からないから むずかしくて良くわからないから
		50～59 歳	次々に新しい事実が判明するなどして、自分自身が混乱している
		60～69 歳	若い人が妊娠した時の影響 たくさん汚染水が海に流失されたと思うが海水の汚染度等公表されていない

③放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由（問4）

問4 問2の事項 12(放射性物質を含む食品の健康影響)において、「③あまり不安を感じない」又は「④全く不安を感じない」を選んだ方にお聞きします。不安を感じない理由を選択肢①～⑨の中から、最も当てはまる順に3つ選んでください。

(回答者数=12人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	あおっているだけ
			東北や福島から離れている為に実感がわきにくい
		40～49 歳	原子力発電の便益も受けていたので、今回の食品汚染は許容できる範囲内
		50～59 歳	トラブル地域から長距離に離れている。
	60～69 歳	国自体も長い年月で見た影響は判明していない中で、60 才を過ぎた私個人に対しては不安を感じない	
		自分で測定し、色々な情報と比較していること	
	女性	30～39 歳	今現在、データが蓄積されつつある。強い不安を持つ状態にはない
		40～49 歳	原爆投下後の日本の 60 年を考えると、どれほどの健康に影響があるのか
医療・教育職経験者	女性	30～39 歳	広島、長崎の被爆者が長寿
		40～49 歳	不安に感じてもしかたがない(あきらめ)不安になりすぎること病気になるそう
			地元産の食料品でほとんどまかなえるため
その他消費者一般	女性	40～49 歳	仕方がないと思う

2) 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について

①東日本大震災前後の飲食料品に係る意思決定の変化（問5）

問5 東日本大震災の前後で、食品（産地）の選択、水の購入等の飲食料品に係る意思決定に変化はありましたか。選択肢①～④の中から1つ選んでください。

（回答者数＝10人）

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	震災以降、変化したが現在は以前と同じに戻った。しかし、福島県産と書いてあると考える
		60～69 歳	正確な判断材料の情報が乏しく、自己判断だけになり苦慮している
	女性	50～59 歳	ペットボトル製品・レトルト食品品薄となった
		60～69 歳	食品により選択基準が異なるが地場産が主である
その他消費者一般	女性	30～39 歳	水道水については情報の公開が明確のため現在は以前と同じにしているが、食品については暫定基準、新基準ともに納得がいかず、自分なりに情報収集して購入の判断材料にしている
		40～49 歳	産地は、震災前は国産を意識していたが震災後は、極力地産にした。しかし地産だけで食品はそろわないので1位は地産、2位は東北、3位その他国内外になっている
			すべてのものに関してチェックすることができないので、自分の中で選択購入している
		50～59 歳	人からいただいた野菜を素直に喜んで食することができない
		60～69 歳	普段の生活は変化ないが、若い世代（子供、親類）が来ると、食品の選択は慎重になる
			孫が関東に居住している為当所は水とやさいを送り現在は米と野菜を送っている

②食品に対する影響の情報収集の姿勢（問6）

問6 東日本大震災に伴う福島第一原発事故発生後、食品に対する影響について情報収集を行っていますか。あてはまるものを選択肢①～⑤の中から1つ選んでください。

（回答者数＝8人）

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	60～69 歳	発信される情報の信憑にも疑問もあり、対応に苦慮している
	女性	50～59 歳	福岡県在住の為、県内産～九州産の食品がすべてなので、生産県を見ている程度
食品関係研究職経験者	男性	40～49 歳	個人の生活上ではなく職務上の必要で情報収集している
医療・教育職経験者	女性	60～69 歳	積極的に収集していないが、自然と目や耳に入ってくる
その他消費者一般	女性	30～39 歳	事故直後は不安だったので積極的に収集していたが、現在は少し不安は軽減しているので以前ほどではない
		40～49 歳	情報収集と言っても限りあることで、新聞、宮城県、内閣府食品安全モニターが主である
		50～59 歳	積極的にではないが、折りに触れて情報を得ようにはしている
		60～69 歳	積極的に収集している訳ではないが、新聞報道などにはよく目を通し、店頭の産地表示にもよく注意している

③食品に含まれる放射性物質の健康影響に関する情報（問7）

問7 食品に含まれる放射性物質の健康影響について、安心感・不安感につながった情報にはどのような情報がありますか。安心感・不安感につながった情報についてそれぞれお答えください。報告書の記入欄は、安心感・不安感につながった情報について各3つずつ用意していますが、それ以上ある場合は、記入欄と同様の内容を余白にお書きください。

（1）安心感につながった情報

【媒体・発信元】

（回答者数＝23人）

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	食品安全委員会からの情報
		60～69 歳	食品安全委員会
			全て文献上でのデータであり、不安も安心も確信をもてるものではない 講演会
	女性	30～39 歳	講演会
			食品安全委員会
			不安をあおるものばかりで、安心につながるものはない
			不安感しかない
			安心したことはない
		40～49 歳	食品安全委員会からの資料
			食品安全委員会会議
			食品安全委員会からのお便りやメール
		50～59 歳	自治体の食品安全フォーラムに参加し説明を受けた
		60～69 歳	公的機関が開催したセミナー
食品関係研究職経験者	男性	60～69 歳	「放射性物質と食の安全安心」の会（自治体）主催
医療・教育職経験者	女性	40～49 歳	食品安全委員会
その他消費者一般	男性	20～29 歳	ABC など海外のニュース
		50～59 歳	書籍
	女性	20～29 歳	生協
			安心できるものがなく、不安の毎日
		30～39 歳	安心感につながる情報は今のところないです
		50～59 歳	生協クラブ等の活動内容
			生協の学習会商品安全検査センター

【情報の内容】

(回答者数=13 人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	原発のメルトダウン
			記者の客観視
		40～49 歳	効果的なリスクコミュニケーション
			用語・単位の説明
	女性	50～59 歳	不安をあおるような表現
食品関係研究職経験者	男性	30～39 歳	信頼できない
		40～49 歳	健康影響の概説
医療・教育職経験者	男性	40～49 歳	福島県産水産物の出荷について
		50～59 歳	放射線防護学の専門家の見解 放射線防護学、核医学の専門家の見解
	女性	40～49 歳	放射性物質に関する分析を行った事
その他消費者一般	男性	50～59 歳	放射能汚染の状況や考えられる対処法
	女性	40～49 歳	店頭のとりくみについて
			噂話

【情報の具体内容】

(回答者数=217人)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	30～39 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	原発のメルトダウン	菅首相(元)の東電との戦い
			①テレビ		①客観的データ		1日あたりの放射線量の情報提供
			⑥国からの情報		①客観的データ		食安委ホームページ。農水ホームページなど早くに客観データが出ていました
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		IAEA 等のマニュアルなど
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		③その他		客観データの解説など
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		③その他		放射能検査のデータ開示
			⑨スーパーなどの販売事業者		③その他		放射能検査のデータ開示
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		それぞれの総合的な情報の報道
			⑯その他		①客観的データ		食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感をもった事はない
			①テレビ		①客観的データ		農作物などの放射線量の検査・実施
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			④専門書・学術書等				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	記者の客観視	行なわれた会見などを新聞記者を通してから伝わるころ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	30～39 歳	①テレビ		①客観的データ		放射線量データ(超えたら報道がある)
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線量データ(超えたら報道がある)
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		被ばくと健康被害の関係について
		40～49 歳	①テレビ		②健康影響の見解		わからなかった情報の公開があった。(放射性関連の食品の検査)
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		わからなかった情報の公開があった。(放射性関連の食品の検査)
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		食品の検査を行ったデータの表示
			④専門書・学術書等		①客観的データ		過去何年間の空間放射線量のデータと事故後の比較
			①テレビ				
			③一般の雑誌・書籍				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		広島、チェルノブイリの疫学データ
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		広島、チェルノブイリの疫学データ
			⑥国からの情報		①客観的データ		農水産物の汚染状況等
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		件好影響評価等、過去からの比較、カリウム40のことなど
			⑬NPO		③その他	効果的なリスクコミュニケーション	関係者にいかにわかりやすく説明するか

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		被ばく量の安全の見解
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		居住地の放射能の状況
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		購買商品の産地、工場 の情報
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		セシウム、放射線量な ど具体的で安心
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		
			⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		食品安全委員会がまと めた放射能物質とその リスク評価
			⑦保健所な どの地方自 治体		②健康影響 の見解		地域の放射線量測定結 果。農産物の測定情報
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		日本放射線影響学会、 大学教授の報告、各学 会での報告
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		各地の放射線量、食品 での検出事例
			⑫消費者団 体		②健康影響 の見解		研究機関等の見解
			③一般の雑 誌・書籍				
			①テレビ		②健康影響 の見解		チェルノブイリの被災者 疫学データ
			⑩大学・研究 機関・研究所				
			⑥国からの 情報				
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		食品中の放射性物質の 新たな基準値について
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		③その他	用語・単位の 説明	インターネット上で放射 能の単位ベクトル・シー ベルトの説明、内容

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		自然界に存在する放射 線量データとの比較
			①テレビ		①客観的デ ータ		データの違い
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			⑥国からの 情報				
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ ②健康影響 の見解		影響の出る数値の提示 と震災時からの線量デ ータの提示
			③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		地域別の線量データ
			④専門書・学 術書等		①客観的デ ータ		洗浄などによる食品か らの除染データ
			①テレビ		①客観的デ ータ		販売できる許容量(食 品の放射線量)
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		放射線についての解説
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		放射線についての解説
			①テレビ		①客観的デ ータ		高放射線地域での住人 の健康状態等のデータ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		過去の被ばくの事例デ ータ
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		専門家の見解
			①テレビ		①客観的デ ータ		日常さらされている放 射線量や地域差のデー タ
			①テレビ		①客観的デ ータ		茶葉等の分析データ
			⑦保健所な どの地方自 治体		①客観的デ ータ		自主的な放射線量測定 の取り組み
			⑦保健所な どの地方自 治体		①客観的デ ータ		浄水場の日々の放射 線測定データ公表

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		自治体等の測定結果
			⑥国からの情報				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		都道府県等が公表している放射性物質の検査結果
			③一般の雑誌・書籍				
			①テレビ				
			①テレビ		③その他	不安をあおるような表現	チェルノブイリ等の事例の紹介、見解(知見)
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	不安をあおるような表現	チェルノブイリ等の事例紹介、見解(知見)
			①テレビ		②健康影響の見解		解説者からの現場の解説、安全性に関する解説
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		解説者からの現場の解説、安全性に関する解説
			⑥国からの情報		①客観的データ		「安全である」とする根拠(数値)の提示
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		詳細な点までは理解しがたいが、単に数値表記のみでなく一般地上界との比較、汚染度の許容幅における比率発表等
			⑩その他	食品安全委員会からの情報	②健康影響の見解		小泉委員長のテレビ報道
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		東大教授の国会を叱りつけ、自ら被災地域を訪問している姿
			①テレビ		②健康影響の見解		心配しすぎなくて良い。という専門家のインタビューなど

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		捕獲地域別の魚類の放射性物質の量
			③一般の雑誌・書籍		①客観的データ		土壌中の放射性セシウム濃度
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		放射性物質の量と安全についての見解
		60～69 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		活字での国民への説明
			①テレビ		①客観的データ		シーベルトの解釈等言葉の説明
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		家族であれば一体感があり安心(情報の共有)
			①テレビ		①客観的データ		全国的放射能測定体制
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		検査体制の整備促進
			⑥国からの情報		①客観的データ		チェルノブイリの被災者の経年経過
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射医学専門家の見解比較
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		日常生活被ばく等の基本的情報発表
			①テレビ				
			①テレビ		①客観的データ		生体機能の異常の表れ方
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		自主検査体制を作り数値結果の公表
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		健康影響データと現状の汚染状況との比較評価
			⑥国からの情報				
			④専門書・学術書等				
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		国・自治体、TVの情報に違いがない
			⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		生鮮品の放射線量の発表
			①テレビ		①客観的データ		

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	60～69 歳	②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		子ども、妊婦への影響
			①テレビ		①客観的デ ータ		データによる数値は、公 的機関による発表のもの
			⑤インターネット上のコ ミュニティサイト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		最悪の想定に範囲を記 している情報
			⑩大学・研究 機関・研究所				
			①テレビ		②健康影響 の見解		過去の事故データと得ら れた情報との比較
			④専門書・学 術書等				
			⑥国からの 情報				
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		食品安全委員会からの 「食品中に含まれる放射 性物質の食品影響評価」
			⑤インターネット上のコ ミュニティサイト等(SNS・ブ ログなど)		①客観的デ ータ		セシウム汚染地図
			①テレビ		①客観的デ ータ		放射線障害に関する疫 学データ
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		放射線物質が通常でも 存在する情報
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)				
			①テレビ		②健康影響 の見解		物質名と濃度による影 響
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)				
			⑥国からの 情報				

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	60～69 歳	⑩その他	講演会	①客観的デ ータ		恐れず冷静に客観的に 受け取める姿勢が大事、 データに基づく説明 といった講演会の内容
		70 歳以上	⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		②健康影響 の見解		産地をきちんと伝えてく れた(例えば米、野菜と か)
			⑨スーパ ーなどの販 売事業者				
			①テレビ				
			①テレビ		①客観的デ ータ		食品の放射線新基準は どう決めたという欄
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		「クローズアップ現代」の 番組
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		放射線数値の開示
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		①客観的デ ータ		「平均寿命の推移」「昭 和50年以降の放射線 量のデータ推移」
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		放射線による健康への 影響についての専門医 の見解
	女性	20～29 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		食品の放射性物質の検 査をしている
		30～39 歳	①テレビ		①客観的デ ータ		食品に対しての放射線 量の基準値(出荷制限 や解除の値)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	30～39 歳	⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ		2 月の意見交換会でカリウム 40 の被ばくに比べセシウムの被ばくが微量であるとわかった ので
			⑩ 大学・研究 機関・研究所		① 客観的デ ータ		国立がんセンターホーム ページのガンのリスク 表で、現在の被ばく量 以上にタバコ、酒、運動 不足の方がリスクが高 いとわかったので
			⑯ その他	講演会	① 客観的デ ータ ② 健康影響 の見解		東大の唐木先生のお話 を聞き、恐れる事はない と思った
			⑯ その他	食 品 安 全 委 員 会	② 健康影響 の見解		暫定規制値設定の科学的 根拠の資料
			⑧ 生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		① 客観的デ ータ		検査結果の公開
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		① 客観的デ ータ		給食材料やその他材料 から検出された量やメ ーカーや商品コードなど
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		水や野菜、魚の選び方
			③ 一般の雑 誌・書籍		③ その他		日頃目を通してある雑 誌の特集。どんな野菜 に放射性物質がつきや すいかということと、そ の除去方法
			① テレビ		② 健康影響 の見解		食品安全委員会の見解 をテレビで見て
			⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		食品安全委員会のホーム ページ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	30～39 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		大学教授等専門家の見 解
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		大学教授等専門家の見 解
			④専門書・学 術書等		①客観的デ ータ		専門家の情報
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		手に入れやすい最新情 報
			①テレビ		①客観的デ ータ		日々、一番手に入りやす い情報
			①テレビ		②健康影響 の見解		将来的な発がん率など
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		タバコなど他の危険要因 との比較
			⑩大学・研究 機関・研究所		②健康影響 の見解		
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		メーカー独自の検査デー タ
			⑦保健所な どの地方自 治体		②健康影響 の見解		レントゲンなどの放射線 被爆量の数値
			①テレビ		②健康影響 の見解		
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		体にどのような影響をも たらすか
			①テレビ		②健康影響 の見解		体にどのような影響をも たらすか
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		食品の検査体制。残留 物質の検査結果
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		毎日の放射線量の数値
			⑩その他	安心したこと はない			様々な媒体でどれも納 得の得られる見解の ものが見当たらない。情報 を収集するほど不安が 募る状況

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	30～39 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				放射線の測定値
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		土壌中の放射線を除染する作業が進んでいる事
			①テレビ		①客観的データ		
		40～49 歳	⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		放射性物質の測定値
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射性物質の測定値
			⑥国からの情報		①客観的データ		放射性物質の測定値
			⑩その他	食品安全委員会からの資料	②健康影響の見解		・東北地方太平洋沖地震の原子力発電所への影響と食品の安全性について(第16報) ・放射性物質を含む食品による健康影響に関するQ&A・放射性物質と食品に関するQ&A
			⑩その他	食品安全委員会会議	②健康影響の見解		半減期(物理的・生理的)についての説明
			⑥国からの情報		①客観的データ		食品安全委員会のホームページによる食品の放射線量のデータの公開
			⑨スーパーなどの販売事業者		②健康影響の見解		店側のふだんの信頼性による見解
			⑭家族・知人		②健康影響の見解		同僚による見解
			⑥国からの情報		①客観的データ		セシウム等の検査データの公表
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		セシウム等の検査データの公表

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	40～49 歳	①テレビ		①客観的データ		検査結果の報道
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		国・自治体検査のデータベース化
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		基準値、産地の明記
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		基準値、産地の明記
			①テレビ		①客観的データ		1日の食事すべて(総量)の放射線測定データ
			①テレビ		②健康影響の見解		日常生活における被爆量
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		日常生活における被爆量
			⑩その他	食品安全委員会からの お便りやメール	①客観的データ		食品の汚染度や健康への影響のデータ
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者				検査済の表示
			①テレビ		①客観的データ		テレビなどでのデータ
		50～59 歳	①テレビ		②健康影響の見解		安全な数値がはっきりしない。よく理解できない情報
			⑥国からの情報		①客観的データ		コーデックスガイドラインレベル
			⑦保健所などの地方自治体		②健康影響の見解		
			⑩その他	自治体の食品安全フォーラムに参加し説明を受けた			
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		健康影響はないとの根拠データの公開
			①テレビ		①客観的データ		検査後出荷していることを説明した事業者の映像
			⑥国からの情報		①客観的データ		検査データの公表

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	50～59 歳	⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ		食品の分析データ
			① テレビ		② 健康影響 の見解		環境学者によるある程度 の放射線量は、健康へ の影響は少ないというコ メント
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		病院での CT 検査など を含めた放射線量の比較 表
			⑨ スーパー などの販売 事業者		① 客観的デ ータ		食品の放射性物質のス ーパー独自の検査(結果 の公表)
			⑧ 生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		① 客観的デ ータ		放射性物質の各食品デ ータの公開
			⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ		食品中の放射性物質の 検査結果。農林水産省、 厚生労働省、食品安全 委員会、消費者庁による Q&A
			⑫ 消費者団 体		③ その他		生協主催による放射性 物質の専門家による公 開学習会
			⑩ 大学・研究 機関・研究所		① 客観的デ ータ ② 健康影響 の見解		放射線医学総合研究 所、被ばくに関する基礎 知識 Q&A
			① テレビ		① 客観的デ ータ		具体的数値を使って他 の放射線量との比較デ ータ
			① テレビ		② 健康影響 の見解		放射線量を計測して、多 い時は全部廃棄するニュ ース
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		② 健康影響 の見解		おとなよりも子どもに放 射線の影響がひどい情 報
			⑨ スーパー などの販売 事業者		② 健康影響 の見解		食品のそばに生産者の 情報と安全性についての 掲示板

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	50～59 歳	③一般の雑誌・書籍		②健康影響 の見解		チェルノブイリ等の被災 地、被災者の疫学データ
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		
			⑫消費者団 体		①客観的デ ータ		
		60～69 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		大人と子どもの甲状腺 機能異常の見解
			⑪医療機関		②健康影響 の見解		広島原爆医療に関った 放射線医の見解
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		産地情報と検査体制
			⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		産地情報と検査体制
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		チェルノブイリの被災者 疫学データを見た時
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		大平洋戦争で広島に住 んでいた人から広島 の野菜や魚を米を食べた が今どこも健康を害して いないと聞く
			①テレビ		②健康影響 の見解		甲状腺機能異常につい て放射線医の見解と体 にためない方法を聞く
			①テレビ		①客観的デ ータ		研究機関より発表されて いる放射量
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		研究機関より発表されて いる放射量
			⑨スーパー などの販売 事業者				
食品関係研究 職経験者	男性	40～49 歳	②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		③その他	健康影響の 概説	放射性物質による健康 影響に関する一般的説 明

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	男性	40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		分析データ
			⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		分析データ
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		専門家の見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		放射線に対する人体の影響
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		異なる見解について冷静な分析
			⑦保健所などの地方自治体		②健康影響の見解		地元のデータについて積極的に提示
			⑫消費者団体		①客観的データ		地元のデータについて積極的に提示
		50～59 歳	⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		ハザードとしての放射線とリスクの視点からの放射線量・強度の説明
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		過去の放射線数値とその健康への影響
			⑪医療機関		②健康影響の見解		放射線の強度と健康危害の発生有無
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		
			④専門書・学術書等		①客観的データ		自主検査
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	男性	50～59 歳	①テレビ				事実としての映像、数値データ、国や地方が出さなかったことが明らかになった点。記者が理解音痴なこと
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				事実としての映像、数値データ、国や地方が出さなかったことが明らかになった点。記者が理解音痴なこと
			⑩大学・研究機関・研究所				関西ローカル局では京大をはじめ一定のアンチテーゼの発言を見聞きした
		60～69 歳	⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		放射性セシウムが粘土鉱物に吸着され、作物に吸収されないため内部被ばくがない(東北大の教授)
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		②健康影響の見解		ガンについての放射線医の見解(東京大の准教授)
			⑬その他	放射性物質と食の安全安心」の会(自治体)主催			
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		過去の被災者疫学データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射性セシウムの検査結果の具体的な結果発表
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		自らの検査結果報告(野菜・魚)
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		チェルノブイリ原発事故関連の文献一覧
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		食品と放射能 Q&A

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	男性	60～69 歳	①テレビ		①客観的データ		各食品の放射線量測定データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑥国からの情報				
			⑥国からの情報		①客観的データ		食品安全委員会での検討事項
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		放射線に関する学術的研究
			⑪医療機関		②健康影響の見解		医師による人体への放射線影響の見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		客観的データに基づいた放射線医の見解
			①テレビ				
			④専門書・学術書等				
		70 歳以上	①テレビ		②健康影響の見解		被ばく量と健康影響についての専門家の見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		自然界の放射線による被ばく量のデータ
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		被ばく量と健康影響のデータ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		放射性セシウム 134 と 137 の違い(人体に与える影響)
	女性	30～39 歳	①テレビ				測定(セシウム量)が行なわれている事
			①テレビ				独自に放射線量チェックしていること

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	女性	40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線用語(ベクレル・シーベルト・暫定基準値)等の用語解説
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		検査済であることを農産物・食品に明記していること
			①テレビ		①客観的データ		農作物の出荷停止解除報道
			⑥国からの情報		①客観的データ		食品中の放射能物質に関する検査結果(厚生労働省)
			①テレビ		①客観的データ		実際の測定値
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		実際の測定値
		50～59 歳	⑩大学・研究機関・研究所				食品に含まれ規定値の決定
			④専門書・学術書等				放射能レベルの測定結果の発表
			⑪医療機関				
医療・教育職 経験者	男性	30～39 歳	①テレビ				放射能物質の情報が迅速に広まった
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				国と専門家の情報が同時に確認できた
			⑥国からの情報				人体に対する影響を迅速に公表
		40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		人体への影響に対する解説
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者				産地の表示(県内産、西日本産)
			⑨スーパーなどの販売事業者				産地の表示(県内産、西日本産)
			①テレビ		①客観的データ		放射能測定値の公表
			⑥国からの情報		③その他		放射能汚染の可能性のある食物の規制

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	男性	40～49 歳	⑥ 国からの 情報		③その他	福島県産水 産物の出荷 について	自主規制中で出荷され ていない。また放射線 量を検査している
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		大学病院放射線治療 チームの Twitter 上の つぶやき
			⑦保健所な どの地方自治 体		①客観的デ ータ		各地方自治体が食品 の放射能濃度について 定期的に測定し公表し ていること
		50～59 歳	④専門書・学 術書等		③その他	放射線防護 学の専門家の 見解	広島原爆による放射 線量との比較データ
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		③その他	放射線防護 学、核医学 の専門家の 見解	広島原爆による放射 線量との比較データ。 ホルミシス効果の学術 書。宇宙飛行士の被ば く線量のデータ
			⑩大学・研究 機関・研究所		③その他	放射線防護 学、核医学 の専門家の 見解	広島原爆による放射 線量との比較データ。 ホルミシス効果の学術 書。宇宙飛行士の被ば く線量のデータ
			④専門書・学 術書等		②健康影響 の見解		放射線医の安全性につ いての見解
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		被ばく量についての見 解
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		多くの専門家の意見の 集約が聞けたこと
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		現状での生体異常の報 告はないという報道
			⑦保健所な どの地方自治 体		②健康影響 の見解		現状での生体異常の報 告はないという報道
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		現状での生体異常の報 告はないという報道

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	男性	50～59 歳	①テレビ		①客観的データ		アメリカの原子力発電所事故後のデータ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				
		60～69 歳	③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		放射線医学の見解
			④専門書・学術書等		①客観的データ		過去被ばく例からの見解
			⑥国からの情報		①客観的データ		食品安全委員会の見解(暫定規制値に関する)
			①テレビ		②健康影響の見解		チェルノブイリの疫学データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		チェルノブイリの疫学データ
	女性	20～29 歳	①テレビ		①客観的データ		福島原発の報道
		30～39 歳	⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		メーカーの自主検査データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ ②健康影響の見解		データに基づいた放射線量。国の基準にもとづいた安全性
			⑥国からの情報		①客観的データ		放射線量、拡散状況
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		②健康影響の見解		国の安全量に基づいた、食物1つ1つの安全性
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		放射性物質による健康被害の見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	30～39 歳	①テレビ		①客観的データ		原爆被爆者が長寿であること
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		原爆被ばく者が長寿であること
			⑭家族・知人		①客観的データ		原爆被ばく者が長寿であること、がん患者など検査で被爆しまくっている
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		放射線医による講義
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		様々な Q&A の公開
			⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		放射性物質の地域ごとのデータ公開
		40～49 歳	⑥国からの情報		①客観的データ		農林水産省の食品セシウム新基準
			⑦保健所などの地方自治体		②健康影響の見解		保健所の放射性物質の食品セシウム新基準
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		自治体の学校給食における食品の検査情報の掲載
			④専門書・学術書等		①客観的データ		チェルノブイリ周辺住民の事故後の疾患率、健康状態アンケート
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		含まれる物質の影響等
			⑬NPO		①客観的データ		
			⑥国からの情報		①客観的データ		具体的な数値をあげ、基準を示したこと
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		具体的な数値をあげ、基準を示したこと
			①テレビ				有識者が、問題ないと発言したこと
			⑯その他	食品安全委員会	③その他	放射性物質に関する分析を行った事	厚生労働省への通知

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	40～49 歳	②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		「放射線と健康」の記事
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		放射性セシウム、1 年半で 半減という情報
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		食品の実測値の表示
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		食品安全モニター会議に 出席したとき、医師から基 準値の係数について、役 人の方からサンプル検査 のやり方について直にお 話を聞いた
			①テレビ		②健康影響 の見解		専門家による解説
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		専門家による解説
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		自然に放射性物質が多い 地域もあるが問題なく生 活を送れていること
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		サイエンスカフェでの、専 門家の見解
			⑦保健所な どの地方自 治体		②健康影響 の見解		市主催の勉強会での市担 当者の見解
			①テレビ		①客観的デ ータ		テレビで放映された放射 性物質の体への影響(客 観的データ)
			①テレビ		②健康影響 の見解		ADI
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		放射線量の基準値
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		
			①テレビ				野菜等の放射線量につい て
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)				野菜等の放射線量につい て

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	40～49 歳	④専門書・学 術書等		①客観的デ ータ		
			⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		生産物等の測定値の提 示
			⑬NPO		②健康影響 の見解		立地に測した状況の変 化
		50～59 歳	⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		店頭の注意書き
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		食品メーカーのホームペ ージ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		団体を含め、市の環境 政策課の情報
			③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		チェルノブイリ、広島、長 崎の疫学データ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		チェルノブイリ、広島、長 崎の疫学データ
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		放射線の強さと健康との 関連データ
			⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		牛肉からの放射性物質 不検出データ
			①テレビ		②健康影響 の見解		放射能の影響
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				
			①テレビ		③その他		農業、水産業で働く人た ちの姿、店に並ぶ品物、 買い物する人の姿をみる こと
			⑬NPO		③その他		こちらからも NPO で支援 に行っている人がいて、 その人たちの話
			⑭家族・知人		③その他		

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	50～59 歳	①テレビ		①客観的データ		甲状腺機能に与える見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者				
		60～69 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		多角的に見て報道
			⑦保健所などの地方自治体		②健康影響の見解		体に対しての影響力を具体的に表示してくれた
			①医療機関		②健康影響の見解		放射線の特徴を科学的に表示してくれている
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		過去の放射線被害のデータ
			⑥国からの情報		①客観的データ		放射能測定値
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		放射能測定値
			①テレビ		②健康影響の見解		自然界にも放射性物質があり、神経質に考える必要がない
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑥国からの情報		①客観的データ		放射線量

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	70 歳以上	①テレビ				大手スーパーは国の暫定基準の 1/10 という基準を設定。店頭には越えたものは売らないという報道
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				宅配業者(4 団体)はウクライナの規制値より低い値のみを配しているということ
			①テレビ				福島県産放射能汚染牛について県内で処理した肉をすべて調べる「全頭検査」に県外で処理される分も含め検査態勢を整えるという報道
その他消費者 一般	男性	20～29 歳	⑯その他	ABC など海外のニュース	①客観的データ		スリーマイル島での健康被害予想と現在
		30～39 歳	⑥国からの情報		①客観的データ		放射線情報
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		放射線情報
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線情報
			①テレビ				特別報道番組
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				専門性の高い人が書いた記事
		40～49 歳	①テレビ		①客観的データ		データに関して見解が違ふ。又は後で訂正される
		60～69 歳	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		情報の発信元の正確さ
			⑦保健所などの地方自治体				中立的立場の公的機関の見解
			⑩大学・研究機関・研究所				

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	男性	70 歳以上	⑥ 国からの情報		① 客観的データ		食品中の新基準値
			⑦ 保健所などの地方自治体		① 客観的データ		自治体の食の安全情報
			② 新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		① 客観的データ		「知りたい放射能～新規規制値」という記事
	女性	20～29 歳	① テレビ		② 健康影響の見解		食品に含まれる放射性物質の検査の実施についてのニュース
			② 新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				特にこれが安心につながったという強い印象を持った情報は思いあたりません
			⑥ 国からの情報		② 健康影響の見解		特にこれが安心につながったという強い印象を持った情報は思いあたりません
			⑦ 保健所などの地方自治体				特にこれが安心につながったという強い印象を持った情報は思いあたりません
			⑩ その他	生協	② 健康影響の見解		生産者情報が分かる
			⑥ 国からの情報		② 健康影響の見解		放射性物質について検査しているため
			① テレビ		② 健康影響の見解		現在ではあまり放射性物質について取り扱っていないため、震災後より安心だと思います
			② 新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		② 健康影響の見解		食品に含まれる放射線の量について
			④ 専門書・学術書等		② 健康影響の見解		放射性物質についての放射線医の見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	20～29 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		行政からの食品の安全性に関する情報提供
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)		②健康影響 の見解		行政からの食品の安全性に関する情報提供
			①テレビ		②健康影響 の見解		食品の放射線物質量の データ
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)				
			⑥国からの 情報				
			④専門書・学 術書等		①客観的デ ータ		チェルノブイリ小児甲状腺がんの発症疫学データ
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)		②健康影響 の見解		食品安全委員会の基準 値設定の記事
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		放射線医の原発事故と 人体への影響の見解
			①テレビ		①客観的デ ータ		原子力発電の説明
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)		②健康影響 の見解		原子力発電の説明
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		原子力発電の説明
		30～39 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		甲状腺がんになるという 情報
			⑩大学・研究 機関・研究所		②健康影響 の見解		甲状腺がんになるという 情報
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)		②健康影響 の見解		甲状腺がんになるという 情報
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを 含む)		②健康影響 の見解		計測値から放射線情報を 随時公開
			⑨スーパー などの販売 事業者		②健康影響 の見解		生産者や生産地域の公 開。自社分析後店頭販 売
			⑦保健所な どの地方自 治体		②健康影響 の見解		市民に分かりやすく解説 (ホームページで放射線 情報公開)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	30～39 歳	⑥ 国からの 情報		②健康影響 の見解		暫定規制値を決めた経過
			⑩大学・研究 機関・研究所		②健康影響 の見解		
			⑩大学・研究 機関・研究所		③その他		チェルノブイリとのちがい
			④専門書・学 術書等		③その他		単位の解説など
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		大学教授のブログであ り、被ばく計算の例など 具体的な内容
			⑦保健所な どの地方自 治体		①客観的デ ータ		放射線量(食材・空間・ 水道等)データ
			①テレビ		①客観的デ ータ		数値が低い
			⑫消費者団 体		②健康影響 の見解		食品の調理法(洗う、ゆ でる)で放射性物質を減 らせること
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		自然界に放射性物質が 存在していること。チェル ノブイリのデータ
			①テレビ		②健康影響 の見解		品中の放射性物質数値 を取り、比較した企画
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		摂取量についての安全 性
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者				
			①テレビ				
			①テレビ		①客観的デ ータ		放射能汚染地域のデー タ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		放射能汚染地域のデー タ
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		食品購入時の地域の選 択の見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	30～39 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		
			⑩大学・研究 機関・研究所		②健康影響 の見解		
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		放射能に対する対策方 法 etc データを使っ ての説明
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		放射線に負けない食 事
			①テレビ		①客観的デ ータ		チェルノブイリの被 災者のデータ
			③一般の雑 誌・書籍		③その他		被災地での野菜の洗 い方及び調理法(放 射能を体内にとりこ まないための工夫)
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		
		40～49 歳	①テレビ		①客観的デ ータ		全国数ヶ所の一般家 庭の食事の放射線量 のデータ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		
			⑮地域・学校		③その他		食品の出荷停止(ラ ジオ・新聞から)
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		それぞれ(水、食品 など)における検査 結果
			⑦保健所な どの地方自治 体		①客観的デ ータ		地方自治体独自の 検査結果値(野菜 など)
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		汚染地域のデータ
			①テレビ		①客観的デ ータ		
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		
			⑫消費者団 体		①客観的デ ータ		独自の検査と結果

職務経歴	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射性物質の飛散分布、測定データ
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		暫定基準の考え方
			⑫消費者団体		①客観的データ		生協における産直品の残留放射能の自主検査値
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		所属団体の会員同志情報交換した見解
			⑩大学・研究機関・研究所		①客観的データ		大学准教授の放射線と水産物の影響について
			⑭家族・知人		①客観的データ		日頃から放射線を測定していた人のデータ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		食品の検査方法。検査結果のデータ公表
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	店頭のとりにくみについて	大手スーパーの取り組みについてわかったため
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		食品中の放射性物質検査データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		甲状腺機能異常等について、様々な医者の見解
			⑫消費者団体		①客観的データ		県民生協独自の調査結果の公開、産地へ出向いての調査
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		専門家の見識
			①テレビ		②健康影響の見解		専門家の見識
			③一般の雑誌・書籍		①客観的データ		専門家の見識

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		農産物については洗浄を丁寧なすることで放射性物質は軽減できる
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		「食品のゼロリスク」を追求することは不可能であるという記事
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		農協等でも出荷前に検査はしているが、さらに流通業独自でも検査をしている
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		チェルノブイリのデータ
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				放射線医の意見
			①テレビ				
			①テレビ		①客観的データ		
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		
			⑭家族・知人		③その他	噂話	被災した家族や知人の現地情報
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		②健康影響の見解		メーカーよりの検査データの公開
			④専門書・学術書等		①客観的データ		
			①テレビ		②健康影響の見解		学校かかりつけ医による見解
		50～59 歳	①テレビ		②健康影響の見解		専門家による人体への影響がないとの見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		専門家による人体への影響がないとの見解
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響の見解		専門家による人体への影響がないとの見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	50～59 歳	⑫ 消費者団体		① 客観的データ		ウクライナ・アメリカ・EUなどの食品基準値
			⑬ NPO		② 健康影響の見解		チェルノブイリの子どもの健康調査
			④ 専門書・学術書等				
			⑥ 国からの情報				各食品の安全の有無の記載
			⑨ スーパーなどの販売事業者				各食品の安全の有無の記載
			① テレビ				各食品の安全の有無の記載
			⑦ 保健所などの地方自治体		② 健康影響の見解		地域出荷野菜(ほうれん草など)の放射性物質の濃度値は安全
			⑪ 医療機関		② 健康影響の見解		甲状腺など影響はないだろうとの見解
			① テレビ		② 健康影響の見解		放射能拡散分布図をテレビで見て心配ない
			⑩ 大学・研究機関・研究所		① 客観的データ		食品から摂取され则认为られる放射性物質の量を具体的に計算し、それがどの程度のリスクを与えるかを示したこと
			④ 専門書・学術書等		① 客観的データ		チェルノブイリ、広島、長崎での放射性物質拡散のデータ
			② 新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		① 客観的データ		生産地、放射能数値による摂取状況の把握
			⑦ 保健所などの地方自治体				
			⑧ 生産者、食品メーカーなどの食品の生産者				

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	50～59 歳	①テレビ				映像による放送の効果
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				ニュースソースの信頼性
			③一般の雑誌・書籍				放射性物質の影響を提示してくれる
			⑬その他	生協の学習会 商品安全検査センター	①客観的データ		自然界の放射線量の説明
			①テレビ		②健康影響の見解		販売されている食品については、特に放射線量に地域差はないという情報
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		放射線量と人体に及ぼす影響についての医学的見解
			⑭家族・知人		②健康影響の見解		放射線量と人体に及ぼす影響についての医学的見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		基準値がでたこと
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		個別に検査機関の結果データを公表していた
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		個別に検査機関の結果データを公表していた
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		簡潔に公平な情報を載せていた
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		食品安全委員会よりお送りいただいた資料
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		農産物における放射性物質の検査結果
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		放射線のリアルタイム情報
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		厚生労働省の「出荷制限要請」データ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	60～69 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				
			⑥国からの情報				専門家の検査結果
			①テレビ		②健康影響の見解		食品の基準値が春から厳しくなること
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑥国からの情報				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		乳・幼児への白血病・甲状腺がんのリスクと見解
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		疫学データによる放射線の健康影響
			⑦保健所などの地方自治体		②健康影響の見解		区報によるデータ公開
			⑭家族・知人		②健康影響の見解		地域、自治体等で聞いてきた情報
			①テレビ		①客観的データ		専門家による国から出たデータ
			⑥国からの情報				
			⑦保健所などの地方自治体				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		関西は関東よりも自然界の放射線量が高いということ
			①テレビ				その日の天候にも左右されているとの事
			⑥国からの情報				
		70 歳以上	①テレビ		①客観的データ		テレビ出演の教授が安心内のデータと言った時
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		
			③一般の雑誌・書籍				
			⑥国からの情報				

(2) 不安感につながった情報

【媒体・発信元】

(回答者数=8人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	60～69 歳	東京電力
			全て文献上でのデータであり、不安も安心も確信をもてるものでない
	女性	30～39 歳	携帯電話のメール
			すべて
医療・教育職経験者	女性	40～49 歳	専門家と言われる人の意見。
		50～59 歳	東電・保安院
その他消費者一般	女性	50～59 歳	イベントで米を売っていたが後から放射性物質の数値が高いと知らされた
		60～69 歳	マスコミの過剰報道

【情報の内容】

(回答者数=10人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	見解や行動
			報道について
			表示について
		40～49 歳	客観性の少ない表現
			現場中継
		50～59 歳	諸外国の退避勧告
			不安情報ばかりを報道する
		60～69 歳	不安をあおる報道の連続
			映像
			興味本位と思わせる報道
			後手にまわる事実
	女性	30～39 歳	水、食品の検査結果

【情報の具体内容】

(回答者数=228 人)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	30～39 歳	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響 の見解		福島の子供達に甲状腺 の異常がみられた
			①テレビ		①客観的デ ータ		
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		後で放射線が検出され た食品が見つかったこ と
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		③その他	見解や行動	Twitter における、偏向 的な見解や行動
			①テレビ		③その他	報 道 につ いて	
			⑨スーパー などの販売 事業者		③その他	表 示 につ いて	メーカー、生産地の動き に対してスーパーなどが 一番動きが遅く、商売 気がまわりついていた
			①テレビ		③その他		根拠のないあおりのな 報道(ワイドショー)
			③一般の雑 誌・書籍		③その他		根拠のないあおりのな 報道(週刊誌)
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		③その他		根拠のないあおりのな 報道
			①テレビ		②健康影響 の見解		1部テレビ局の報道で 東北産の米について「セ シウム米」という表現を した。食品に限らず「東 北」という土地の不安感 につながった

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	30～39 歳	⑥ 国 からの 情報				
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)				
			⑦ 保 健 所 な ど の 地 方 自 治 体				
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		① 客 観 的 デ ータ		個人的意見も含んだ情 報
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		③ その他		不調を訴える被災地 の方のブログ
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客 観 的 デ ータ		放射線量の高いデー タが出るとき
			⑧ 生 産 者 、 食品メーカー などの食 品 の生産者		③ その他		放射線チェックを行 う企業多く、かえ って不安になる
		40～49 歳	① テレビ		② 健康 影 響 の見解		具体的にこの情報 が正しいか不安に なった
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		② 健康 影 響 の見解		情報が正しいのか 不安になる
			⑥ 国 からの 情報		② 健康 影 響 の見解		100%安全と言え るのか
			⑩ 大学・研究 機関・研究所		② 健康 影 響 の見解		被ばく量とガン発 生の相関について の見解
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)				
			⑥ 国 からの 情報				
			① テレビ		③ その他		扇情的なデマ情 報

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		不安にはならなかった が、部分的、扇動的な 情報で関係者へのリス クコミュニケーションを 阻害した
			⑫消費者団 体		②健康影響 の見解		不安にはならなかったが 部分的、扇動的な情報 で関係者へのリスクコ ミュニケーションを阻害 した
			①テレビ		②健康影響 の見解		過去に経験がなく、不 確実な情報ばかり
			①テレビ		①客観的デ ータ		原子力発電所から海へ 放射性物質が流出して いる
			①テレビ		②健康影響 の見解		放射能の影響の見解 の相違
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		食品等の検査サンプル 数の少なさ
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		放射能残留規制値の 変化
			①テレビ		①客観的デ ータ		風評被害、妄想、個人 の見解をいかにもとし て報道
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		風評被害、妄想、個人 の見解をいかにもとし て報道
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		風評被害、妄想、個人 の見解をいかにもとし て報道

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	40～49 歳	①テレビ				問題の大きい所のみを報道また逆にただ問題ないだけの報道
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				有識者による説明に対して不安感をあおる様な記事
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				正確とは言えない情報がある
			⑥国からの情報		①客観的データ		国のあと出し情報(情報の隠ぺい)
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		国のあと出し情報(情報の隠ぺい)
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				
			①テレビ		③その他		ある大学教授のブログ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				
			①テレビ		②健康影響の見解		専門家による意見が異なること
			①テレビ		③その他	現場中継	悲惨な状況の映像
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		専門書による見解
		50～59 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		基準値についての見解(基準を定めても安全ではないという意見)
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		基準値についての見解(基準を定めても安全ではないという意見)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	①テレビ		①客観的データ		データの違い
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑥国からの情報				
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		ある大学教授のむちゃくちゃな情報発信
			⑬その他		③その他	諸外国の退避勧告	原発からの避難距離が政府と大きく違っていたこと
			⑥国からの情報		①客観的データ		SPEEDI の情報が国民より先に米国に伝えられていたこと
			①テレビ		①客観的データ		販売できる食品の放射線量の値が変わった事
			⑨スーパーなどの販売事業者		②健康影響の見解		産地を表示する様になった食品があるが理由がないこと
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		過敏な行動
			①テレビ		①客観的データ		生物濃縮等蓄積に関するデータ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		現地の子どもに甲状腺の異常が見られた事例報告等
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		専門家の見解(楽観も悲観も双方ある為)
			①テレビ		①客観的データ		高放射線量の魚等が市場に出してしまった報道
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		子どもへの影響について記事
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		自主的な測定結果
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響の見解		NPO 等の非公認測定データ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		見解の違いと絶対的な 確証はなく、我々受け取 る側に安心感を覚えな い
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			③一般の雑 誌・書籍				
			①テレビ		②健康影響 の見解		福島の人宅の放射能 除染対策の現状
			③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		福島の放射能濃度
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		スピーディーなデータ開 示
			①テレビ		②健康影響 の見解		テレビ等における専門 家といわれる人々の発 言がバラバラなこと
			③一般の雑 誌・書籍				
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			④専門書・学 術書等		①客観的デ ータ		100 ベクレルでも安心で きないというような表現
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		100 ベクレルでも安心で きないというような表現
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		100 ベクレルでも安心で きないというような表現
			①テレビ		②健康影響 の見解		番組内での「不安をあ おる」ようなコメント(表 現)
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		「安全である」とする根 拠の説明不足
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		②健康影響 の見解		産地偽装の発生

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	50～59 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		政府の発表する数値デ ータ等の一貫性のな い変遷。先手を打てば 勇み足、後手に回る対 応、その場しのぎ
			① テレビ		③ その他	不安情報ば かりを報道す る	コメンテーター、キャス ターの不安をあおる報道 が多すぎ
			⑫ 消費者団 体		② 健康影響 の見解		コメンテーター、キャス ターの不安をあおる報道 が多すぎ
			③ 一般の雑 誌・書籍		① 客観的デ ータ		コメンテーター、キャス ターの不安をあおる報道 が多すぎ
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		捕獲地域別の魚類の放 射性物質の量
			④ 専門書・学 術書等		① 客観的デ ータ		土壌中の放射性セシウ ム濃度
			③ 一般の雑 誌・書籍		② 健康影響 の見解		放射性物質の量と安全 についての見解
		60～69 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		ただちに健康に影響は ないという無責任な言 葉
			⑯ その他	東京電力	② 健康影響 の見解		情報を伝える報道等が 毎回変わり無責任感
			① テレビ		② 健康影響 の見解		学者の根拠のない言葉
			③ 一般の雑 誌・書籍		① 客観的デ ータ		地域内ホットスポット問 題
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		② 健康影響 の見解		子供と大人の食物摂取 量
			⑫ 消費者団 体				

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	60～69 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		当面直ちに被害がない 等、無責任発言多発
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		② 健康影響 の見解		健康被害について見解 がまったく収れんしない 状況
			③ 一般の雑 誌・書籍		② 健康影響 の見解		国内外の実績紹介が危 機意識をあおっている
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		② 健康影響 の見解		生体機能の異常の検証 の方法 (歯且歯吾、乖 離)
			⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ		安易に安全であるかの スポット的な公開情報
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		専門家の考えに違いが ある
			① テレビ		① 客観的デ ータ		
			⑫ 消費者団 体		② 健康影響 の見解		
			① テレビ		② 健康影響 の見解		見解がバラバラである こと
			① テレビ		② 健康影響 の見解		テレビ等によるコメンテ ーターの見解
			⑥ 国からの 情報				
			① テレビ				曖昧な情報
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				曖昧な情報
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		③ その他	映像	福島第一原発 3 号機の 爆発について
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ ② 健康影響 の見解		牛肉のセシウム汚染問 題
			⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ ② 健康影響 の見解		野菜の放射能汚染

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	60～69 歳	①テレビ				放送局により、数字は同じだが安全性の表現が微如に異なること
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		放射能対策としてヨウ素剤を準備すること発表している自治体が、これの使用時期について定かでない国の指示待ち体制発表
			①テレビ		③その他		何の科学的論拠もなく不安をあおってばかりいる
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		何の科学的論拠もなく不安をあおってばかりいる
			③一般の雑誌・書籍				何の科学的論拠もなく不安をあおってばかりいる
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		チェルノブイリの膀胱発がんデータ
			①テレビ		①客観的データ		放射線障害に関する疫学データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		
			⑥国からの情報				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		稲、米、砕石などが汚染された事実
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		土中から水を経て海水魚類が汚染される危機
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	後手にまわる事実	実情の把握が後手になり、泥縄対策が発生していること

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	男性	60～69 歳	①テレビ	新聞の情報			毎日の新聞の情報が変化する為、不安感
			①テレビ		②健康影響 の見解		極端に報道するため
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		専門家の意見が異なる為
			⑫消費者団体				
			①テレビ		②健康影響 の見解		不安をあおるような報道、コメント
		70 歳以上	①テレビ		①客観的データ		原材料の産地がはっきり判明していない食品(例えば牛乳)が出廻っていることが不安であった
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)				私自身、毎朝牛乳を飲むので
			③一般の雑誌・書籍				
			①テレビ		①客観的データ		(朝日)放射線と向き合うシンポジウム
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線値の報道と取り除く方法の説明
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響 の見解		チェルノブイリのデータ
			①テレビ		②健康影響 の見解		不安感をあおるような報道がある
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		③その他		特定の放射線値の報道で、極端に高い値についてあたかも健康被害を連想させる内容
			⑨スーパーなどの販売事業者		③その他		ポップであたかも放射能ゼロ(0)の表示。そうでない食品の不安感をあおっている

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	20～29 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		米からセシウムが出た
		30～39 歳	③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		チェルノブイリの時の様子やデータなど
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		母乳にも入っているという情報
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		汚染された事により引越、移住が増えたり、外で子どもを遊ばせるなどのような情報
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		③その他		
			①テレビ		②健康影響の見解		テレビの番組で様々な教授が様々な事を言い、何が本当か分からなくなった
			⑯その他	携帯電話のメール	②健康影響の見解		事故直後に「雨にふれると危ない」というチェーンメールが出回った
			①テレビ		②健康影響の見解		福島の方々が被ばくをしていた事実
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	水、食品の検査結果	基準値以下であるが、検出されている記事
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		放射性物質が安全、体にいいなど根拠のない教授の話や講演会の様子からの感想

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	30～39 歳	③ 一般の雑誌・書籍		③その他		日頃目を通してしている雑誌の特集。どんな野菜に放射性物質がつきやすいかということと、その除去方法
			①テレビ		③その他		情報番組
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		③その他		いろいろな人のいろいろな見解
			①テレビ		②健康影響の見解		各専門家の見解
			①テレビ		①客観的データ		様々な専門家の意見が出るので逆に不安に感じる
			③ 一般の雑誌・書籍		①客観的データ		不安をつのる内容が多い
			⑥国からの情報		①客観的データ		具体的な内容がない
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響の見解		具体的に体調を崩した人の話など
			①テレビ		②健康影響の見解		累積された放射線の影響について
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		
			①テレビ		①客観的データ		粉ミルクの汚染
			①テレビ		②健康影響の見解		有識者の見解の相違
			①テレビ		②健康影響の見解		野菜等にどれくらい汚染がされているかの情報が少ない
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		生体濃縮について
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		ただちに影響はないと言われていたが、いずれ影響があるのかと思う

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	30～39 歳	①テレビ		①客観的データ		チェルノブイリの現状
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		
			⑥国からの情報		①客観的データ		
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		甲状腺機能検査にひっかかった人がある
			①テレビ		②健康影響の見解		被ばくで亡くなった人がある
			⑥国からの情報		①客観的データ		残留物質の検査で、出荷停止があった
			①テレビ		③その他		安をおるような報道、あげ足を取るような政府や東電へのコメント
			⑩その他	すべて			情報がまちまちであったり、後になって修正されたりと、信じられない状況が続いたから
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				放射線の測定値
			①テレビ		③その他	地元の方の発言	地元の方の野菜の食べ方
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		医師の具体的な放射線による健康被害について
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射線の日本各地への飛散状況
		40～49 歳	①テレビ		①客観的データ		放射性物質の測定値
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響の見解		被災による健康異常について(長期的な影響)
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		被災による健康異常について(長期的な影響)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	40～49 歳	①テレビ		③その他	風評被害	食品の安全の有無ではなく福島産というだけで消費者の買い控えが続いているというニュース
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	検査体制の不備(甘さ)	放射性セシウムが基準値を超えている稲ワラを食べた牛の肉やコメが流通してしまったという記事
			①テレビ		②健康影響の見解		放射性セシウムの基準値見直し
			①テレビ		②健康影響の見解		ますます不安をあおるようなマスコミの報道
			⑭家族・知人		②健康影響の見解		根拠のない家族による噂話
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		インターネットの見解
			⑬NPO		②健康影響の見解		チェルノブイリの現状
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		福島の甲状腺ガンの子どもが見つかった等の週刊紙の情報
			①テレビ		①客観的データ		“基準値以下”や“検出せず”の詳細内容がわからないこと。(どれだけ以下なのか)
			①テレビ		②健康影響の見解		政府の見解通りの“安心”の押し売り
			⑭家族・知人		③その他	個人的見解	不安があるので娘と共に疎開したり外出を控えたこと
			⑭家族・知人		③その他		海外のメディアの伝え方は日本とかなり異なる
			①テレビ		②健康影響の見解		チェルノブイリなどの例

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の见解		発ガン性についての大学 教授の见解
			①テレビ		①客観的デ ータ		食品や被ばくした後の 処理
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響 の见解		食品や被ばくした後の 処理
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		食品や環境の汚染が及 ぼす影響
		50～59 歳	⑤インターネット上のコ ミュニティサイト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の见解		放射線の空間線総量
			①テレビ				
			①テレビ		①客観的デ ータ		土や街中の放射線量が 高かったとの報道
			①テレビ		②健康影響 の见解		チェルノブイリを上回る 可能性等の報道
			⑫消費者団 体		②健康影響 の见解		やたら買い控えている 様子
			⑤インターネット上のコ ミュニティサイト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の见解		さまざまな见解があつて どれとも言えない
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		①客観的デ ータ		正確性に疑いあり
			①テレビ		③その他		情報番組等でのコメン ティターの见解がばら ばらなこと
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の见解		チェルノブイリの被災者 のその後の健康状態報 告

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	50～59 歳	⑨スーパー などの販売 事業者		①客観的デ ータ		放射能汚染ゼロを目指 すという大手スーパー のポスター
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		テレビによく出ている大 学教授のブログに子供 への影響(外部被ばく 内部被ばくどちらも)を 書いていた内容
			⑥国からの 情報		③その他		学術専門家の統一性 があいまいな点
			①テレビ		①客観的デ ータ		
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		
			①テレビ		③その他		粉ミルク製造時の空気 による汚染
			⑫消費者団 体				
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			⑥国からの 情報		③その他		客観的データを伴わ ない安心と言うだけの放 送
			①テレビ		②健康影響 の見解		線量計で放射線を測ら ないとわからない影響
			①テレビ		①客観的デ ータ		福島原発事故の様子と、国と東電の対策 の遅れ
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		福島原発事故の様子と 国と東電の対応の遅れ
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		知らなかった過去の原 発事故が大きく報道さ れたこと。放射能対策 として食品の摂り方。 不安をあおる表現

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係業務 経験者	女性	60～69 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		食品の検査体制
			①テレビ		②健康影響 の見解		ウクライナ、低線量被 ばく健康被害
			⑩大学・研究 機関・研究所		①客観的デ ータ		チェルノブイリの被災 者データ
			⑬NPO		①客観的デ ータ		チェルノブイリの被災 者データ
			①テレビ		②健康影響 の見解		広島や長崎で被ばくし た人達のその後の健 康状態を知った時
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		チェルノブイリで25年過 ぎてもまだ被ばく地は 放射線を出しつづけて いる
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		海で原爆実験が行われ 海の汚染と水産物、 魚が放射能汚染を受 けた事件を思い出すこ と
食品関係研究 職経験者	男性	30～39 歳	③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		放射能の広がりを示す データ
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		子供への放射線の影 響
		40～49 歳	①テレビ		③その他	健康影響の 概説	放射性物質による健康 影響に関する一般的 説明
			①テレビ		②健康影響 の見解		専門家の見解
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		有識者(専門家以外) のコメント
			⑥国からの 情報		③その他	情報隠し	
			①テレビ		①客観的デ ータ		評論家で異なる見解
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		③その他	主観的見解	科学者を私見で信用で きる、できないと評価
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		評論家で異なる見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	男性	50～59 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		ゼロリスクのないことの 説明なしに健康危害の 説明のみを発表として いること
			① テレビ		② 健康影響 の見解		不安情報としての報道
			⑨ スーパー などの販売 事業者		① 客観的デ ータ		検出されないことをこと さらに店頭で伝えている
			① テレビ		② 健康影響 の見解		コメンテーターの個人的 感情
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		② 健康影響 の見解		学術的根拠のないこと
			⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		二転三転出所によって 見解が異なる情報
			⑥ 国からの 情報				国の情報隠し、無対 応。文部科学省と経済 通産省のひどさ
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				インターネットはやはり 玉石混ざりいかにげんな ものの方が多く感じる
			⑬ NPO				わけのわからぬ団体と とりあげるマスコミ。変 な機器を売る人たち
		60～69 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		健康影響への見解(信 用性に疑問)
			① テレビ		① 客観的デ ータ		放射性セシウムの規制 値
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		① 客観的デ ータ		水道水の放射能濃度
			① テレビ		③ その他		コメンテーターにより見 解が異なり、本質が不 明であった

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	男性	60～69 歳	①テレビ		①客観的データ		各食品の放射線量測定データ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		長期に少量放射線の食品を摂った時の健康に与える影響
			⑬NPO				
			①テレビ		②健康影響の見解		政府、地方公共団体等の見解
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		社説
			⑮地域・学校		②健康影響の見解		住民の健康に対する不安情報
			①テレビ		②健康影響の見解		不安をあおるような極端な見解が見られる
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				
			⑭家族・知人				
		70 歳以上	①テレビ		②健康影響の見解		放射線の健康影響に対する専門家の過剰な反応
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		放射線の健康影響に対する専門家の過剰な反応
			①テレビ		②健康影響の見解		セシウムの放射能の暫定規制値が水に牛乳なら 200 ベクレル/kg、肉や野菜なら 500 ベクレル/kgと食品によって異なること。また米についてもいろいろと科学者によって見解が異なること
	女性	30～39 歳	①テレビ				チェルノブイリの子どものガン発生率

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
食品関係研究 職経験者	女性	30～39 歳	①テレビ		①客観的デ ータ		食品の放射線量の報道
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		静岡のお茶から規定を 越える放射線量が出た ことなど
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		子どもや胎児には影響 が出やすいこと
		40～49 歳	①テレビ		①客観的デ ータ		7 月汚染された牛肉出 荷報道。3 月 19 日原乳 出荷停止 3 月 24 日金町 浄水場
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		政府や業界団体が安全 といっているのはウソで あるという書きこみ
			⑭家族・知人		③その他	口コミのデマ	特定の会社の食品が汚 染しているデマ、噂話
			⑫消費者団 体				放射性物質新基準値案 の設定方法
			①テレビ		②健康影響 の見解		身体への影響について 十分なデータがないこと
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		身体への影響について 十分なデータがないこと
		50～59 歳	①テレビ				各地域での放射能レベ ルの誤報
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
			③一般の雑 誌・書籍				
医療・教育職 経験者	男性	30～39 歳	①テレビ				放射能物質の情報が全 てまとまっていない
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				安全性の情報が少なか った。危険性ばかりだっ た
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				ゴミの放射能が正確に 伝わっていない

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	男性	40～49 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他		放射能汚染米という呼称
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	SPEEDI 情報の発表	文部科学省が SPEEDI による放射能拡散予測情報を適時発表していないこと
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	メルトダウン予想の発表をしなかった事	保安院は原子力発電所がメルトダウンしていると事故後数日以内に想定していたのに発表していなかったこと
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		いわゆる専門家による内部被ばくに関する見解が異なっていること
		50～59 歳	①テレビ		③その他	科学的な根拠に基づかない者の見解	えせ科学者による都合の良いデータのみに基づくデータ
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他	科学的な根拠に基づかない者の見解	えせ科学者による都合の良いデータのみに基づくデータ
			③一般の雑誌・書籍		③その他	科学的な根拠に基づかない見解	えせ科学者による都合の良いデータのみに基づくデータ
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		一貫性がなく、信用できない情報
			①テレビ		②健康影響の見解		騒ぎをおおっているだけの報道
			⑦保健所などの地方自治体		①客観的データ		出所ごとに異なる発表で信頼性に欠けている情報
			①テレビ		③その他	キャスターの主観	娯楽性重視
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		興味の引き込み
			⑥国からの情報		③その他	明確でない表現	発言者の責任所存のない説明

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	男性	50～59 歳	⑥ 国からの 情報		② 健康影響 の見解		政府の出した見解が二 転三転した
			⑨ スーパー などの販売 事業者				
			⑩ 大学・研究 機関・研究所				
		60～69 歳	① テレビ		① 客観的デ ータ		データの扱い方及びそ の見解
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		データの扱い方及びそ の見解
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		① 客観的デ ータ		データの扱い方及びそ の見解
			① テレビ		② 健康影響 の見解		専門家が日がわりで出 演した事(テレビ局によ って出演者が違う)
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		② 健康影響 の見解		専門家が日がわりで出 演した事(テレビ局によ って出演者が違う)
			③ 一般の雑 誌・書籍		② 健康影響 の見解		専門家が日がわりで出 演した事(テレビ局によ って出演者が違う)
		70 歳以上	① テレビ		① 客観的デ ータ		客観性に欠けていた
			③ 一般の雑 誌・書籍		③ その他		数値の変動に困惑する
			② 新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				
	女性	20～29 歳	⑥ 国からの 情報		① 客観的デ ータ		情報が遅い
		30～39 歳	① テレビ		② 健康影響 の見解		射線測定器を持ち線量 の高い場所で測定した データ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	30～39 歳	①テレビ		①客観的データ ②健康影響の見解		放射線量。専門家の意見だが、マイナスの意見
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		子どもへの放射線の影響
			⑮地域・学校		②健康影響の見解		根拠のない食品放射線量
			①テレビ		②健康影響の見解		「直ちに健康に影響はありません」という言葉
			①テレビ				専門家とは思えないコメンテーター等の無責任な意見
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				専門家とは思えないコメンテーター等の無責任な意見
			③一般の雑誌・書籍				専門家とは思えないコメンテーター等の無責任な意見
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		放射性物質の拡散分布図
			⑭家族・知人		①客観的データ		放射性物質の海底への推積
		40～49 歳	①テレビ				
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		すぐに人体に影響を及ぼす状態ではないというあいまいな表現
			⑥国からの情報				
			①テレビ		②健康影響の見解		乳児に対しての水の規制情報
			⑭家族・知人		③その他	噂	海に蛋白質が多いため今年は「大タコ」や「大きなサンマ」がとれていること
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		離れている場所のお茶等からも検出されていること

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		チェルノブイリでは現在 でもガン患者が増加し ているとの情報
			③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		アメリカとの対応の差
			⑥国からの 情報		③その他	政治家の言 葉のあいま いさが不安	放射性物質が検出され た食品は出回らないと、 言っているのに回収さ れている
			①テレビ		③その他		人々が放射能を避けよ うと無理をしていること
			③一般の雑 誌・書籍		③その他		
			⑭家族・知人		③その他		噂などの風評
			①テレビ		③その他	ニュースなど の報道映像	荷停止で泣いたり怒っ たりしている生産者の 姿。スーパーの棚が空 になり、レジが長蛇の列
			①テレビ		②健康影響 の見解		専門家による解説
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		専門家による解説
			⑨スーパー などの販売 事業者		③その他	販売表示	例えば、野菜等生鮮食 品で群馬県産“他”とあ ること
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		③その他	販売表示	その信憑性
			⑭家族・知人		③その他	心理的作用	
			⑧生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		②健康影響 の見解		スーパーの店頭で県名 のみが記載されている こと

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	40～49 歳	①テレビ				日々の食事の放射線量をはかったが、次の日には、はかり方がまちが이었다と訂正されたこと
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				子どもの甲状腺機能異常
			①テレビ		②健康影響の見解		情報を流すというよりも不安をあおるような放送の仕方
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		情報を流すというよりも不安をあおるような放送の仕方
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)				情報を流すというよりも不安をあおるような放送の仕方
		50～59 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ		各社の相違がありすぎた
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		各個人見解が多すぎた
			⑥国からの情報		①客観的データ		日替わりで情報が違い、国民を感わした
			⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者		①客観的データ		粉ミルクからの放射性物質の検出
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他		子どもの甲状腺異常のことなど読むと、子どもへの影響を心配する
			①テレビ		③その他		度々原発の映像が流れると不安感をあおられる
			①テレビ				甲状腺機能に与える見解

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
医療・教育職 経験者	女性	60～69 歳	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		
			⑥国からの情報		①客観的データ		信用性が疑われるようになった
			⑫消費者団体		①客観的データ		
			①テレビ		②健康影響の見解		過去の被害者の状況
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響の見解		過去の被害者の状況
			⑫消費者団体		①客観的データ ②健康影響の見解		過去の被害者の状況
			①テレビ		②健康影響の見解		
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				
			⑨スーパーなどの販売事業者		②健康影響の見解		関東・東北方面の食品は他の地域の食品に比べ安価である→放射性物質のために安価なのか?
		70 歳以上	①テレビ				栃木、福島、茨城県産のホウレン草基準値を越したという情報
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				放射性降下物増加し、水・推物、農産物に汚染した情報
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				大気中放射線値が茨木、栃木、群馬で平常より高い情報

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	男性	20～29 歳	⑥ 国からの情報		②健康影響の見解		放射線量のカットオフ値について
			⑩大学・研究機関・研究所		②健康影響の見解		体内被曝の可能性について
		30～39 歳	①テレビ		①客観的データ		放射線情報
			⑫消費者団体		①客観的データ		放射線情報
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		放射線情報
			③一般の雑誌・書籍				電車の中の中吊り広告
			①テレビ				昼間のワイドショーなど
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)				ゴシップ系記事
		40～49 歳	①テレビ		②健康影響の見解		偽りのデータ、見解が発表される
			①テレビ		①客観的データ		信用性がない
		50～59 歳	⑥ 国からの情報		③その他		「ただちに健康に影響を与えるレベルではない」と言い続けた事
		60～69 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		情報の乱用
			③一般の雑誌・書籍				自己の見解
			⑫消費者団体				
		70 歳以上	①テレビ		①客観的データ		チェルノブイリの被災者疫学データ
			①テレビ		①客観的データ		「知りたい放射能～新規制値」という記事
			①テレビ		①客観的データ		自治体検査機器精度不足に苦慮という記事
	女性	20～29 歳	①テレビ		①客観的データ		内部被ばくについてのテレビ解説
			①テレビ		①客観的データ		農畜産物から基準値以上の放射性物質が検出されたというニュース

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	20～29 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		曖昧なデータや情報の 混在。基準値や安全性 を示す情報が変わりす ぎて困惑
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		曖昧なデータや情報の 混在。基準値や安全性 を示す情報が変わりす ぎて困惑
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		曖昧なデータや情報の 混在。基準値や安全性 を示す情報が変わりす ぎて困惑
			⑭家族・知人		①客観的デ ータ		パンから 300 ベクレル /1kg の放射性物質が 検出
			①テレビ		①客観的デ ータ		福島県の子供の被ばく 量調査結果
			①テレビ		②健康影響 の見解		チェルノブイリの被災 者疫学データ
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				確かでない情報が出回 っている(放射性物質 を含む食品量)
			③一般の雑 誌・書籍				
			⑭家族・知人				
			①テレビ		②健康影響 の見解		放射性物質と甲状腺ガ ンの発症
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		食品中に含まれる放射 性物質と子どもへの影 響
			⑮地域・学校		②健康影響 の見解		食の食材に含まれる放 射性物質
			①テレビ		②健康影響 の見解		専門家の見解が様々 でどれを信用すればよ いか分からない
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		基準値の改定
			①テレビ		②健康影響 の見解		いろいろな専門家が違 うことを言っていること

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	20～29 歳	①テレビ		①客観的データ		政府の記者会見
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		政府の記者会見
			⑭家族・知人		②健康影響の見解		政府の記者会見
		30～39 歳	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響の見解		甲状腺ガンになるという情報
			④専門書・学術書等		②健康影響の見解		甲状腺ガンになるという情報
			⑫消費者団体		②健康影響の見解		甲状腺ガンになるという情報
			①テレビ		②健康影響の見解		食品に対する放射線の基準の見解(曖昧である)
			⑥国からの情報		①客観的データ		放射線基準がどのデータなのか分かりにくい点
			⑨スーパーなどの販売事業者		①客観的データ		独自検査を行なっているというが、どの程度精密な検査をしているのか不明
			⑫消費者団体		①客観的データ		その団体が信頼のおける団体かどうかの判断をとりにくい
			①テレビ		③その他		不安をあおる方向に動かす言い方(データは同じでも)
			⑥国からの情報		③その他		各省の基準値への考え方の不統一さ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	30～39 歳	⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		② 健康影響 の見解		ICRP の国際基準が決定した経緯について。とても納得がいき、それが守られていないことに不安を感じる
			⑧ 生産者、 食品メーカー などの食品 の生産者		③ その他		検査結果や検査の有無を公表せずただ被災地支援のために積極的にそちらの食材を使用するとある場合
			⑦ 保健所な どの地方自治 体		① 客観的デ ータ		線量データ(学校内・公園等)。ある自治体では除染対象レベルなのに一方の自治体では除染対象とならない場合など非常に不安
			⑦ 保健所な どの地方自治 体		② 健康影響 の見解		情報発信が遅かったこと。担当者の知識が無く、答えが得られなかったこと
			① テレビ		① 客観的デ ータ		マスコミ独自の汚染データ
			② 新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		① 客観的デ ータ		マスコミ独自の汚染データ
			⑭ 家族・知人		② 健康影響 の見解		ツイッター等からの情報収集による見解
			⑭ 家族・知人		① 客観的デ ータ		チェルノブイリの被災者データ
			⑤ インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		③ その他	汚染量基準 値	例えば牛乳でもメーカーにより基準値が違うこと
			① テレビ		② 健康影響 の見解		子どもは許容量が低い ため特に影響が出やすいということ

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	30～39 歳	⑨ スーパー などの販売 事業者		③その他		福島産・茨城産の野菜 の値段が他の産地より も安い値段がついてい ること
			①テレビ		②健康影響 の見解		
			①テレビ		①客観的デ ータ		色々な専門家の見解等
			①テレビ		①客観的デ ータ		チェルノブイリの被災者 のデータ
			③一般の雑 誌・書籍		③その他		被災地での野菜の洗い 方及び調理法(放射能 を体内にとりこまないた めの工夫)
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		放射能を体内にとりこん でも影響ない数値
			①テレビ		①客観的デ ータ		ある学者が、政府が発 表したデータは全て間 違っていていると言いま した
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		3.11の風向きが、たしか 北へ向いていたとかで、 東北より北はみんな被 ばくしていると言ってい ました
		40～49 歳	②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		
			⑮地域・学校		③その他		国の対応が遅く、どう対 応したら良いのか不透 明で、のちに情報が一 転二転正しい情報・デ ータが得られなかった から(今は改善されてい るが間もなく一年経 過。)

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		個々人による見解の違い
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		の方が望ましい」とい った、あいまいな言いま わし
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		①客観的デ ータ		実際の体調不良などの 報告
			①テレビ		①客観的デ ータ		福島原子力発電所の 現状について
			①テレビ		②健康影響 の見解		水の問題
			①テレビ		②健康影響 の見解		米の問題
			①テレビ		②健康影響 の見解		
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		
			⑦保健所な どの地方自 治体		③その他	情報が入っ てこなかった	給食の牛乳にセシウム が検出されたが市や学 校から情報がなかった こと
			⑮地域・学校		②健康影響 の見解		各自が見聞きした中の 悪い影響ばかりが強調 された見解
			①テレビ		②健康影響 の見解		専門家でないコメンテ ーターの見解
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等 (SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		内部被爆についての見 解
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		政治判継先行のデータ 不足と説明不足
			①テレビ		①客観的デ ータ		いいかげんすぎる情報
			②新聞 (イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				いいかげんすぎる情報

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響 の見解		専門家の放射性物質に対する健康影響の見解が様々なため何を信じて良いか不安
			⑩大学・研究機関・研究所		③その他	放射能関連文献の紹介集	栄養・食糧学会で配られた。食総研がまとめた文献の紹介集。放射能が多方面にわたり影響していることがわかったため
			①テレビ		②健康影響 の見解		子どもの甲状腺異常(被爆が食品かは不明)
			①テレビ		③その他	出荷制限の食品、販売の判明。	出荷自粛要請の葉物、大手スーパー販売の判明の判明。
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		福島の子どもの甲状腺機能変化(大学病院調査)
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		日本の暫定基準値の見解
			①テレビ		③その他		水等安全な食品を買い求める人が行列している映像
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		①客観的データ		独自に放射線量を測定し、この食品が危ないといった書き込み
			⑭家族・知人		③その他		うわさ話(〇〇産は危険といった内容)
			⑥国からの情報		②健康影響 の見解		安全だとしか発信なかったこと
			①テレビ		②健康影響 の見解		
			⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)		②健康影響 の見解		

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の见解		専門家の見識と文化人 の見識の相違
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の见解		専門家の見識と文化人 の見識の相違
			③一般の雑 誌・書籍		①客観的デ ータ		専門家の見識と文化人 の见解の相談
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		底魚がとり込んだ放射 性物質は簡単には減ら ないという記事
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の见解		専門家それぞれが違う 见解を言うこと
			⑤インター ネット上のコ ミュニティサ イト等(SNS・ブ ログなど)				何が本当で何がどれ が間違っているのかわ からないこと
			①テレビ				世界中の専門家の意見 も参考にしなければと いう情報
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				「子どもに甲状腺…」と いう新聞の週刊誌広告
			①テレビ		③その他	出演者のコメ ント	根拠が不明なコメント
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の见解		放射線の特性を理解す る話がないこと
			⑥国からの 情報		②健康影響 の见解		放射線の特性を理解す る話がないこと
			①テレビ		①客観的デ ータ		
			⑩その他		③その他		被ばく2世の自分が甲 状腺の病気になっている
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の见解		根拠に乏しいデータの 公開
			⑥国からの 情報		①客観的デ ータ		タイムリーではなく、紆 余曲折している见解
			①テレビ		②健康影響 の见解		根拠に乏しいデータの 公開

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	40～49 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		福島の農家が、自分で 作った野菜を自分の孫 には食べさせないと言 っているのに出荷して いるというニュースの中 でのインタビュー回答
			①テレビ		②健康影響 の見解		チェルノブイリの子ども 達の健康被害について。 セシウムの蓄積につい て。
		50～59 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		家にあった新茶等のお 茶の安全性が調べられ なかった
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		家にあった新茶等のお 茶の安全性が調べられ なかった
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		家にあった新茶等のお 茶の安全性が調べられ なかった
			①テレビ		③その他	NPO 団体の 調査結果	福島の子どもたちの尿 検査の結果
			③一般の雑 誌・書籍				
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				
			①テレビ				各食品の安全の有無 の記載
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)				各食品の安全の有無 の記載
			③一般の雑 誌・書籍				各食品の安全の有無 の記載

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	50～59 歳	⑭家族・知人		②健康影響 の見解		雨には注意・放射能の 心配、洗たく物は外に 干さない
			⑮地域・学校		②健康影響 の見解		公園の砂場から放射能 濃度の測定で値が心配
			①テレビ		②健康影響 の見解		湖のワカサギから放射 能、出荷停止の報道
			③一般の雑 誌・書籍		②健康影響 の見解		極端に危険性を主張す る研究者の意見を選ん で載せている
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		①客観的デ ータ		風評被害で作物が売 れない例を挙げている が「～ベクレル以下な のに」と書いてあるの で、やはりわずかも 放射性物質が含まれる ことを再認識する
			⑭家族・知人		②健康影響 の見解		「水はペットボトルの ものを使う」「関西の野菜 を取り寄せている」とい う声
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)				風評被害もある
			⑥国からの 情報				国のあいまいさ
			⑩大学・研究 機関・研究所				研究者の勝手な見解を 発表されても困る
			①テレビ		③その他	主観的で根 拠の不明な 情報。数値・ 単位につい て正確性を 欠く報告など	基準値等の単位や、名 称など正確でなくあい まいな報道がされてい たと思う
			⑨スーパー などの販売 事業者				
			⑫消費者団 体				

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	50～59 歳	①テレビ		②健康影響 の見解		不安をあおるような報道内容
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		不安をあおるような報道内容
			⑨スーパー などの販売 事業者		②健康影響 の見解		風評被害を恐れすぐに 店頭から商品を撤去した こと
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		汚染された食物連鎖
			⑥国からの 情報		②健康影響 の見解		基準値の決め方
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		各々直後には不安感が 募る伝達をしていた
			③一般の雑誌・書籍		②健康影響 の見解		各方面の専門家がその 時々で言う事が違う
			⑤インターネット上のコ ミュニティサイト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		各方面の専門家がその 時々で言う事が違う
			①テレビ		①客観的デ ータ		チェルノブイリ原発事 故被災者のレポート (海外ニュース番組)
			①テレビ		①客観的デ ータ		被災地の子どもの甲状腺 機能についての放射 線被ばくによる害
			②新聞(インターネットの ニュースサイトを含む)		②健康影響 の見解		
			⑫消費者団 体				
			①テレビ		③その他		他国に住む人が、空気 中の放射性物質の不安 を訴えていた

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	50～59 歳	①テレビ		③その他	風評による 消費者の買 い控え	福島第一原子力発電所 の事故の影響で一部の 地域の野菜や魚などか ら放射性物質が検出さ れたニュースで消費者 の買い控えがあった
			⑮地域・学校				不確実な情報で不安を あおられた
		60～69 歳	⑪医療機関		①客観的デ ータ		放射線測定機の性能が バラバラでミスや食い違 い相次ぐこと
			⑭家族・知人				
			③一般の雑 誌・書籍				
			①テレビ		②健康影響 の見解		乳幼児の白血病・甲状 腺がんのリスク、チェル ノブイリ周辺住民データ より
			⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)		②健康影響 の見解		テレビデータから。日本 各地の放射性物質を含 む、食品の健康測定値
			⑮地域・学校		②健康影響 の見解		区内の公園データ等
			①テレビ		②健康影響 の見解		不安をあおらせるような 情報発信の仕方
			①テレビ		①客観的デ ータ		ベラルーシ、ウクライナ の現状から不安が募る
			②新聞(イン ターネットの ニュースサイ トを含む)		②健康影響 の見解		
			④専門書・学 術書等				
			⑯その他	マスコミの過 剰報道	②健康影響 の見解		専門家たちによるコメン ト

職務経験	性別	年代	媒体・発信元	媒体・発信元 (その他)	情報の内容	情報の内容 (その他)	情報の具体内容
その他消費者 一般	女性	60～69 歳	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		①客観的データ	県庁環境課	大気中の環境放射線量が毎日新聞に掲載されているが県内の測定場所はどこを基準にしているのか?といつもよく似た数値であったが突然0.079～0.107マイクロシーベルトになったことへの質問の回答
			①テレビ				
			③一般の雑誌・書籍				
			①テレビ		③その他		科学的情報そのものではなく、自治体が「安全宣言」をした後で、ぼろぼろと放射性レベルの高い生産物が発表された事態
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		③その他		科学的情報そのものではなく、自治体が「安全宣言」をした後で、ぼろぼろと放射性レベルの高い生産物が発表された事態
			⑥国からの情報		②健康影響の見解		低量の内部被ばくの健康被害は科学的に知られていないということなど
		70 歳以上	①テレビ		①客観的データ		チェルノブイリと同じ位のデータ(テレビ)と言っていたこと
			②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)		②健康影響の見解		子どもに甲状腺の異常と書かれた記事
			⑥国からの情報				

3) 肉の生食に関するリスク措置について

①肉の生食に関するリスク管理措置（問8）

問8 生食用食肉(牛肉)については、昨年8月にリスク評価が行われ、昨年 10 月より新たに規格基準と表示基準が定められました。次の2つの表示基準それぞれについて、選択肢①～④の中から当てはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 表示基準 1

(回答者数=18人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	気にならなかった
		60～69 歳	以前から生肉は喫食していない 地方自治体の広報
	女性	30～39 歳	表示基準が定められたのを知らなかったので、気にして見ていない
		40～49 歳	表示(見やすい表示ではないことだと思う)があったか記憶にない
		50～59 歳	表示基準を知らなかったので気づかなかった
		60～69 歳	表示基準が守られていると思っても現場では衛生面が不十分であること
食品関係研究職経験者	男性	60～69 歳	生食用食肉を出ている店は見あたらない
医療・教育職経験者	女性	40～49 歳	販売を中止しているとの表示はあったが表示基準の内容は気がつかなかった 表示されているのかもしれないが、気がつかない
その他消費者一般	女性	30～39 歳	店舗に生食用の食肉を見ていない 外食によく行くが目立つ表示はない
		40～49 歳	メニューからなくなった店がいくつもある 全く気づかなかった 気が付きませんでした
		50～59 歳	気がつかなかった すべての飲食店や店舗が該当するのではないだろうか？見やすいところに表示されていない
		60～69 歳	意識がまだまだ現場には浸透していないように思える

(2) 表示基準2

(回答者数=11人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	最近生食用の肉をスーパーで見なくなった
		40～49 歳	表示があったか記憶にない。見やすい表示ではないということだ
	女性	40～49 歳	表示の有無に気がつかない
		60～69 歳	生肉の危険性は熟知しているので一切食べない
食品関係研究職経験者	男性	60～69 歳	生食用食肉を出している店は見あたらない
	女性	40～49 歳	生肉用の肉を手にとらないのでわからない
その他消費者一般	女性	30～39 歳	店舗でも生食用の販売を避けているように感じた
			生であることというよりレバーとかの商品名をよくみる
		40～49 歳	百貨店の精肉店で肉を購入していますが、確認していませんでした
			気づかなかった
		50～59 歳	食中毒以降パツタリと生食用の販売がなくなった

3) 食品安全委員会からの情報発信について

① 食品安全委員会ホームページの「構成面・デザイン」の問題点・改善提案（問10）

問10 食品安全委員会ホームページの「構成面・デザイン」について、問題点・改善提案を、具体的に記入してください。（問題点の例：求めている情報が探しづらい、見づらい等。）なお、別添の図表の番号1～27の番号を用いて、ホームページ中の指摘箇所を指定してご記入ください。

（回答者数＝157 人）

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	1,2	「重要なお知らせ」と「お知らせ」が似ているので「重要な情報」などにした方がいい
			13-19	ゴチャゴチャして見づらい
			3-6	目立っていない
			3	具体的にターゲットと意図がわからない
			5	たぶん「キッズ」は見ない気がするが、大人がわかりやすい
			7	21 と重複するので 7 のアイコンは必要ないのでは
			8	22 と重複するので 8 のアイコンは必要ないのでは
			9	23 と重複するので 9 のアイコンは必要ないのでは
			20-24 全体	全体的に文字のフォントが小さい。読むのに苦労する。特に 20-24
			1,2,20-24	これらは、一つにまとめる方が良い。情報があちこちしている
			3-6,15-19	スペースを取りすぎ。もう少し小さくても良い。特に 15「メールマガジン配信登録」は大きすぎてもったいない
			26	食品安全委員会の顔とも言える項目なのでもっと細分化して大きくした方がよい。食品安全委員会がどのような仕事をしているか重要な項目だと思う
			20	新着情報が小さく閲覧しづらい。大きくした方がよい
			2,20	新着情報とお知らせを統合し、見やすくした方がよい
		40～49 歳	2,20	お知らせと 20 新着情報をひとつにして、重要なお知らせを強調した方が見やすい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	40～49 歳	20	全ての新着情報をここにのせてほしい。「新着情報」にはないが、「食品安全総合情報システム」や26「専門調査会別情報」を探すと出てくるような場合があると感じます。見出しだけでも結構です
			21	重要なお知らせか、1「重要なお知らせ」と(21)「FSC Views」に分かれています。これについてはまとめるか 21「FSC Views」の重要なお知らせは他の用語にすべきかと思います
			25	結局、25 に行きつくということが多いように思います。そうであるなら「食品安全総合情報システム」を前面に出しても良いのでは。消費者には分かりにくくなるのであれば、消費者向けポータルを作るのも一つの考え方であるかと思います
			全体	全体に情報が多すぎるのではないかと感じます。使い込んでいないので申し訳けないのですが、情報に対する検索機能が充実していると助かります
			26	関連の項目を探すのにリンクが行きにくい
			全体	用語集とのリンクをもっと多くして欲しい
			1	更新の日付けがなく、また情報が見つらい
			3-6	何が書かれているのか一目で分かりづらい
			7-12	リンクがどうされているのかわからない
			13-16	もう少し目立たなくてもよいのでは？
			7-12,21-24	情報が重なっているのでは？
			1,2	多くは他省庁のリンク、リンク元を先に見せる形 × × × × × (〇〇省)というような表示はどうか？
			1	重要なお知らせで 2「お知らせ」や 20「新着情報」のように更新月、日付を入れた方が良い
			全体	ホームページとして表現、内容がかたく専門的すぎます。だれに対してホームページの閲覧を想定しているのでしょうか？一般の方々に広く公開、周知したいのであれば、再度（一昨年に続き）ホームページ全体の見直しが必要と考えます。対して季刊誌は数回前から表現が分かりやすくなり、一般の方への配布がしやすくなりました。HPも同様に専門的な部分と広く周知する為の部分とで表現の見直しを求めます
			7	FSC Views は(21)と重複しているので(21)だけが良い
			8	リスク評価は(22)と重複しているので(22)だけが良い
			9	リスクコミュニケーションは(23)と重複しているので(23)だけが良い
			11	(1)は(18)と重複しているので(18)だけで良い

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	19	モニターからの報告が、探しづらいアンケート結果と別々にしてほしい
			16	ここがもう少し強調されて目立つと接しやすくなると思います
			全体	おおむね良くできていると思います。厚労省や農水省に比べると格段に優れたウェブサイトと思います
			全体	デザイン等については、慣れの問題もあるので、標価はいたしません。多少使いにくいところがあっても慣れてしまえば気にならなくなります
			1	「重要なお知らせ」、「お知らせ」、「FSC Views」の3つあって分りにくい。一本化して内容で色分けかアイコン分けすると良い
			7-11	同じインデックスがすぐ下方にあるので、不要ではないか
			20	注目キーワードは見る人の関心が高い所と思うので、新着情報とリンクさせるとより良い
			7-9	1つにまとめた方が良いと思います
			2,20	1つにまとめた方が良い。過去の情報を探しやすくする
			全体	ピンクベースのデザインに赤文字使用では食品のイメージあるいは食品の安全のイメージにそぐわない感がある
			7-10, 21-24	同じ内容なので一方は不要では
			21-24	同じ内容なので、一方は不要では
			7-9	21～23 と重複している。(同じページへのリンク)
			7-12	よほど注意深く意識を持たなければ閲覧に至らない。(文字が小さい、項目が判読しづらい等)
			26	項目が細分化され過ぎている為見落としがちになる。(大分類、中分類、小分類とファイル形式でもう少しくりを大きくした方が入っていきやすいのでは)
			1-26	専門家から一般消費者に至るまで、閲覧しやすいように項目別ではなくそれぞれの必要とするジャンル別に区分けした方が良いのではないか使途別(難～易)
			全体	重複部分は必要ないのでは。第二階層構成とし第一階層は簡単なものとしてはどうか。
			15	メルマガ登録していますが、リスク評価の列記が多く、開いたら専門用語ばかりで、これらはそういう方(専門家)向けのページでまとめたなら。(多すぎ、難しすぎで見ている人はあまりいないのでは?)
			18	好評です
			17	好評です
			全体	成、デザイン等については良いと思います。以前印刷会社でデザインをしましたのでわかりやすいです。色の4色の配合もいいです

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	7,21	ダブッているので統一しては
			11,18	ダブッているので統一しては
			25,26	もう少し小さくしてもよいのでは
		60～69 歳	27	ホームページのトップページはもう少し簡略にした方がよい
			13-19	見にくい。複題は不要と考えます
			21-24	各項目詳細確認しようとする、マウスの動かし方次第で他の項目に移ってしまう。操作しにくい
			2	お知らせの情報内容はもう少しきめ細かくでも良いと思います。更新が少なく鮮度感に欠けます。重要なお知らせとの住み分けetc
			その他	「自ら評価」へ直接アプローチ出来ませんか？
			11	説明が堅苦しい。小泉委員長の写真か似顔絵があってもよいのではないのでしょうか。
			18	説明が堅苦しい。小泉委員長の写真か似顔絵があってもよいのではないのでしょうか
			1,2	「重要なお知らせ」、「お知らせ」の枠をもっと拡張し、今何を伝えようとしているかが、明確になるようにした方がよいと思います
			全体	時系列の整理がなく追加しているばかりでは、山積みされた書類の山を見るのと同じでやる気をそがれます。
			7-12	他の番号のところからみれるので、なくして最下段の(消費行政・食品安全の総合案内)の横に 10「会議開催予定と委員会の実情」、12「リンク集」のみ移してはどうでしょうか
			全体	ホームページのトップ画面は、以前のものはゴチャゴチャで情報が探しづらかったが、今のトップ画面は数段にわかり易くなっており有難い
			1	その時点で求める情報の詳細がわかりづらい
			7	21 と統合すること
			8	22 と統合すること
			9	23 と統合すること
			17	表記の問題と考えるが、13～16についてはしましう表記であるが、17 についてはインパクト効果を求めているのか、するどい表記となっている「みよう！→みませんか」
			1	タイトルをもっと興味をひくものにする。例えば「→放射性物質の食品健康評価について」は「この濃度までなら、影響はでない！」とか

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	60～69 歳	全体	この程度の内容の濃さは必要。他に一般向けのホームページを作ったかどうか
			全体	食品安全委員会のロゴのすぐ下に見た物がすぐわかる案内欄を設け、そこをポイントすると、さらに中項目がわかるようにする。それをクリックすれば見たい所に早く入れる。何度も見ている人はそのような必要はないが多くの方に見てもらうためにはその方が便利です。食品産業センター、消費庁、愛知県のウェブサイトは、見やすいです。但し、内容は食品安全委員会がよいです
			20	20 をホームページの上段に移動する
			全体	専門性の高いホームページなので、それなりにかたいレイアウトは仕方がない
			全体	グーグルの画面に似ていますが我々の年代では箇条書的な画面の方がわかりやすいと思います。
			5	キッズボックスについて。デザイン、タイトルはよろしいが、お子さんだけでは理解しにくいと思う
			3	消費者の方向け情報だけでなく「事業者の方向け」を作成したらどうか？
		70 歳以上	全体	画面いっぱい使用して、いろいろなことを表示しており、私は現状で良いと思います。
			全体	内容の数が多すぎる。リンクできるようにして整理して見やすくしていただきたい。
			12	根拠になる統計が探しづらい。「リンク集」を別欄又は色別
			全体	全体を一見して赤色の表記や表示が目立つ。赤は危険色であり、それなりの効果はあるのだろうが、見にくいし疲れやすい。緑や青色も使ってほしい
	女性	30～39 歳	7-12	21「FSC Views」、22「食品健康影響評価」など他にも重複している選択項目があるので必要ないのでは？
			1,2,20-24	1「重要なお知らせ」、2「お知らせ」、20「新着情報」、21「FSC Views」、22「食品健康影響評価」、23「意見・情報の交換」、24「調査・研究活動」は情報が重複して見えます。文字も多くて見づらいです
			25	このデータベース検索システムで、うまく探せた事がない。ヒットしすぎるのと、ヒットした標題が意味不明。ヤフーやグーグルのように使いやすいものになるとよい
			21	「自ら評価」や「食中毒」などのキーワードをホームページのトップページの右上の丸いアイコン（お母さんになるあなたへ等）のように見やすい形にしてほしい。（データベース検索を使ってもよくわからないので）
			7	「FSC Views」は、誰が見ても解りやすいように、言葉を直した方が良いと思います

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	女性	30～39 歳	3	一般の消費者の方にも注目されるような見出しがある方が分かりやすい
			4	「お母さんになるあなたへ」の見出しは限定しすぎているので、女性の方が一般的に見やすい方がよい
			5	同じく子どもに対してのコーナーならば、ここも詳しい見出しがあった方がよいのと、お母さんと子どものページは一緒に分かりやすい方がよい
			全体	わかりやすいと思います
			全体	全体的に字が小さく、情報が深じづらい
			1	漢字だらけで見づらい。読みづらい
			26	イラスト等加えた方が見やすい
			27	調べたい言葉を入力しても、情報が出てこない
			1	重要なお知らせなのにスペースが小さく見落としそうになる。もう少し大きくなるとよい
			全体	特に不便などを感じません。が、楽しめるコーナーや企画など、関心や興味のわく内容をもう少し盛り込んでもよいと思います。少し内容がかたい。正確な情報を迅速に伝えるためにあまり軽くなるものいけないが、まず見たいと興味をもってもらえないと、存在に意味がない
			25	食品安全総合情報システムでキーワード検索するが、関係のないものまで多く引っかかってしまう
			全体	全体的に文字が多すぎる
			7	21と同じ内容の部分が統一して良いのでは？
			8	22と同じ内容の部分が統一して良いのでは？
		40～49 歳	2	もうすこしわかりやすくしてもらいたい
			1	おしらせの見出しだけでは探したい情報がわからない。例えば「96報」だと 96 を開いて全部探してほしい情報が入っているかどうか見るしかない。小見出しをつけるとか具体的な追加内容を加えるとかにしてほしい
			11,18	内容がだぶっているので1つで見出しを大きくしてほしい
			21	「重要なお知らせ」はもっと大きく上の方にのせてほしい
			全体	問題点はないと思う。一般的には難しいが、専門の人にとっては理解できる内容であると思う
		50～59 歳	全体	全体的に色使いがうるさい(赤っぽい、画面帯の赤がキツイ。)また、重要なお知らせの字も赤で、見づらい
			1	沢山こまかい項目があって、今一番消費者に伝えたいことが何なのか、わかりづらいので「重要なお知らせ」の中でもトピックスのようなものがあってもよいと思う
			全体	現在特に気になる放射性物質について、別に1つ項目(すぐわかるように)を設けてほしい
			2	1「重要なお知らせ」と書式は同じに見えますが中央寄りなので場所は良いですが活字の多さで疲れてしまいます

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	女性	50～59 歳	8,22	よく似た情報が分散している。違いがわからない
			9,23	よく似た情報が分散している。違いがわからない
			13,14	1つにまとめてはどうか
			1,2,21	「お知らせ」が多いような気がします。「食中毒予防」の言葉があちこちにあります。少し絞った方が良いのではないのでしょうか
			その他	ピンク～赤色系が多くて見にくい
		60～69 歳	3	一般の方が見やすくなるよう目立たせて下さい
			5	母親として食育や放射能に関心が高いのもっとわかりやすく目立たせた方が良い
			1	見出しを大きくわかりやすくつける
			全体	自分の欲しい情報を探す時一般のテレビ、新聞等よりもより専門的に書かれているがむずかしい専門的な言葉よりも一般的な人が理解できるように時には図とか例えをあげて説明がある様だと良いと思う。一つ一つの問題点改善提案ではないが時として感じる時がある
食品関係研究職経験者	男性	40～49 歳	トップページ	パッと見て文字だらけで見たい気を失わせているかも
			7-11	21-24 があれば不要では？文字も小さく分らない
			トップページ	赤中心の配色は「危険」を意識させるためか？
			トップページ	欲張り過ぎているようにも感じる（一般向け、専門内容が混在している）
			26	トップページから各専門調査会に飛べるようにしたい気持ちは分かるが、ここはもっとシンプルにした方が良いのでは？
			トップページ	ホームページの役割はリスコミの大事な部分であると思う。リスコミの対象として一番力を入れるべきは誰か？それを考えたホームページにすべきではないか？極端な考え方としてトップページに一般向け、専門家、生産者などと大きく分け、そこから個別に分かりやすくしたページへ移動させるなど
			全体	全体的にゴミゴミしている。階層構造を有効利用すべき
		50～59 歳	7-12	レイアウトデザインが細すぎませんか？
			1,2,20	お知らせ、新着情報類を1つにまとめることができるのでは、面積とり過ぎの印象
			3-6,17,18	消費者、お母さん、キッズを対象にしているのであり同じような位置にまとめられるのでは？そして、18、17をもっと目立たせてはいかが（自衛隊のHPは参考になるのでは？）
		60～69 歳	全体	全般的に専門用語が多く分りづらい
			その他	サイト内検索は、キーワードを入れて検索すると、それに関した委員会等の情報に主につながる。とりまとめをした内容記述のある文書等がさがしづらい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係研究職経験者	男性	60～69 歳	11,18	食品安全委員会とはを一つにまとめたら今の Fsc For You(右上の消費者の方向け情報など4つのアイコン)は別途必要だと思います。
			全体	デザインが固い。まじめである。もう少し、華やか(重要度)が分かるようにした方がよい
	女性	30～39 歳	全体	全て見やすいので改善点はみあたらない
		40～49 歳	1,2,20-24,26	全体のレイアウトで文字が多すぎて、読みたい内容を探しづらい
			11,18	ダブっていませんか？11 を削除した方がよい。
			17	消費者に目立つように大きく、上に配置すべき。
			26	専門用語が多く消費者にはわかりにくい。
医療・教育職経験者	男性	30～39 歳	1	重要なお知らせが左上は見にくい。真ん中が良い
			11	11 番と 18 番がダブっている。1つで良い
			19	目立ちにくい。下部に並べた方がよい
			25	目立ちにくい。下部に並べた方がよい
		40～49 歳	トップページ	全体がごちゃごちゃして見づらい。
			1,2	お知らせは 1 つにまとめ、委員会開催のお知らせは別項目にしては？
			7-12	全体的にたてにならんでいるのに、と中横一列にあって見づらい
			1,2,20-24	「重要なお知らせ」など重複した表題で内容が同じなのかどうか一目見ると分からない。13～19 のようにスッキリした見た目の方がよいのでは？
		50～59 歳	1	文字が小さい。
			全体	文字数が多すぎる。もう少しすっきりしたようにならないでしょうか。
			26	各サイトのバナーが細いので太くして下さい
			27	全体的に文字が細かいので大きくしてほしい。
		60～69 歳	1	評価についての一般向けの解説が一番に出してほしい。
		70 歳以上	19	アンケートの分析や解析結果の公表
	女性	30～39 歳	1,2	全体的に文字が小さく見えづらい
			21-24	7-11 の情報と同じなので、片方でよいと思う。
			1	字が小さく、見だしを大きくしてほしい。
			2	字が小さく見出しを大きくしてほしい。

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
医療・教育職 経験者	女性	30～39 歳	1	重要ならば、放射性物質、食中毒などごちゃまぜでなくカテゴリー別に分けてほしい。見る気がしない
			1,2,20,21	お知らせだけで意味がわからない。統一できないのか？
			1-27	放射性物質、添加物、それぞれ国民の不安に思う要素は違う。農薬について調べたい国民に他の情報は、不要である。トップページは、調査会ごとにカテゴリ分けした方が見やすいし使う。とにかく字が多く目がチラチラする
			全体	構成、デザインはとても良いと思います。特にトップ画面はわかりやすくまとめられているので見やすいです
			7-12,21-24	7-12 と 21-24 が重複しているのでまとめるとスッキリより見やすくなるのではとも感じます
		40～49 歳	2,20	この2つの違いがよくわからないので、わかりやすく
			全体	全体的に文字が細く、多すぎる、もう少しスッキリと
			20	文字間がせまくて読みにくい(漢字が多いため)
			12	健康食品についての安全性を調べるには国立栄養研の HP だが、それがわかり易く表示されるようにしてほしい
			26	見る機会がない。重要な情報があると思いますので、一工夫欲しい
			全体	全体的に文字が小さく、難しいイメージが先行。イラストやカラーを使って、親しみやすくする必要もあると思います
			全体	全体的に一般の人が読むのには、難しいと思いました。文字が多くて、見た目が難しく感じます。もっと多くの人に見てもらい、食の安全が伝わるいいと思いますが、私が見るのは、難しいといつも感じます
			全体	ゴチャゴチャしてわかりにくい、あちこちクリックしないと見えないのもう少し整列化した方が見やすい
			7-12	同じ内容のところが多いのでいらないと思う
			7,21	「FSC Views」など同じものが2つあるので1本化してもよいのでは？
			1	生食用食肉については、消費者に目立つように注意喚起を記載した方がよいのでは？
			25	検索キーワードに「O-157」を入力して、検索したがヒットしたものは「？」でした
		50～59 歳	1,2	1「重要なお知らせ」と 2「お知らせ」の区別がわかりにくい。ポイントをもっと絞って「これだけは」というものを載せたほうがわかりやすい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
医療・教育職 経験者	女性	50～59 歳	1 他	関係あるものがずらずら並んでいるが、「一言で」どうなのか、という概要を理解できるようなものがあるとわかりやすい
			7-9,21-23	7-9 と 21-23 が重なっているので整理した方がよい
			全体	全体的に文字が多く小さく読みづらいような…。5 のキッズボックスは絵があつて楽しいが、他の部分は一般の人が好んで何度もクリックするかどうか疑問を感じる。一般の人消費者はどんな情報を知りたいかについて的をしぼってわかりやすく見やすくお願いします。1ページにすべてのせようとして、情報量が多すぎるのかもしれない。難しい
			7-12	赤い帯に白抜き文字は読みづらい
			20	日付けの下に種類別に且つ色別に(委員会)(その他)など表示する必要はないのでは？
			全体	字を大きくしてページを3分割でなく2分割にして、少しスクロールして見ていくようにしてもよいのではないか。赤色を多用しているかとも思う
		60～69 歳	その他	注目のキーワードが開いても見にくく、知りたい情報が簡潔に解りやすく整理されている方が良いと思います
			1	新しい情報は色分けすると注目しやすい
			2	新しい情報は色分けすると注目しやすい
その他消費 者一般	男性	20～29 歳	27	サイトマップは右端に寄せた方が探しやすい。多くのHPはそうしている
		40～49 歳	1-26	全体的にこまかすぎる。見づらい。大きい題目を5つ位にしてそこから今表示されている所に表記されるように持っていってはいかがでしょうか。又マンガ・絵等をふやして、誰でもが、楽しく楽に閲覧できるようにしてほしい
			1	放射性物質の食品検査体制について県(出来れば市、町、村)単位での商品別(例:大根)検出量を見られると安心して購入ができる
		60～69 歳	21	意味がわからない
			1 など	auのスマートフォンでは、PDF のページが開けない。(なお、他のホームページの PDF は開けます)
	女性	20～29 歳		特になし
			全体	全体的に文字が多く、パッとホームページを見ただけで疲れ(そう)で読む気になれないので、もう少しトップページは情報を少なくした方がよいと思います
			1,2,20-24	もう少しまとめられそうだと思う
			13-16	もう少し小さくてもよい
			1,2	文字が小さいのに多い
			4,5	イラストなど親近感がない。もう少しポップに

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
その他消費者一般	女性	30～39 歳	全体	見る限りとてもすばらしいデザイン構成面になっていると思います
			全体	全体的に見づらく、分かりにくい。1 つの画面に情報を表示しすぎて分かりにくく探せない。もっとスッキリしたデザイン構成の方が探しやすい
			全体	専門家向けの内容と、一般消費向けの情報が混在していて、自分の知識量に合う情報を探しづらい。最初のホームページでは、専門的内容と一般向けの情報どちらを見たいのかの選択肢程度にしておいた方が見やすいし、とっつきやすい
			4	5 のキッズボックスのように項目を立てたほうが見やすいと思う
			5	キッズボックスという名称では少し内容がわかりづらい。(大切な内容が探しやすく、まとめられているので、子どもだけのものにするのはもったいない気がします。)
			全体	見やすい構成だが、情報が引き出しづらい。お知らせをみたらいいのか FAQ の方が早いのか…
			1,2	「重要なお知らせ」と「お知らせ」はまとめたほうが良いように思う
			7-12	目立たないので、もう少し大きくするか配置を変えた方が良い
			5	「キッズボックス」をクリックする前に、その中にどんな情報があるのかわかりやすくしたほうが良い。親がこのホームページを見ている時に、子供と一緒に見ていて、「ここクリックしてみて」と言ってくれるように、子供が興味を持つ内容のものを表に出すと良い
			21-24	タグがあることがわかりにくいので、個別にクリックできるした方が良いのではないと思う
		40～49 歳	20,1,2	「重要なお知らせ」と「お知らせ」と「新着情報」を分けている意味がわからない。
			全体	ブラウザを開いた時、トップはスクロールしないで見渡せるようにした方が良い
			全体	赤い色が多すぎて、多分色覚に障がいのある人には見にくいと思う
			1,21	2 つとも重要なお知らせになっているが、本当に重要なかがわかりにくい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
その他消費者一般	女性	40～49 歳	全体	字が多く、字が小さい。
			20	大きくする
			13	もっと小さくてよい
			19	もっと小さくてよい
			25	もっと小さくてよい
			26	もっと小さくてよい
			21	大きくする
			22	大きくする
			23	大きくする
			24	大きくする
			16	QandA では、項目別よりも新着順に見れた方が良いと思います
			全体	全体的に、字が小さく多いので…見づらいです。お知らせが多くもう少し、スッキリとしたデザインにした方が、良いと思います
			1	字がつまっている感じがして、読みづらい
			7-9,21-23	同じ内容に行きつくための目印が複数あることで文字が小さくなりかえって利用しにくいのではないかと
			全体	漢字が多すぎる
			1,2	1. 重要なお知らせ、2. お知らせはどちらか一方で良いのでは
			全体	大みだしについている小みだしの文章が長すぎてかえってわかりづらい
			全体	全体に赤色系の配色が不安感を煽っている
			その他	注目キーワードの欄が小さい
				封筒の前面に大きく住所・氏名を記入することには納得いかない。配慮のなさを不審に思う
			25	求めている情報が探しづらい
			20	「委員会等」などの種別が色がうすく年配者には見づらいと思う。また、内容についての文字(タイトル)も小さすぎる
			1	クリックしてすぐに PDF が見える方が便利だと思う
		50～59 歳	全体	全体を絵でわかりやすくすること。一般消費者向けに文字を少なくすること
			全体	全画面的に見て、情報量が多すぎて、窓口をしぼって細分化していく表示が良いと思う
			全体	1 ページに全部の情報を含むと、情報が多すぎて一度も閲覧したことがないものがでてきてしまう
			全体	かなり秀いでいて優れたホームページで問題ないと思います

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
その他消費者一般	女性	50～59 歳	全体	トップページはカラフルで見やすいが注目キーワードから次にいくと、字が行間が空いていなくて読みにくく、そこでストップしてしまいそう
			1	重要なお知らせにしては文字が小さい
			7,21	どちらか一方が良い
			8,22	どちらか一方が良い
			9,23	どちらか一方が良い
			全体	わかりやすくなっていると思います
			全体	全体に、一目で入ってくるパーツが多すぎるように思う。まず一般的に情報を得たい人の小窓を作り、専門的に知りたい人はそこからどんどん入っていけるように構成されるとさっぱりするのではないかな。3「消費者の方向け情報」、4「お母さんになるあなたへ」、5「キッズボックス」のようなものと、“専門の方向け”があるくらいさっぱりしていても良いと思
			全体	項目の文章がわかりにくいように思います。もう少し色分けをし興味をもつようにしてほしい
			20	メインページ字が小さく見にくい
			5	「キッズボックス」とは何才から何才までなのか？
			4	「お母さんになるあなたへ」より結婚される方とした方がよいのでは
			3	字が小さいので読みにくい。もう少しわかりやすく説明してほしい(イラストもほしい)
		60～69 歳	20	文字が小さくて読みにくい
			21	中央下段の「重要なお知らせ」をわかりやすくしてほしい
			その他	幼稚園、小学校の食育に使いたい資料をさがす時、目的の所まで結構手間どる
			5	キッズボックスとの表現ではなくずばり「子供向け」と書いてあるほうがさがしやすいと思う
			全体	時間的な余裕がないのでサッと読み流せるように重複している質問等や古い年代のものは省いてほしい

②食品安全委員会ホームページの「情報の内容」の問題点・改善提案（問11）

問11 食品安全委員会のホームページに掲載されている「情報の内容」について、問題点・改善提案を、具体的に記入してください。（問題点の例：求めている情報が載っていない、専門用語が多く解りづらい等。）なお、別添の図表の番号1～27の番号を用いて、ホームページ中の指摘箇所を指定してご記入ください。

（回答者数＝122人）

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	30～39 歳	12	農林水産省、厚生労働省のバナーを示した方が良い
			13-19	不要
			20	区分の「その他」が多いです。分類してもよいのではないかと
			22	用語集との連動や問題経緯などがわかるとうれしい。スマートフォン対応して欲しいです
			その他	モニターからの意見を Web 上からも報告方法を含めて掲載してほしい
			26	主食である米に関する情報に欠けていると思う。米の安全性について情報がほしい。農薬についてポジティブリスト制度だけでは、安心できない。肥料についても残留肥料問題を取り上げてほしい
			20	新着情報の名のわりには、内容の重要性が乏しい。内容充実を
			1,21-24	1 と 21 (FSC Views)-24 (調査・研究活動) を統合し、見やすく、情報濃厚にしたページを
		40～49 歳	3	食品を選ぶ場合の消費者の自己責任についての心構えのようなものをのせてほしい
			全体	情報の内容について簡潔に分かりやすく書かれている部分がほしい。まとめがほしい。内容については、詳しくてよいと思いますが情報を得るためにどこを開いたらいいのかわかりにくいです
			17	用語集にある単語が本文にでてくる時はすべてリンクしておいてはどうか？
			18	食品安全委員会とはのタブは(1)の上に付けたほうがよいと思う
			1	重要なお知らせはもっと目立つようにしてほしい
			13	ダイアルの受付は(19)の下がいいと思う
		50～59 歳	6	DVD 等の貸出情報が古い。更新が少ない
			12	食品安全に関する各省庁の指針や通知を見られる様にする。検索できる様にする

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	全体	分かりやすいとは言えないと思いますが、元々この種の情報発信サイトに通販サイトのようなわかりやすさ、取っつきやすさを求めるのは無理があるように感じます。かといって利用者を突き放すのは具合が悪いですが、現在のサイトは十分以上取っつきやすく分かりやすいデザインだと思います。例えば、老眼の進んだ小職の目にはもう少し文字サイズが…と思ったときには(少々わかりにくいですが)サイト内検索ウインドウの下に【文字サイズ拡大】の解決策が見つかります
			全体	必要な情報は揃っていると思います。個人的には、このホームページはあまり“人間味”が感じられないので、委員の方々が時折書くブログの様なコーナーがあれば、一般の方にも委員の方々に興味を持っていただくことが出来、委員会とユーザーの距離が多少は縮まるのではないかと考えています
			12	食品衛生に関連する協会等民間団体へのリンクも掲載してほしい
			5	キッズボックスの中に放射性物質の情報を分りやすく掲載してほしい。
			26	H23.12.5 厚労省から安全性審査を経ていない遺伝子組換え微生物を利用した添加物についての対応がリリースされたが、その後の専門調査会審議内容も非公開であるのはおかしい
			1	過去の情報を検索しやすく区分別に掲載できないか
			12	各省庁へリンクするのではなく、安全委員会で網羅できないか
			全体	個別情報に入ってしまった場合、用語の使い方及び1センテンスが長い為、非常に読みづらい
			全体	どのページの閲覧が多いか分かるはずなので、少ないページはなくても良いのでは
			その他	サイト内検索、キーワード検索を見易くして、興味の有る情報を調べ易くする
			3	消費者向けページの鳥インフルエンザの項からリンクしている PDF 資料(安全性に関する考え方)の内容が、一般の方には難しすぎるのではないかと思います。(専門用語、業界用語が多いため)

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	50～59 歳	1-26	専門家（広く深く）職務関係者（狭く深く）一般消費者（広く浅く）と用途がそれぞれ違う為、閲覧内容をどこに定めるかが問題。平易では役に立たないし、難解では閲覧に結びつかないので、両立させる為にはページ割等によりどこから導いていけば一番全ての方の役に立つか、検討の余地があるのではと思う。一番難しい問題と思うが、お役所仕事から脱皮し遊び心も…。入り口をいくつか作った方がよい
			19	モニター報告を提出する際、過去にどのような報告が提出されているのか、要約したものがあると有難い。報告は要約されて掲載されているが、ジャンル別などに分けて、「このような報告が過去に届きました」などとまとめる
			26	専門用語が多く解りづらい
			全体	一般の方々が見る場合専門用語がわかりにくいことがあるのではと思います
		60～69 歳	26	放射能関連情報の一本化を
				総体的に食に関して多岐にわたって調査・分析・評価されているが、専門的な化学物質が非常に多くて中々理解しがたい事は仕方のないところであるが、サイト内検索機能があるので知りたい情報へのアクセスが早くて便利である一方で、直近では、栃木では3月1日からの溪流解禁が放射性汚染で延期された情報が掲載されていない。又、群馬赤沼のワカサギ汚染禁漁情報も検索されない。現在、最も関心があるのは東北・北関東の食材情報である。日々各地の食材汚染情報が変化しているのでタイムリーに状況を確認し掲載を希望する
			全体	情報検索に入るのに、消費者、販売者、生産者等に分類し、情報の欲しい側からの優先した構成できないか
			2	お知らせの情報内容はもう少しきめ細かくても良いと思います。更新が少なく鮮度感に欠けます。「重要なお知らせ」との住み分け等
			その他	「自ら評価」へ直接アプローチできないか
			1	放射性物質の食品健康影響評価の概要と資料のあとに Q&A があるが、昨年 3 月時点の設問もあり、説明がわかりにくい
			1,2	会議の案内や、事案のステータス説明を区別し、食品安全に関する食品安全委員会の見解が前面に出るような主張がほしいです
			2	あまりに古い「お知らせ」は、全体の鮮度を失いかねません。2年以上前のお知らせはどこかに格納するか、あるいは日にちを更新しておいた方が良いのではないのでしょうか

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	60～69 歳	全体	先ず結論要旨を冒頭に述べてほしい。時間に限度を読み手が持つという意識がない。率直に言えばビジネスを知らない人間が手がけている。危機対処はこれではできない
			1	(重要なお知らせ)で、NEW となっているので、みてみたら前回にみた時と同じ内容であった為、項目毎に掲載日か更新日を入れていただいたら見易くなります
			22	評価根拠をわかりやすく開示してほしい
			13	祝日、土日曜日(休日)、年末年始を除くを明記すること
			2	お知らせ中放射性セシウムについて記載があるが、これの人体に対する作用について記載して欲しい
			1	「重要なお知らせ」中にノロウイルスに関する情報が掲載されているが「ロタウイルス」に関する情報も掲載した方が良い
			1	タイトルは判り易いが、内容が慎重すぎて判り難い。根気良く読まないで理解できない。要約を箇条書きにするなど、短時間で読める工夫をしてほしい
			27	検索しても、すべてが表示され、その中の文を読まないはどこに書いてあるのかわからない物質がある。Yahoo のように検索文字が網かけして出てくるなど、見つけやすいようにして下さい
			25	検索しても、すべてが表示され、その中の文を読まないどこに書いてあるのかわからない物質がある。Yahoo のように検索文字が網かけして出てくるなど、見つけやすいようにして下さい
			15	メールマガジンにホームページからアクセスするようにして下さい
			全体	情報の探しにくさはあるが、専門性が高いので仕方がない。それより、ターゲットの多様さを意識しすぎて総花になる方が心配。特化したホームページでもよいと思う
			1-27	全体の問題として昨年から「用語集」のファイルがなくなりましたので、「用語集」をファイルで作成し検索できるようにして欲しい
			1,2,14,21	化学物質名の後に用途を入れてもらうとより判りやすい(例)スピロジクロフェン(農薬、殺ダニ剤)
		70 歳以上	全体	委員会は公権力が発信する情報ですので、正確、公正が最優先されることは誰もが認識するところですが、ややもすると、難解な語句や霞が関用語を引用した言葉があると思います。全ての国民が自由に閲覧出来る情報ですので、判りやすい言葉や用語を用いて頂きたいと思います

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	男性	70 歳以上	全体	大項目の内容のガイダンスを設けて、よりわかりやすい画面にしていきたい
			12	「食中毒」「国民栄養調査」等のデータを各省庁のページから入らなくても直に参考に読めるようにしてほしい
			15	メールマガジンが食品安全モニターにも配信されていますが、読む箇所が限られている。モニター専用のメルマガがほしいです
	女性	20～29 歳	全体	時々、むずかしい言葉もありますが、調べますので、このままで良いと思います
		30～39 歳	3-5	キッズや母親向けの内容があるなら、年配向けの内容があっても良い
			14	皆様のご意見を募集とあるものの専門的なことが多く、一般の方にはわかりづらい
			21	自ら評価のページで「人の健康の悪影響が及ぶおそれがあることを示す情報が確認できない」という表現は、体に悪い物質（たとえばヒラメ毒）はあるが、通常の摂取なら大丈夫なのか。そもそもそのような毒がないのか、どちらなのか？またはどちらなのかわからないということなのか？
			26	資料の PDF の内容が、開いてみるまでよく解らず、がっかりすることが多々あります。もう少し具体的な資料名がつけられていると良いと思います
			12	放射能事故のことに限っては食の安全だけでなく他の部門の検索もできるようにした方が良い
			4	放射能の影響が一番心配。もっと安心につながる情報を
			1	難しい言葉が多い
			22	専門的な言葉が多い
			19	新しい内容に更新されるのが遅い
			全体	子どもも見られる配慮（ルビをうつなど）。外国人向けの配慮。よりよくなることを期待しています
			1	もう少し字の量を減らした方が良い
			2	もう少し字の量を減らした方が良い。つめて書きすぎ
			20	新着情報は最近の物だけで古い情報は他へ分散して掲載してほしい。できれば最新3ヶ月～半年位の期間で
		40～49 歳	5	もっと内容をふやしてほしい。子供が見やすい様に
			14	専門性が高すぎて意味がわからずコメントの出しようがない。内容からいって仕方ないのだと思うが、専門家からの意見募集ではあまり“パブリック”ではないのでは

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係業務経験者	女性	40～49 歳	26	全体に専門用語も多く文章が長くてわかりづらい
			2,20	字が小さく専門用語もありわかりにくく探しにくい。見落としてしまう
			1,2,20,21	お知らせが多い「重要なお知らせ」「お知らせ」「新着情報」「重要なお知らせ」とあり、もう少しまとめてみてはいかがでしょうか
			1	内容は、言葉が専門用語でわかりにくい部分もあるが、自分にとって必要な情報だけは知る事ができるので良いと思う
		50～59 歳	26	内容が難しい
			その他	具体的にあった事件や、新聞やテレビで放送されている案件について解説してくれるような内容があれば興味を持って、何度も検索したくなると思う
			6	資料のプリントアウトがけっこう大変
			3	消費者向けだけでなく製造者向けの情報が欲しい
		60～69 歳	1	専門用語が多く、短くわかりやすく要約したものがほしい
			全体	必要な情報がいろいろ知る事が多方面から解るように掲載されていると思うので助かっています。時期的なニュース(冬はインフルエンザとか)をもっと深く知識として知る時に利用しています。是非ニーズの多いテーマを多く深く掲載して下さい
			12	厚生労働省「食品安全情報」から規制値を探したり、実際の測定値をみつけるのが困難である
			17	調べたい用語が検索できるようにしてほしい
食品関係研究職経験者	男性	40～49 歳	17	「でも調べてみよう！」の「でも」というのはどういう意味で付いているのか？
			17	用語集の解説をもっと簡易に
		50～59 歳	1	食品中の放射線新基準の数値について食品安全委員会が押すのであれば、その根拠も含めて示すべき。海外情報についても載せるべきと考えます。例、EFSAが基準とした数値と根拠等
			全体	内容に問題は感じないが、ホームページのトップページは文字多すぎる
			1	いつホームページを開いても同じように思える(動きがないように)
			2	日付から間隔あき過ぎで、お知らせが少なく感じる。厚生労働省や農林水産省、消費者庁の情報も入れることはできないか
		60～69 歳	全体	専門用語が多く分りづらい時が多々ある
			19	とりまとめの時間的なズレがある(2-3ヶ月かかっている)
			26	情報の更新が遅い

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
食品関係研究職経験者	男性	60～69 歳	26	専門調査会の議事録などの資料はできるだけ速やかに公開してほしい。発言した委員の氏名は公開と同時に公表してほしい(発言に責任を持ってもらうため→無責任な発言をしてもらうと関係者は振り回わされてしまう)
			9	スライドについては PDF ファイルだけではなく Power Point ファイルも提供してほしい(特に食品安全モニターには→パスワード設定があってもよい)
			全体	全体として内容は分かりやすいので良い
	女性	30～39 歳	21	いつ発信した情報か、日時をはっきり見やすくしてほしい
		40～49 歳	16	こまめに更新した方がよい
医療・教育職経験者	男性	30～39 歳	5	キッズボックスの情報に、ゲームやアニメも増やしてほしい
		50～59 歳	1	音声案内を充実してほしい
		70 歳以上	2	月別にトピックとなる課題の一般的解説
		30～39 歳	全体	言葉が専門的かつ難しすぎる。一般人向けとはとても思えません。以前より『食品安全』のパンフレットを職場で回覧していますが、内容が専門的すぎると言われています。もっとわかりやすく書くわけにはいきませんか？
	8		目的のものが探しにくい	
	22		目的のものが探しにくい	
	その他		「厚生労働省や消費者庁、農林水産省などの関係省庁へ伝えます」という回答が意見募集されたものへの回答に多いのですが、どの様に伝えられたのか情報を見つけることができませんでした	
	女性	30～39 歳	その他	注目キーワードの内容が1見見づらい。閲覧件数も多いと思われるので、ある程度内容をしぼり込んでそこからリンク付けして下さると解りやすいと思います
			40～49 歳	その他
		全体		項目が多すぎて自分の欲しい情報に容易に辿り着けない
		27		「アメリカの牛乳には成長ホルモンが移行している」という話をきき、日本での規制や安全性の確認はどうなっているか当ホームページでさがしたことがあります。図表番号 26「動物用医薬品」、16「Q&A」、27「サイト内検索牛乳ホルモン」などやってみました情報がにたどりつけませんでした
		全体		更新日があると助かる
		その他	検索の場所をつくってキーワードをいれてさっとでるようにしたいと思う。とても情報が多いのでみためはシンプルにして、深く知りたい人と簡単に情報をあつめたい人がいっしょに見れるようなホームページにほしい	

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
医療・教育職 経験者	女性	40～49 歳	26,22	「新開発食品」が「特定保健用食品」のことであることがわかりにくいと思う
			22	「新開発食品」で取り下げになったものは、リスト上に記載があった方がわかりやすいと思う
			全体	このホームページは誰を対象としたものでしょうか？わかりにくい。変に細かすぎるところもあるようです。トップページをもう少し整理した方がよいように思います
		50～59 歳	4	内容ははじめに大切な項目を箇条書きにしてから細かい内容に入った方がよろしいのではと思います
				その他注目キーワード(25 の食品安全総合情報システムの上)は、キーワードの説明があると思ってしまう。注目キーワードの説明があるとよい
		60～69 歳	全体	知りたい情報がすぐに探せそれ以上に知りたい場合は次の段階と進めるようにできると良いと思います
			18	このサイトから各都道府県の食品安全委員会の情報も得られると良いです
その他消費 者一般	男性	20～29 歳	26	専門調査会として放射線という項目を別途作成した方がよいと思う
		30～39 歳	その他	フェイスブック、ツイッターなどにつなげることはできないか。フィードできないか。食品安全モニターだけが参加できるソーシャルネットワークができないか
			1-26	役所的な文章つかいです。誰でもわかりやすいように専門用語等が表記されたら、その言葉をクリックしたら解説が表記されるように！
		60～69 歳	26	文字ばかりでつまらない
			全体	精度の高い正確な情報の提供を求める。いろいろな意見を提供するのもよいが、それよりも専門的で数値的な事実をお願いしたい
	女性	20～29 歳	その他	輸入菓子に使われている食品添加物などを知りたいが、何を書いているかわからない。もし日本で使わないような物質が入っていたら・・・と思うと怖いので、日本では「〇〇」という物質は外国語では「・・・」と書いているなど知りたい
			全体	専門用語が多く解りづらい。もう少しわかりやすくしてほしい
		30～39 歳	1,2	専門用語が多く、理解しにくい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
その他消費者一般	女性	30～39 歳	全体特に 1	なかなか一般の人が、すぐ知りたい情報を引き出せない。例えば、今の食材ってどれくらい暫定基準を超えたものがあるの？と思ったとします。そこで重要なお知らせの「放射性物質の食品健康影響調査について」というのを開いてみるが、“評価書”“解説資料”とでてきてどれをみたらいいのかわからない。FAQ にしても同様“どれを開けば”情報にあたるのかわかりづらい。問い合わせや FAQ の利用状況をみて、ホットワードをまとめてすぐに情報に行きつくようにしていただきます
			4	「お母さんになるあなたへ」で色々な食品安全の情報を得られると思って見ても、特にかわることもなく、どこにでもある情報が多い。今、注目されている情報で、妊婦や胎児への影響はどのくらいかを、ここを見ればどこよりも早く正確にわかるようにしてほしい
			20	1「重要なお知らせ」2「お知らせ」があるので不要ではないか
		40～49 歳	全体	食品安全についてテレビのニュースで取り上げられている内容（放射能関係が多い）を詳しく知ろうと見るが、載っていないことがほとんどです
			20	(20)は何に対しての新着でしょうか。消費者向けではない様です
			1,2	(1)と(2)の違いがわかりにくい。全体的に一見して、今注目すべき内容、消費者が注意しなければならないニュースを見やすく、わかりやすく取り上げて欲しいです
			全体	委員会の活動内容もできるだけ一般の人にわかりやすく書いて欲しいです
			3	一般消費者がアクセスしてきた時にもう少しわかりやすく、知りたい情報が一度に知ることができるページがあっても良いと思います。放射性物質、食中毒などもっとテーマ別に見られると情報がわかりやすいと思います。全体的に、関係ない人（専門家でない、一般の人）が見るには、見づらいホームページであると思います
			6	一般消費者がアクセスしてきた時に、もう少しわかりやすく、知りたい情報が一度に知ることができるページがあっても良いと思います。放射性物質、食中毒などもっとテーマ別に見られると情報がわかりやすいと思います。全体的に専門家でない一般の人が見るには見づらいホームページであると思います
			25	以前、健康食品の安全性について調べようとしたが載っていなかった。健康食品については別団体(国立健康・栄養研究所)を紹介するなどした方がいい

職務経験	性別	年代	該当図表	回答
その他消費者一般	女性	40～49 歳	17	わかりやすい
			その他	「放射性物質の食品健康調査評価」という項目が、別コーナーを設けてはどうか。マスコミ等で正確ではない情報が氾濫していることを憂いている国民が多いため
			26	専門用語が多く解りづらい
			全体	文字が多すぎるのでどこが？という点がわかりにくく、近寄りがたく感じる。No.3「消費者の方向け情報」～6「動画配信などビジュアル資料」のようなアイコンの方が良い
		50～59 歳		α リポ酸に関する情報がないようです
			1,2	重要なお知らせ、お知らせの違いがよくわからない
			全体	すべて内容もくわしく書いてあります
			19	アンケート結果がないように見え、回数が少ないため更新されていない印象を受ける
			27	ほしい情報がでてこない
			26	内容が難しく一般の人にとっては理解しにくい
			1	食品中に含まれる放射性物質の食品健康影響評価について甲状腺がんや白血病が小児に発症—もっと具体的にのせてほしい。専門的すぎて、わかりづらい
			26	専門調査会の中に放射性物質関連の調査会はないのか
		60～69 歳	16	図など入れると文字ばかりに比べてわかりやすい
			全体	今回サインスカフェの第5話を参考に地域の人に話をさせていただきました。この様に一般の人でも理解できる具体的な情報を数多くほしい
			16	3/21～4/30 日まで 1 万 5000 テラベクレルが海へ放射性物質が流れ出ていると言う。(新聞報道)高濃度のものが流れ出した海は境界がない為汚染度を知りたい。貝類魚海草も情報を配信してほしい
			3	「消費者の方へ」があるのなら当然「事業者の方へ」もあることを予想させるが、「事業者の方へ」の情報は恐らく厚労省などが出しているであろう。であれば、「消費者の方へ」というような一括の仕方はせず、「アレルギーをお持ちの方へ」とか「高齢者の方へ」など、という区分けをした方が4「お母さんになるあなたへ」や5「キッズボックス」などとも整合性があると考えられる。3「消費者の方向け情報」の内容は結局、特別な情報ではなく、他のセクションの抜粋になっているので特に必要とは思えない
			19	本日(2012年3月4日)現在、まだ昨年10月までの報告しか載っていないのは少々遅いと思われます

統計表

問 1.1 環境問題に対する不安の程度(単位: %)

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	35.8	50.6	6.6	5.5	0.9	0.0	0.6

問 1.2 自然災害に対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	45.7	40.8	6.6	6.1	0.3	0.0	0.6

問 1.3 食品安全に対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	21.4	46.2	15.9	13.9	2.3	0.0	0.3

問 1.4 重症感染症(新型インフルエンザなど)に対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	15.3	55.5	15.3	13.0	0.6	0.0	0.3

問 1.5 犯罪に対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	12.4	44.5	26.6	15.0	0.3	0.6	0.6

問 1.6 戦争・テロに対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	10.4	34.4	25.7	23.4	3.2	2.3	0.6

問 1.7 交通事故に対する不安の程度

	全 体	①とても不安を感じる	②ある程度不安を感じる	③どちらともいえない	④あまり不安を感じない	⑤全く不安を感じない	⑥よく分からない	無回答・無効回答
合計	346	11.8	49.4	20.5	15.0	1.7	0.9	0.6

問 2.1 食品添加物に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	11.3	45.1	34.4	9.0	0.0	0.3

問 2.2 農業に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	13.9	48.6	32.7	4.6	0.0	0.3

問 2.3 動物用医薬品(家畜用抗生物質)に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	8.1	49.1	31.2	5.8	5.5	0.3

問 2.4 器具・容器包装からの溶出化学物質に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	7.8	42.8	41.0	6.1	2.0	0.3

問 2.5 汚染物質(カドミウム・メチル水銀等)に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	17.3	47.1	30.1	3.2	2.0	0.3

問 2.6 食中毒等の原因となる有害微生物(細菌・ウイルス)に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	17.1	58.7	21.4	2.6	0.0	0.3

問 2.7 BSE(牛海綿状脳症)に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	9.5	37.9	39.0	12.4	0.9	0.3

問 2.8 遺伝子組換え食品に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	8.7	36.7	40.2	12.7	1.2	0.6

問 2.9 体細胞クローン家畜由来食品に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	12.7	37.0	34.7	8.7	6.6	0.3

問 2.10 いわゆる健康食品に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	12.7	44.8	30.6	9.2	2.3	0.3

問 2.11 肥料・飼料等に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	4.6	33.8	46.5	11.6	3.2	0.3

問 2.12 放射性物質を含む食品に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	44.5	35.8	16.2	2.9	0.3	0.3

問 2.13 その他に対する不安の程度

	全 体	①非常に不安である	②ある程度不安である	③あまり不安を感じない	④全く不安を感じない	⑤よく知らない	無回答・無効回答
合計	346	5.2	5.8	0.6	0.0	0.3	88.2

問 3.1 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由(第1位)

	全 体	①過去に経験したことがない事態のため	②放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため	③自分の被ばく量がどの程度か解らないため	④安全性についての科学的根拠が納得できない	⑤大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない	⑥食品の検査体制に不安を感じる	⑦政府の情報公開が不十分	⑧周囲が心配しているので自分も心配になる	⑨その他	無回答・無効回答
合計	278	41.0	17.3	7.6	9.7	2.9	8.3	10.4	1.1	1.4	0.4

問 3.2 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由(第2位)

	全 体	①過去に経験したことがない事態のため	②放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため	③自分の被ばく量がどの程度か解らないため	④安全性についての科学的根拠が納得できない	⑤大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない	⑥食品の検査体制に不安を感じる	⑦政府の情報公開が不十分	⑧周囲が心配しているので自分も心配になる	⑨その他	無回答・無効回答
合計	278	9.0	28.4	7.2	17.6	6.8	14.7	14.0	0.0	2.2	0.0

問 3.3 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じている理由(第3位)

	全 体	①過去に経験したことがない事態のため	②放射線の健康影響について科学者の見解が様々であるため	③自分の被ばく量がどの程度か解らないため	④安全性についての科学的根拠が納得できない	⑤大人と子どもが基本的に同じ暫定規制値で運用されてきたことが納得できない	⑥食品の検査体制に不安を感じる	⑦政府の情報公開が不十分	⑧周囲が心配しているので自分も心配になる	⑨その他	無回答・無効回答
合計	278	13.7	15.8	11.5	11.9	7.9	13.7	20.9	1.4	2.9	0.4

問 4.1 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由(第1位)

	全 体	①マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない	②放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全	③自分の被ばく量なら大丈夫	④安全性についての科学的な根拠に納得	⑤子供も含めて現状なら大丈夫	⑥食品の検査体制が十分	⑦行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分	⑧明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない	⑨その他	無回答・無効回答
合計	66	10.6	21.2	18.2	18.2	6.1	1.5	1.5	9.1	13.6	0.0

問 4.2 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由(第2位)

	全 体	①マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない	②放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全	③自分の被ばく量なら大丈夫	④安全性についての科学的な根拠に納得	⑤子供も含めて現状なら大丈夫	⑥食品の検査体制が十分	⑦行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分	⑧明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない	⑨その他	無回答・無効回答
合計	66	4.5	19.7	7.6	31.8	12.1	9.1	1.5	3.0	3.0	7.6

問 4.3 放射性物質を含む食品の健康に与える影響について不安を感じていない理由(第3位)

	全 体	①マスコミ報道等により、これまでの放射線量では健康影響は生じない	②放射線の健康影響について科学者の見解を聞いて十分安全	③自分の被ばく量なら大丈夫	④安全性についての科学的な根拠に納得	⑤子供も含めて現状なら大丈夫	⑥食品の検査体制が十分	⑦行政からの食品の安全性に関する情報提供が十分	⑧明確な理由があるわけではないが、なんとなく危機感を感じない	⑨その他	無回答・無効回答
合計	66	12.1	19.7	13.6	9.1	10.6	6.1	6.1	9.1	4.5	9.1

問 5 東日本大震災前後の飲食料品の購入等に係る意思決定の変化

	全 体	①東日本大震災 の前後で変化は ない	②東日本大震災 の直後は変化した が、現在は以前と 同じに戻った	③東日本大震災 以降で変化し、現 在も続いている	④その他	無回答・無効回答
合計	346	34.4	22.5	38.7	3.2	1.2

問 6 食品に対する影響の情報収集の姿勢

	全 体	①事故直後も 現在も積極的 にしている	②事故直後は 積極的にした が、現在は積 極的に収集し ていない	③事故直後は 積極的には収 集していなかつ たが、現在は 積極的にしてい る	④事故直後も 現在も積極的 に収集してい ない	⑤その他	無回答・無効 回答
合計	346	37.6	29.8	7.2	22.0	2.3	1.2

問 7.1 食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報

	全 体	①テレビ	②新聞(イン ターネットの ニュースサ イトを含む)	③一般の雑 誌・書籍	④専門書・ 学術書等	⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)	⑥国からの 情報	⑦保健所な どの地方自 治体	⑧生産者、 食品メーカ ーなどの食 品の生産者
合計	346	44.8	52.9	6.4	10.1	9.2	25.4	11.3	10.1

⑨スーパー などの販売 事業者	⑩大学・研 究機関・研 究所	⑪医療機関	⑫消費者団 体	⑬NPO	⑭家族・知 人	⑮地域・学 校	⑯その他	無回答・無 効回答
6.9	13.0	2.3	4.6	1.4	4.0	0.9	6.6	6.1

問 7.2 食品に含まれる放射性物質の健康影響について不安感につながった情報

	全 体	①テレビ	②新聞(イン ターネットの ニュースサ イトを含む)	③一般の雑 誌・書籍	④専門書・ 学術書等	⑤インターネ ット上のコミ ュニティサイ ト等(SNS・ブ ログなど)	⑥国からの 情報	⑦保健所な どの地方自 治体	⑧生産者、 食品メーカ ーなどの食 品の生産者
合計	346	63.9	37.9	18.5	2.6	21.1	22.8	2.6	3.2

⑨スーパー などの販売 事業者	⑩大学・研 究機関・研 究所	⑪医療機関	⑫消費者団 体	⑬NPO	⑭家族・知 人	⑮地域・学 校	⑯その他	無回答・無 効回答
5.5	3.8	0.3	8.1	2.0	6.6	2.9	2.9	7.2

問 7.3 食品に含まれる放射性物質の健康影響について安心感につながった情報の内容

	全 体	①テレビ	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)	③一般の雑誌・書籍	④専門書・学術書等	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)	⑥国からの情報	⑦保健所などの地方自治体	⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者
①客観的データ	346	17.6	18.8	1.2	3.8	2.9	9.5	3.5	5.8
②健康影響の見解	346	18.5	18.8	2.6	3.2	2.9	7.8	4.0	1.7
③その他	346	0.6	1.7	0.9	0.6	0.6	0.6	0.0	0.3

⑨スーパーなどの販売事業者	⑩大学・研究機関・研究所	⑪医療機関	⑫消費者団体	⑬NPO	⑭家族・知人	⑮地域・学校	⑯その他
3.5	6.6	0.3	2.6	0.0	0.9	0.3	1.7
1.7	3.5	1.4	1.2	0.9	2.0	0.0	2.6
0.3	0.6	0.0	0.3	0.6	0.6	0.3	1.2

問 7.4 食品に含まれる放射性物質の健康影響について不安感につながった情報の内容

	全 体	①テレビ	②新聞(インターネットのニュースサイトを含む)	③一般の雑誌・書籍	④専門書・学術書等	⑤インターネット上のコミュニティサイト等(SNS・ブログなど)	⑥国からの情報	⑦保健所などの地方自治体	⑧生産者、食品メーカーなどの食品の生産者
①客観的データ	346	18.8	8.7	2.9	0.6	3.2	8.4	0.6	0.6
②健康影響の見解	346	28.3	17.1	8.4	0.9	8.7	7.8	0.6	0.9
③その他	346	10.1	4.3	2.9	0.0	2.3	2.0	0.3	0.9

⑨スーパーなどの販売事業者	⑩大学・研究機関・研究所	⑪医療機関	⑫消費者団体	⑬NPO	⑭家族・知人	⑮地域・学校	⑯その他
1.2	0.6	0.3	1.2	0.3	1.2	0.3	0.0
2.0	1.4	0.0	3.8	0.6	2.0	2.0	0.9
1.2	0.3	0.0	0.0	0.0	2.0	0.3	0.9

問 8.1 肉の生食に関するリスク管理措置(表示基準 1)

	全 体	①自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている	②順守されていない飲食店や店舗を見た	③該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない	④その他	無回答・無効回答
合計	346	16.2	15.6	63.0	5.2	0.0

問 8.2 肉の生食に関するリスク管理措置(表示基準 2)

	全 体	①自分で飲食店や店舗を見る限り、遵守されている	②順守されていない飲食店や店舗を見た	③該当する飲食店や店舗に行っていないので、わからない	④その他	無回答・無効回答
合計	346	23.7	8.7	63.0	3.2	1.4

問 9.1.1 閲覧頻度が高い情報(第 1 位)

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	61.8	2.3	2.3	1.2	1.2	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	6.9	0.3

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
0.0	0.6	0.0	0.3	1.2	0.0	19.7

問 9.1.2 閲覧頻度が高い情報(第 2 位)

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	6.1	39.9	6.6	0.9	1.2	0.6	0.0	0.6	0.3	0.3

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
0.0	0.0	0.6	0.3	0.3	2.3	0.0	0.0	2.3	11.6	2.6

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
0.9	0.0	0.3	1.2	1.2	0.0	20.2

問 9.1.3 閲覧頻度が高い情報(第 3 位)

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	3.5	8.4	10.7	3.2	4.0	0.9	0.6	0.9	1.2	0.3

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
0.6	0.0	1.4	1.2	0.3	5.8	1.2	0.3	4.6	17.1	2.6

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
2.0	0.0	0.6	1.4	5.2	0.0	22.3

問 9.1.4 閲覧頻度が高い情報(第 4 位)

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	1.4	2.3	6.6	2.0	5.2	2.0	0.3	3.5	1.4	0.3

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
0.3	0.6	0.9	1.2	0.3	9.5	3.2	0.3	4.0	9.5	6.4

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
3.8	2.3	1.4	1.4	5.5	0.0	24.3

問 9.1.5 閲覧頻度が高い情報(第 5 位)

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	0.6	4.9	6.6	3.5	2.9	3.2	0.3	1.7	2.0	1.2

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
0.6	1.2	0.6	1.2	0.9	6.4	2.3	0.0	6.4	4.9	4.3

22 食品 健康影響 評価(リ スク評 価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品 安全総合 情報シス テム	26 専門 調査会別 情報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
3.2	2.3	1.7	2.6	8.4	0.0	26.3

問 9.2 重要度が高い情報

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	71.1	51.4	30.3	19.9	16.8	11.8	5.8	14.5	11.0	6.1

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
4.0	5.2	20.2	12.7	7.2	22.0	13.9	6.6	13.6	39.6	19.4

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
21.4	13.0	11.6	14.5	24.3	2.6	22.5

問 9.3 重要度が低い情報

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	0.6	1.4	4.0	5.5	10.4	10.7	3.2	1.2	2.6	7.2

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
5.2	8.1	3.2	4.6	9.0	1.4	2.9	5.2	1.7	2.0	3.8

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
2.9	4.0	6.1	6.1	6.1	5.5	56.4

問 9.4 閲覧したことのない情報

	全 体	①重要な お知らせ	②お知ら せ	③消費者 の方向け 情報	④お母さ んになる あなたへ	⑤キッズ ボックス	⑥動画配 信などビ ジュアル 資料	⑦FSC Views	⑧食品健 康影響評 価(リスク 評価)	⑨意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	⑩会議開 催予定と 委員会の 実績
合計	346	0.0	0.3	7.8	25.4	24.6	21.4	11.6	6.1	5.8	9.8

⑪食品安 全委員会 とは	⑫リンク 集	⑬食の安 全ダイヤ ル	⑭パブリ ック・コメ ント募集	⑮メール マガジン 配信登録	⑯よくあ る質問と その答え	⑰食品の 安全性に 関する用 語集	⑱食品安 全委員会 とは	⑲食品安 全モニタ ーからの 報告	⑳新着情 報	21FSC Views
7.8	11.8	21.7	22.0	18.5	5.2	10.4	14.7	3.8	0.6	9.2

22 食品健 康影響評 価(リスク 評価)	23 意見・ 情報の交 換(リスク コミュニケ ーション)	24 調査・ 研究活動	25 食品安 全総合情 報システ ム	26 専門調 査会別情 報	27 サイト マップ	無回答・ 無効回答
6.4	6.9	13.9	17.3	14.2	9.8	38.7